

2019年度 社会福祉事業 事業報告

- (1) 法人本部 事業報告
- (2) 三幸の園拠点区分 事業報告
 - (A) 特別養護老人ホーム三幸の園
 - (B) 短期入所施設三幸の園
 - (C) 三幸の園デイサービスセンター
 - (D) 三幸の園ホームヘルパーステーション
 - (E) 三幸の園指定居宅介護支援事業所
 - (F) 訪問看護ステーション大平台
 - (G) 地域包括支援センター大平台
- (3) 山崎園拠点区分 事業報告
 - (A) 特別養護老人ホーム山崎園
 - (B) ユニット型特別養護老人ホーム山崎園
 - (C) 短期入所施設山崎園
 - (D) ユニット型短期入所施設山崎園
 - (E) やまざきデイサービスセンター
 - (F) やまざきホームヘルパーステーション
 - (G) 山崎園居宅介護支援事業所
 - (H) グループホームやまざき
 - (I) 生活支援ハウス山崎
- (4) 松城拠点区分 事業報告
 - (A) 松城デイサービスセンター
 - (B) 松城指定居宅介護支援事業所
- (5) 救護施設神ヶ谷園 事業報告
- (6) 建設特別会計 事業報告

社会福祉法人三幸会法人本部 2019年度事業報告

1. 総論

第一種社会福祉事業の特別養護老人ホーム3施設、救護施設1施設を大きな母体とし、おかげさまをもちましてほぼ満床を維持できております。

第二種社会福祉事業の短期入所施設、デイサービスセンター・グループホームなどの在宅関連事業所を併設することにより、福祉の入口から終末にかけて循環あるサービス支援が提供できております。

公益事業におきましても、三幸会の存在価値をより向上するために3箇所の居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、生活支援ハウス、地域包括支援センターにより、要介護者・要支援者の支援を行っておりますが、要求事項の複雑化・多様化・高難易度化・多職種連携化より、一層の連携強化の期待が高まっております。

今後、開設予定の『大平台の園』におけるサービス付き高齢者向け住宅ならびに短期入所施設の増設により、老朽化した建物・設備からスムーズな移行を行いながら、更に一貫した厚い支援が可能になるものと考えます。

ミクロの視点のサービス事業所単位で見ますと、不採算事業所もございますが、撤退・閉鎖・縮小するのではなく、採算が取れる事業所へと世の中の要望に応える変革を行い、相互の事業所で補完し合う法人全体の総合力が非営利法人たる社会福祉法人として重要な価値と考えます。

おかげさまをもちまして、2016年度以来『ユースエール認定』も継続できておりますし、年度末の3月には静岡県より松城デイサービスセンターにおきましても『働きやすい介護事業所認証』の称号を受けることができました。

2. 監査の開催

各施設・事業所運営や法人運営を第三者の目で適正に監査をしていただきました。監査官の皆様の出席を賜り、誠にありがとうございました。

①監事による監査 2019年5月21日(火)

監査官：社会福祉法人三幸会 監事

内容：平成30年度決算監事による監査の実施

②月次会計監査 毎月一回14日頃

監査官：田中範雄公認会計士事務所

内容：2019年度社会福祉法人三幸会各事業所 月時監査

③決算会計監査 2019年4月26日(金)

監査官：田中範雄公認会計士事務所

内容：平成30年度社会福祉法人三幸会各事業所 決算監査

- ④事務処理体制向上支援業務 2019年5月21日(火)
監査官：田中範雄公認会計士事務所
内容：平成30年度財務会計に関する事務処理体制向上支援業務
- ⑤社会福祉施設等指導監査 2019年9月10日(火)
監査官：浜松市健康福祉部福祉総務課指導監査室
内容：山崎園・ユニット型山崎園 監査

3. 理事会・定時評議員会の開催

決算事務をはじめ、予算／補正予算事務、年度内事業計画および事業報告、法人内重要案件発生の時を見計らって必要に応じて定款に基づく理事会を開催いたしました。

また、定款に基づく定時評議員会を開催いたしました。

評議員・理事・監事・施設長の皆様の出席を賜り、ありがとうございました。

- ①第一回理事会 2019年5月25日(土)
内容：監事による監査報告、平成30年度事業報告、総括決算、財産目録変更登記、事業所別決算、役員等報酬総額、社会福祉充実計画、理事長専決報告と職務執行状況、理事・監事選任案、苦情報告、定時評議員会開催案、法人発生案件
- ②定時評議員会 2019年6月15日(土)
内容：監事による監査報告、平成30年度事業報告、総括決算、財産目録変更登記、事業所別決算、社会福祉充実計画、理事長職務執行状況、役員等報酬総額、理事・監事の選任、法人発生案件
- ③第二回理事会 2019年6月15日(土)
内容：理事・監事の選任報告と理事長選任
- ④第三回理事会 2019年12月14日(土)
内容：2019年度第一次補正予算、大平台の園建設計画、2019年度社会福祉施設等の指導監査実施結果、規程の追加変更、理事長専決報告と職務執行状況、苦情報告、法人発生案件
- ④第四回理事会 2020年3月28日(土)
内容：2019年度最終補正予算、令和2年度事業計画、予算、施設長・副施設長選任、施設診療所医療契約、諸規程の追加改正、厨房給食業務委託契約、大平台の園建設状況と内部見学、理事長専決と職務執行状況、苦情報告、法人発生案件

4. 事業部制・プロジェクト制

平成 25 年度より施設間・事業所間を横断、集結できる事業部制管理、プロジェクト制管理を法人本部主導で加えてまいりました。

事業部長・プロジェクト長をはじめとするメンバーが率先して、現状分析した上で、全体最適の下、同一課題の標準化・見える化・見せる化・自立化・チーム化・横の繋がり強化・営業力強化・思考力強化・責任感醸成・人材交流を図り、見直すべき部分は改善する権限委譲とマネジメント強化ができました。

2019 年度は以下の事業部制・プロジェクト制により、現状把握から改善へと社会福祉事業を側面から支援し、一步前進することができました。

① 3 事業部

在宅部門事業部	HWD (Homecare Welfare Division)
高齢者施設部門事業部	EWD (Elderly Welfare Division)
保護施設部門事業部	PWD (Protection Welfare Division)

② 6 プロジェクト

環境整備推進プロジェクト	EMP (Environmental Management Project)
衛生管理向上プロジェクト	HMP (Health Management Project)
接遇マナー向上プロジェクト	MMP (Manners Management Project)
広報推進プロジェクト	IMP (Information Management Project)
働き方改革推進プロジェクト	WMP (Workstyle Management Project)
新施設推進プロジェクト	NFP (New facility Project)

5. 借入金償還状況

社会福祉法人三幸会の借入金償還状況は以下のとおりです。

今後も適正に償還をしてまいりたく存じます。

借入先【独立行政法人福祉医療機構】

借入目的	借入金額	契約年月日	返済期限	
山崎園建設資金	241,000,000 円	平成 14 年 1 月 21 日	令和 4 年 1 月 20 日	
借入残額	2019 年度返済日	年返済額	利息	借入期限
24,100,000 円	令和 2 年 1 月 10 日	12,050,000 円	1.60%	20 年

6. 法人内外研修会等の積極的展開

各施設内の O J T ・ O f f J T 勉強会や各種会議・委員会活動・内部研修・外部出張研修のほか、法人内職員の福祉サービスの質の向上・人間力向上・思考力向上・内部コミュニケーション向上のために、積極的に組織的に人材への先行投資をしてまいりました。

法人としての理念や人間力向上のための共通言語として、体系的な教育の場を設けました。

以下は法人本部で主導してまいりました一例です。

毎月	バーサマンス研修	経営計画書・ブランド価値・防災意識・接遇マナー
3月	新入職員事前研修	福祉社会人としての事前準備、各職種より講義
6月	キャリアアップ研修	役職者の役割と人事考課
6月	ステップアップ研修	福祉施設における危機管理
6月	新入職員若年職員研修	仕事をする意味、目標設定
7月	ステップアップ研修	施設防犯
7月	キャリアアップ研修	コミュニケーション向上プログラム
8月	キャリアアップ研修	メンタルヘルス不調とセルフケア・ラインケア
8月	ステップアップ研修	介護職場のためのストレスマネジメント
9月	キャリアアップ研修	リーダーシップ
10月	キャリアアップ研修	コーチングの基本
10月	ステップアップ研修	尊厳死
11月	聖隷クリスファー大学研修	福祉のブランドを上げろ、介護の仕事で大切なこと
11月	キャリアアップ研修	接遇マナー・礼節・言葉遣い（講師：石津陽子）
12月	ステップアップ研修	認知症高齢者の心
12月	キャリアアップ研修	統計数字・同業種・異業種に学ぶ思考変革
1月	キャリアアップ研修	経営経理管理、リスクマネジメント、広報
2月	3年目職員研修	役割、振り返り、生き活きた組織作り
2月	キャリアアップ研修	ビジョン、5S、ホスピタリティ
2月	豊田成果塾研修	生き活きた会社創り
2月	ステップアップ研修	デイサービスセンターの置かれている現状
3月	ステップアップ研修	救護施設とは
3月	キャリアアップ研修	基本中国語講座（講師：柏林）・・・延期

7. 情報発信ならびに地域交流

①事業計画・事業報告・財務諸表・現況報告書公開

- ・社会福祉法人三幸会ホームページにて事業計画承認後、3/28 即日一般公開
- ・社会福祉法人三幸会ホームページにて決算承認後、5/25 即日一般公開
- ・各施設入口にて決算承認後、5/25 即日施設内閲覧一般公開
- ・社会福祉法人三幸会ホームページにて現況報告、即日一般公開
- ・独立行政法人福祉医療機構WAMNETにて財務諸表一般公開
- ・法人便りWith You 2019年 10月号 Vol. 60にて一般公開

②法人便りWith You 広報誌発行

広報推進プロジェクト IMP (Information Management Project) による発行

- ・法人便りWith You 2019年 5月号 Vol. 59
- ・法人便りWith You 2019年 8月号 特別号
- ・法人便りWith You 2019年 10月号 Vol. 60
- ・法人便りWith You 2020年 2月号 Vol. 61
- ・法人便りWith You 2020年 3月号 Vol. 62

③三幸会ブログ：介護の舞台裏投稿

広報推進プロジェクト IMP (Information Management Project) による
合計 138 回、2.64 日に 1 回の情報発信ができました。

- ・ 4月 8回、
- ・ 5月 13回、
- ・ 6月 13回、
- ・ 7月 14回、
- ・ 8月 8回、
- ・ 9月 12回、
- ・ 10月 13回、
- ・ 11月 9回、
- ・ 12月 18回、
- ・ 1月 10回、
- ・ 2月 11回、
- ・ 3月 9回、

④求人活動リクナビ 2020 ならびに新聞チラシ挿入活用

平成 30 年度後半から 2019 年度後半にかけてリクナビ 2020、大平台の園開設
のための入居者募集・求人募集のための新聞チラシを一部活用して充実した新
卒者・中途者の求人活動を行いました。

その結果、令和 2 年度当初より将来の三幸会を支える貴重な新入職員、中途職
員の獲得ができました。

⑤PR 動画

広報推進プロジェクト IMP (Information Management Project)、高齢者施設
部門事業部 EWD (Elderly Welfare Division) などによる独自の PR 動画を作
成し、三幸会のホームページにアップしました。

- ・ 2019 年度職員厚生会新人歓迎会 令和元年 6 月 12 日
- ・ 特別養護老人ホーム三幸の園 笑顔いっぱい 令和元年 11 月 22 日
- ・ 山崎園 2020 年新年の抱負 令和 2 年 1 月 22 日
- ・ 2019 年度職員厚生会新年会 令和 2 年 1 月 22 日
- ・ 特別養護老人ホーム山崎園 元気いっぱい 令和 2 年 2 月 27 日

8. 地域社会への公益的取り組み

社会福祉法人における運営から経営への転換、経営主体間のイコールフッティ
ング確立が叫ばれる中、別表の公益的取り組みを実施いたしました。

小学校における認知症サポーター講座、雄踏町山崎地区ロコトレサロン、地域
の学校・公民館などにおける研修開催、家族会開催、見学会開催、大平台健康
フォーラム開催など、個々の社会福祉貢献度の高い低いはございますが、社会
福祉事業・公益事業のみならず、各事業所業務の枠を飛び越えたこれらの総合
的な取り組みが三幸会の存在価値を地域社会に向けて拡大認識していただい
ていることと考えます。

ただし、年度末の2月・3月につきまして新型コロナウイルス蔓延防止のために公益的取り組みを急遽、中止した案件もたくさんあり、尻つぼみとなってしまいました。具体的内容については別表参照。

9. 新施設 高齢者総合福祉施設大平台の園開設への取り組み

平成29年度より引き続き、入野園跡地の有効利用につき、新施設推進プロジェクト NFP (New facility Project) を中心に取り組んでまいりました。

2019年度は建築工事が開催され、建築資材の遅れから当初予定の1ヶ月遅れの2020年度5月開設に向け、行政各種手続き・建築工事をしました。

新館 1F：三幸の園デイサービスセンター一般型 30名 認知症対応型 9名 (移設)

三幸の園ホームヘルパーステーション (移設)

訪問看護ステーション大平台 (移設)

厨房・会議室・事務所 (新設)

新館 2F：ユニット型短期入所施設三幸の園 20床・多目的室・食堂 (新設)

新館 3F：サービス付き高齢者向け住宅ライフケアアダージョ大平台 25床 (新設)

別棟 1F：地域交流室・喫茶コーナー・機能訓練室 (新設)

別棟 2F：地域包括支援センター大平台 (移設)



事業所	定員	末日定員	空床日数×床数	要介護1人数	要介護2人数	要介護3人数	要介護4人数	要介護5人数	平均介護度
特別養護老人ホーム三幸の園	110名	109.5	34.67	4.83	8.17	32.50	27.67	36.33	3.75

※110名を目指す

事業所	定員	要支援1実人数	要支援2実人数	要介護1実人数	要介護2実人数	要介護3実人数	要介護4実人数	要介護5実人数	平均介護度	平均人数/日	利用率
短期入所施設三幸の園	20名	0.00	0.00	68.42	128.42	178.75	97.83	45.42	2.85	17.11	85.6%

※要支援含まず

事業所	定員	要支援1人数	要支援2人数	要介護1人数	要介護2人数	要介護3人数	要介護4人数	要介護5人数	平均介護度	平均人数/日	利用率
三幸の園デイサービスセンター一般型	30名	26.92	52.33	184.00	110.25	67.25	38.33	3.42	1.93	22.52	75.1%

※要支援含まず

事業所	定員	要支援1人数	要支援2人数	要介護1人数	要介護2人数	要介護3人数	要介護4人数	要介護5人数	平均介護度	平均人数/日	利用率
三幸の園デイサービスセンター認知症対応型	9名	0.00	0.00	16.92	12.75	31.33	20.25	24.83	3.22	4.93	54.7%

※要支援含まず

事業所	利用人数	派遣回数	身体介護回数	生活援助回数	身体生活複合回数	予防支援回数	平均人数/日
三幸の園ホームヘルプステーション	31.08	211.92	78.25	46.67	26.08	60.92	9.97

事業所	要支援プラン数	要介護プラン数	職員常勤換算値	職員一人当たりプラン数	平均介護度	要支援新規受入数	要介護新規受入数
三幸の園指定居宅介護支援事業所	28.92	95.42	3.00	41.44	1.90	0.67	4.17

※要支援含まず

事業所	利用人数	派遣回数	平均人数/日
訪問看護ステーション大平台	35.83	199.17	9.26

事業所	直営要支援プラン数	再委託要支援プラン数	直営予防Aプラン数	再委託予防Aプラン数	直営予防Bプラン数	再委託予防Bプラン数	Cプラン数	総合相談件数	権利擁護相談件数
地域包括支援センター大平台	39.33	111.08	51.42	58.50	24.75	0.00	44.08	143.67	24.00

事業所	定員	末日定員	空床日数×床数	要介護1人数	要介護2人数	要介護3人数	要介護4人数	要介護5人数	平均介護度
特別養護老人ホーム山崎園(従来型)	50名	48.50	39.33	0.17	1.67	19.50	14.33	13.33	3.80
特別養護老人ホーム山崎園(ユニット型)	50名	49.33	18.17	0.75	1.67	17.83	15.75	13.67	3.80

※各50名を目指す

事業所	定員	要支援1実人数	要支援2実人数	要介護1実人数	要介護2実人数	要介護3実人数	要介護4実人数	要介護5実人数	平均介護度	平均人数/日	利用率
短期入所施設山崎園	20名	0.00	1.92	81.50	92.25	177.92	54.00	23.08	2.63	14.12	70.6%
ユニット型短期入所施設山崎園	10名	0.00	3.83	48.00	32.75	79.25	52.67	15.50	2.80	7.61	76.1%

※要支援含まず

事業所	定員	要支援1人数	要支援2人数	要介護1人数	要介護2人数	要介護3人数	要介護4人数	要介護5人数	平均介護度	平均人数/日	利用率
やまざきデイサービスセンター一般型	30～35名	0.08	37.42	260.17	94.50	132.42	29.17	2.17	1.88	26.56	87.4%

※要支援含まず

事業所	利用人数	派遣回数	身体介護回数	生活援助回数	身体生活複合回数	予防支援回数	平均人数/日
やまざきホームヘルプステーション	26.42	202.75	52.08	50.08	50.08	50.50	9.56

事業所	定員	空床日数×床数	要支援2人数	要介護1人数	要介護2人数	要介護3人数	要介護4人数	要介護5人数	平均介護度
グループホームやまざき	9名	0.33	0.00	4.83	2.83	1.33	0.00	0.00	1.61

※要支援含まず

事業所	定員	要支援1人数	要支援2人数	要介護1人数	要介護2人数	要介護3人数	要介護4人数	要介護5人数	平均介護度	平均人数/日	利用率
グループホームやまざきデイサービス	3名	0.00	0.00	1.58	1.50	0.33	0.00	0.00	1.72	1.53	51.0%

※要支援含まず

事業所	要支援プラン数	要介護プラン数	職員常勤換算値	職員一人当たりプラン数	平均介護度	要支援新規受入数	要介護新規受入数
山崎園居宅介護支援事業所	43.83	130.92	4.00	43.69	1.82	1.58	4.33

※要支援含まず

事業所	定員	末日定員	空床日数×床数	平均人数/日	利用率
生活支援ハウス山崎	6部屋9名	4.33	53.17	4.26	71.0%

※6名以上を目指す

事業所	定員	要支援1人数	要支援2人数	要介護1人数	要介護2人数	要介護3人数	要介護4人数	要介護5人数	平均介護度	平均人数/日	利用率
松城デイサービスセンター一般型	30名	14.92	30.58	164.00	41.58	54.67	49.67	15.58	2.11	17.20	57.3%

※要支援含まず

事業所	定員	要支援1人数	要支援2人数	要介護1人数	要介護2人数	要介護3人数	要介護4人数	要介護5人数	平均介護度	平均人数/日	利用率
松城デイサービスセンター認知症対応型	12名	0.00	8.75	11.50	15.92	25.83	10.08	57.75	3.74	6.01	50.1%

※要支援含まず

事業所	要支援プラン数	要介護プラン数	職員常勤換算値	職員一人当たりプラン数	平均介護度	要支援新規受入数	要介護新規受入数
松城指定居宅介護支援事業所	20.08	36.92	1.33	43.35	1.58	1.50	2.33

※要支援含まず

事業所	定員	末日定員	空床日数×床数	介護保険利用者数	療育手帳者	精神障害手帳者	身体障害手帳者
救護施設神ヶ谷園	110名	106.58	110.75	0.00	21.58	55.08	13.25

※114名を目指す

空床床数とは入院や退所などにより一時的に空いていて職員が処遇しない床の数です。空いている数の総日数を記載します。入院日や退院日は除いて考えます。また、末日定員は毎月最終日の入居している人数です。

事業所	年度	末日定員	空床日数×床数	要介護1人数	要介護2人数	要介護3人数	要介護4人数	要介護5人数	平均介護度
特別養護老人ホーム三幸の園	平成23年度	109.58	53.42	3.67	10.58	27.25	33.67	34.42	3.77
	平成24年度	109.67	33.83	2.33	6.42	27.25	35.75	37.92	3.92
	平成25年度	109.50	28.67	3.83	4.00	25.00	39.25	36.92	3.93
	平成26年度	110.00	21.58	3.33	6.58	30.17	34.33	35.58	3.84
	平成27年度	109.67	22.83	3.25	6.42	30.50	36.50	32.83	3.82
	平成28年度	109.42	38.50	2.08	5.92	38.67	36.17	26.58	3.72
	平成29年度	109.33	51.50	4.92	7.67	36.92	30.08	29.75	3.66
	平成30年度	109.67	38.25	5.67	8.00	36.25	26.42	33.25	3.67
平成31年度	109.50	34.67	4.83	8.17	32.50	27.67	36.33	3.75	

事業所	年度	要支援1実人数	要支援2実人数	要介護1実人数	要介護2実人数	要介護3実人数	要介護4実人数	要介護5実人数	平均介護度	平均人数/日	利用率
短期入所施設三幸の園	平成23年度	0.25	1.33	104.58	137.75	127.25	75.50	126.17	2.97	18.77	93.9%
	平成24年度	2.25	8.00	91.83	109.67	134.92	116.58	106.67	3.07	18.97	94.8%
	平成25年度	2.25	6.92	65.00	106.50	197.83	102.17	57.58	2.96	17.70	88.5%
	平成26年度	0.75	0.42	53.08	137.08	171.58	111.17	49.92	2.94	17.23	86.2%
	平成27年度	0.00	0.00	50.58	112.42	165.83	107.08	83.92	3.12	17.05	85.2%
	平成28年度	2.50	0.42	76.08	98.58	157.58	85.83	64.67	2.93	15.92	79.6%
	平成29年度	0.00	1.42	97.75	86.00	171.00	112.25	56.00	2.89	17.24	86.2%
	平成30年度	2.17	0.42	103.83	101.67	137.00	119.00	61.42	2.87	17.31	86.5%
平成31年度	0.00	0.00	68.42	128.42	178.75	97.83	45.42	2.85	17.11	85.6%	

事業所	年度	要支援1人数	要支援2人数	要介護1人数	要介護2人数	要介護3人数	要介護4人数	要介護5人数	平均介護度	平均人数/日	利用率
三幸の園デイサービスセンター一般型	平成23年度	37.00	33.00	277.42	115.33	45.25	39.42	1.92	1.69	25.66	85.5%
	平成24年度	26.25	92.50	216.33	136.08	29.50	45.08	0.00	1.77	25.62	85.4%
	平成25年度	32.83	101.00	192.08	138.00	58.17	57.17	0.58	1.96	26.95	89.8%
	平成26年度	18.75	37.92	231.33	177.50	66.58	52.92	4.08	1.91	27.19	90.6%
	平成27年度	11.92	38.08	229.75	194.83	46.67	51.67	9.50	1.90	26.88	89.6%
	平成28年度	20.83	38.92	210.50	151.33	52.75	44.67	8.58	1.91	24.34	81.1%
	平成29年度	11.17	30.00	178.58	122.92	26.25	41.92	2.17	1.83	19.28	64.3%
	平成30年度	22.33	30.75	172.58	79.08	42.25	43.92	1.25	1.88	18.60	62.0%
平成31年度	26.92	52.33	184.00	110.25	67.25	38.33	3.42	1.93	22.52	75.1%	

事業所	年度	要支援1人数	要支援2人数	要介護1人数	要介護2人数	要介護3人数	要介護4人数	要介護5人数	平均介護度	平均人数/日	利用率
三幸の園デイサービスセンター認知症対応型	平成23年度	0.00	0.00	14.08	29.42	10.67	8.17	10.00	2.59	3.32	36.9%
	平成24年度	0.00	0.00	14.50	9.75	44.58	5.75	12.25	2.90	4.02	44.7%
	平成25年度	0.00	0.00	6.50	8.67	28.83	6.92	6.42	2.97	2.65	29.5%
	平成26年度	0.00	0.00	0.50	12.58	10.67	6.67	7.75	3.19	1.59	17.6%
	平成27年度	0.00	0.00	0.08	0.67	5.75	9.75	2.92	3.81	0.88	9.8%
	平成28年度	0.00	0.00	19.75	9.25	23.25	10.75	8.00	2.77	3.27	36.4%
	平成29年度	0.00	0.00	18.50	0.00	30.75	1.33	16.75	2.98	3.13	34.8%
	平成30年度	0.00	0.00	15.00	5.67	39.67	1.00	19.42	3.06	3.81	42.3%
平成31年度	0.00	0.00	16.92	12.75	31.33	20.25	24.83	3.22	4.93	54.7%	

事業所	年度	利用人数	派遣回数	身体介護回数	生活援助回数	身体生活複合回数	予防支援回数	平均人数/日
三幸の園ホームヘルパーステーション	平成23年度	24.67	132.58	40.42	31.67	15.50	45.00	5.98
	平成24年度	23.67	142.08	30.75	45.58	17.92	47.83	6.59
	平成25年度	23.00	153.92	34.42	47.67	22.50	49.33	7.21
	平成26年度	22.17	146.92	39.92	49.75	22.17	37.00	6.92
	平成27年度	21.42	163.08	63.33	32.92	29.00	37.83	7.68
	平成28年度	23.58	181.08	50.33	33.58	37.17	60.00	8.51
	平成29年度	31.50	211.17	43.92	57.25	54.17	55.83	9.93
	平成30年度	34.25	210.50	78.83	46.42	28.58	56.67	9.98
平成31年度	31.08	211.92	78.25	46.67	26.08	60.92	9.97	

事業所	年度	要支援プラン数	要介護プラン数	職員常勤換算値	職員一人当たりプラン数	平均介護度	要支援新規受入数	要介護新規受入数
三幸の園指定居宅介護支援事業所	平成23年度	13.83	96.25	2.88	38.29	2.01	1.33	2.75
	平成24年度	19.83	90.08	2.71	40.58	2.08	0.83	2.33
	平成25年度	20.83	95.42	2.90	40.14	2.25	1.00	3.42
	平成26年度	20.50	105.17	3.00	41.89	2.23	0.50	2.83
	平成27年度	19.83	103.25	3.00	41.03	2.16	0.92	2.67
	平成28年度	19.08	101.67	3.00	40.25	2.02	0.25	2.83
	平成29年度	17.58	102.33	3.00	39.97	1.91	0.42	2.67
	平成30年度	24.92	99.67	3.00	41.53	1.87	0.58	2.50
平成31年度	28.92	95.42	3.00	41.44	1.90	0.67	4.17	

事業所	年度	利用人数	派遣回数	平均人数/日
訪問看護ステーション大平台	平成23年度	25.33	115.33	5.29
	平成24年度	26.08	141.33	6.59
	平成25年度	25.67	137.17	6.39
	平成26年度	28.50	145.67	6.79
	平成27年度	36.17	185.75	8.55
	平成28年度	34.75	206.75	9.68
	平成29年度	34.00	195.08	9.07
	平成30年度	32.17	169.83	7.90
平成31年度	35.83	199.17	9.26	

事業所	年度	直営要支援プラン数	再委託プラン数	総合相談件数	権利擁護相談件数	二次予防プラン
地域包括支援センター大平台	平成23年度	83.42	86.92	118.17	9.75	10.92
	平成24年度	79.25	122.00	125.08	5.75	11.17
	平成25年度	67.92	106.42	101.08	8.83	6.75
	平成26年度	58.83	117.58	118.42	10.33	6.58
	平成27年度	62.75	119.67	118.50	8.75	4.42
	平成28年度	87.33	121.50	110.75	7.25	39.17

事業所	年度	直営要支援プラン数	再委託要支援プラン数	直営予防Aプラン数	再委託予防Aプラン数	直営予防Bプラン数	再委託予防Bプラン数	総合相談件数	権利擁護相談件数
地域包括支援センター大平台	平成29年度	40.92	82.67	36.17	51.50	33.92	0.00	125.58	16.67
	平成30年度	34.08	93.25	46.25	55.67	34.08	5.17	145.42	14.25

事業所	年度	直営要支援プラン数	再委託要支援プラン数	直営予防Aプラン数	再委託予防Aプラン数	直営予防Bプラン数	再委託予防Bプラン数	Cプラン数	総合相談件数	権利擁護相談件数
地域包括支援センター大平台	平成31年度	39.33	111.08	51.42	58.50	24.75	0.00	44.08	143.67	24.00

事業所	年度	末日定員	空床日数×床数	要介護1人数	要介護2人数	要介護3人数	要介護4人数	要介護5人数	平均介護度
特別養護老人ホーム山崎園	平成23年度	99.17	102.00	7.92	13.17	28.83	29.83	19.33	3.40
特別養護老人ホーム山崎園	平成24年度	98.50	56.50	8.00	8.83	26.58	32.67	22.17	3.53
特別養護老人ホーム山崎園	平成25年度	99.33	75.42	8.92	11.00	34.75	25.92	18.67	3.35
特別養護老人ホーム山崎園(従来型)	平成26年度	49.67	15.67	1.83	7.33	19.50	14.08	6.75	3.33
ユニット型特別養護老人ホーム山崎園		49.92	18.58	3.75	8.17	16.42	12.00	9.50	3.31
特別養護老人ホーム山崎園(従来型)	平成27年度	49.58	24.83	1.50	3.33	20.83	16.83	7.08	3.50
ユニット型特別養護老人ホーム山崎園		49.58	44.92	2.75	6.25	15.58	13.75	11.25	3.49
特別養護老人ホーム山崎園(従来型)	平成28年度	49.67	10.17	0.58	2.50	14.33	21.17	11.08	3.80
ユニット型特別養護老人ホーム山崎園		49.42	27.08	1.58	2.67	14.42	19.58	11.00	3.73
特別養護老人ホーム山崎園(従来型)	平成29年度	49.92	15.25	1.00	1.67	10.67	23.25	13.42	3.93
ユニット型特別養護老人ホーム山崎園		49.83	27.17	1.92	2.92	14.33	21.33	9.33	3.67
特別養護老人ホーム山崎園(従来型)	平成30年度	49.50	13.75	1.00	2.00	15.33	18.17	13.08	3.81
ユニット型特別養護老人ホーム山崎園		49.33	22.42	1.00	2.00	16.92	18.25	11.25	3.74
特別養護老人ホーム山崎園(従来型)	平成31年度	48.50	39.33	0.17	1.67	19.50	14.33	13.33	3.80
ユニット型特別養護老人ホーム山崎園		49.33	18.17	0.75	1.67	17.83	15.75	13.67	3.80

事業所	年度	要支援1実人数	要支援2実人数	要介護1実人数	要介護2実人数	要介護3実人数	要介護4実人数	要介護5実人数	平均介護度	平均人数/日	利用率
短期入所施設山崎園	平成23年度	1.00	7.83	166.17	164.08	181.92	182.08	36.75	2.67	24.25	80.8%
短期入所施設山崎園(従来型)	平成24年度	3.17	1.25	71.25	103.58	188.42	112.00	11.17	2.77	16.14	80.7%
ユニット型短期入所施設山崎園		1.83	7.25	28.33	66.92	63.75	42.33	3.83	2.64	7.06	70.6%
短期入所施設山崎園(従来型)	平成25年度	0.00	0.25	83.17	80.08	134.25	129.58	31.92	2.88	15.10	75.5%
ユニット型短期入所施設山崎園		0.58	6.33	52.33	67.42	46.75	28.00	18.17	2.49	7.22	72.2%
短期入所施設山崎園(従来型)	平成26年度	0.17	1.42	90.67	78.00	153.42	84.00	27.83	2.71	14.30	71.5%
ユニット型短期入所施設山崎園		0.00	3.50	53.50	50.42	33.75	89.58	0.67	2.71	7.62	76.2%
短期入所施設山崎園(従来型)	平成27年度	0.08	8.67	50.67	128.92	98.17	87.83	33.75	2.78	13.50	67.5%
ユニット型短期入所施設山崎園		0.75	6.17	50.25	50.00	36.92	59.33	23.42	2.80	7.43	74.3%
短期入所施設山崎園(従来型)	平成28年度	0.00	1.17	66.00	144.42	63.58	100.58	35.50	2.74	13.52	67.6%
ユニット型短期入所施設山崎園		7.42	6.17	18.92	66.08	28.00	63.42	17.00	2.96	6.81	68.1%
短期入所施設山崎園(従来型)	平成29年度	0.00	0.08	80.42	142.83	113.83	79.83	33.50	2.65	14.87	74.3%
ユニット型短期入所施設山崎園		1.00	3.08	56.33	55.67	48.58	59.83	13.08	2.65	7.75	77.5%
短期入所施設山崎園(従来型)	平成30年度	0.00	0.58	44.75	157.08	177.58	65.83	7.25	2.63	14.89	74.4%
ユニット型短期入所施設山崎園		0.33	3.92	52.17	42.50	75.25	50.75	17.17	2.75	7.92	79.2%
短期入所施設山崎園(従来型)	平成31年度	0.00	1.92	81.50	92.25	177.92	54.00	23.08	2.63	14.12	70.6%
ユニット型短期入所施設山崎園		0.00	3.83	48.00	32.75	79.25	52.67	15.50	2.80	7.61	76.1%

事業所	年度	要支援1人数	要支援2人数	要介護1人数	要介護2人数	要介護3人数	要介護4人数	要介護5人数	平均介護度	平均人数/日	利用率
やまぎきデイサービスセンター一般型	平成23年度	23.58	26.83	144.00	112.75	70.42	64.50	19.00	2.27	21.38	71.3%
	平成24年度	28.75	50.00	158.17	92.08	66.58	63.58	2.42	2.11	21.49	71.6%
	平成25年度	15.42	33.50	166.25	133.42	32.50	76.08	4.25	2.08	21.44	71.5%
	平成26年度	18.50	40.25	158.00	164.92	30.17	65.50	1.75	2.02	22.30	74.3%
	平成27年度	15.00	48.17	204.67	159.75	67.92	54.67	0.00	1.94	25.38	84.6%
	平成28年度	30.33	34.83	199.50	127.33	76.75	18.42	14.50	1.90	23.17	77.2%
	平成29年度	15.33	32.75	222.58	107.83	108.58	33.75	21.92	2.04	25.26	84.2%
	平成30年度	1.17	29.42	216.42	85.08	147.67	43.25	14.08	2.12	25.28	84.3%
平成31年度	0.08	37.42	260.17	94.50	132.42	29.17	2.17	1.88	26.56	87.4%	

事業所	年度	利用人数	派遣回数	身体介護回数	生活援助回数	身体生活複合回数	予防支援回数	平均人数/日
やまぎきホームヘルパーステーション	平成23年度	20.50	186.58	88.92	7.17	24.00	62.33	8.58
	平成24年度	19.33	184.42	67.67	8.58	57.58	50.75	8.60
	平成25年度	15.67	183.92	87.17	8.50	64.92	23.33	8.59
	平成26年度	15.83	193.00	82.92	17.25	78.75	14.08	8.97
	平成27年度	15.50	219.42	84.83	15.92	98.00	20.67	10.12
	平成28年度	18.25	221.83	80.92	10.75	91.00	39.17	10.29
	平成29年度	21.08	217.08	75.75	27.42	66.42	47.50	10.15
	平成30年度	21.25	202.42	68.25	33.17	68.42	32.58	9.49
平成31年度	26.42	202.75	52.08	50.08	50.08	50.50	9.56	

事業所	年度	空床日数×床数	要支援2人数	要介護1人数	要介護2人数	要介護3人数	要介護4人数	要介護5人数	平均介護度
グループホームやまぎき	平成23年度	1.92	0.00	2.00	5.17	0.42	0.42	0.00	1.91
	平成24年度	0.33	0.00	2.83	3.25	1.92	0.00	0.00	1.89
	平成25年度	1.75	0.00	4.17	2.83	1.00	0.00	0.00	1.60
	平成26年度	0.25	0.00	5.00	1.58	1.00	0.42	0.00	1.60
	平成27年度	0.00	0.00	5.42	1.25	2.33	0.00	0.00	1.66
	平成28年度	9.33	0.00	5.17	2.17	1.25	0.17	0.00	1.59
	平成29年度	0.50	0.00	5.25	2.25	1.00	0.50	0.00	1.64
	平成30年度	0.00	0.00	4.92	2.42	1.08	0.50	0.00	1.68
平成31年度	0.33	0.00	4.83	2.83	1.33	0.00	0.00	1.61	

事業所	年度	要支援1人数	要支援2人数	要介護1人数	要介護2人数	要介護3人数	要介護4人数	要介護5人数	平均介護度	平均人数/日	利用率
グループホームやまぎきデイサービス	平成23年度	0.00	0.00	1.92	1.08	0.75	1.25	0.00	2.27	2.73	90.8%
	平成24年度	0.00	0.00	12.58	6.83	2.25	14.42	0.00	2.51	2.58	86.0%
	平成25年度	0.00	0.00	1.50	0.67	1.50	0.75	0.17	2.44	2.26	75.4%
	平成26年度	0.08	0.00	2.00	1.00	1.00	0.08	0.00	1.87	2.32	77.3%
	平成27年度	0.50	0.00	0.17	2.25	0.92	0.83	0.00	2.65	2.32	77.5%
	平成28年度	0.00	0.00	0.75	1.08	1.33	0.00	0.00	1.64	1.59	53.1%
	平成29年度	0.00	0.00	0.00	0.25	0.17	0.00	0.00	0.79	0.19	6.2%
	平成30年度	0.00	0.00	0.67	1.08	0.58	0.00	0.00	1.94	1.39	46.2%
平成31年度	0.00	0.00	1.58	1.50	0.33	0.00	0.00	1.72	1.53	51.0%	

事業所	年度	要支援プラン数	要介護プラン数	職員常勤換算値	職員一人当たりプラン数	平均介護度	要支援新規受入人数	要介護新規受入人数
山崎園居宅介護支援事業所	平成23年度	12.75	70.75	2.88	29.04	2.21	1.33	3.83
	平成24年度	15.33	92.08	2.88	37.36	2.19	0.92	4.92
	平成25年度	13.67	93.83	2.94	36.60	2.11	1.33	3.17
	平成26年度	19.08	93.75	2.96	38.09	2.10	1.58	2.92
	平成27年度	26.33	91.33	3.00	39.22	2.13	1.08	2.67
	平成28年度	27.33	100.25	3.08	41.69	2.10	0.33	4.00
	平成29年度	22.92	109.83	3.22	41.37	1.99	1.42	5.50
	平成30年度	26.50	119.75	3.88	37.80	1.95	0.75	3.50
平成31年度	43.83	130.92	4.00	43.69	1.82	1.58	4.33	

事業所	年度	末日定員	空床日数×床数	平均人数/日	利用率
生活支援ハウス山崎	平成23年度	2.50	112.50	2.13	35.5%
	平成24年度	3.50	84.25	3.22	53.7%
	平成25年度	2.75	94.83	2.89	48.2%
	平成26年度	3.92	65.33	3.85	64.1%
	平成27年度	0.50	160.92	0.70	11.7%
	平成28年度	1.50	140.58	1.38	22.9%
	平成29年度	2.25	117.92	2.12	35.3%
	平成30年度	5.75	21.58	5.44	90.6%
	平成31年度	4.33	53.17	4.26	71.0%

事業所	年度	要支援1人数	要支援2人数	要介護1人数	要介護2人数	要介護3人数	要介護4人数	要介護5人数	平均介護度	平均人数/日	利用率
山城デイサービスセンター一般型	平成23年度	27.50	21.92	85.08	85.33	86.08	14.33	14.50	2.26	15.50	51.7%
	平成24年度	34.42	48.67	142.25	86.42	77.42	40.08	9.08	2.12	20.68	68.9%
	平成25年度	13.92	38.08	168.83	94.92	77.42	28.25	2.08	1.92	19.71	65.7%
	平成26年度	18.08	50.25	186.58	91.00	56.58	55.92	18.67	2.10	22.19	74.0%
	平成27年度	9.17	72.00	169.17	106.58	48.17	85.50	36.83	2.36	24.35	81.2%
	平成28年度	14.17	37.00	156.92	122.75	52.75	58.00	6.17	2.07	20.64	68.8%
	平成29年度	7.42	23.25	181.33	126.17	53.25	35.58	6.17	1.91	20.14	67.1%
	平成30年度	15.75	16.42	161.25	75.75	32.08	52.92	7.08	1.99	16.86	56.2%
	平成31年度	14.92	30.58	164.00	41.58	54.67	49.67	15.58	2.11	17.20	57.3%

事業所	年度	要支援1人数	要支援2人数	要介護1人数	要介護2人数	要介護3人数	要介護4人数	要介護5人数	平均介護度	平均人数/日	利用率
山城デイサービスセンター認知症対応型	平成23年度	0.00	0.00	0.25	1.42	28.67	44.42	42.42	4.09	5.36	44.7%
	平成24年度	0.00	0.00	7.75	8.00	30.58	47.00	47.17	3.84	6.64	55.3%
	平成25年度	0.00	0.00	9.67	6.42	22.83	20.83	52.08	3.89	5.18	43.1%
	平成26年度	0.00	0.00	14.33	12.33	11.33	20.00	28.50	3.43	4.02	33.5%
	平成27年度	0.00	0.00	0.00	9.58	12.17	10.75	47.33	4.20	3.68	30.7%
	平成28年度	0.00	0.00	0.00	1.83	11.00	22.33	44.83	4.39	3.69	30.8%
	平成29年度	0.00	0.00	1.75	6.17	8.50	16.00	37.50	4.21	3.24	27.0%
	平成30年度	0.00	5.58	9.58	10.75	26.08	3.33	45.83	3.67	4.72	39.3%
	平成31年度	0.00	8.75	11.50	15.92	25.83	10.08	57.75	3.74	6.01	50.1%

事業所	年度	要支援プラン数	要介護プラン数	職員常勤換算値	職員一人当たりプラン数	平均介護度	要支援新規受入数	要介護新規受入数
山城指定居宅介護支援事業所	平成24年度	18.92	13.67	1.00	32.58	1.83	2.67	2.42
	平成25年度	25.25	22.58	1.00	47.83	1.64	0.67	1.75
	平成26年度	20.08	31.42	1.00	51.50	1.92	0.33	1.83
	平成27年度	16.67	29.83	1.00	46.50	1.81	0.75	0.83
	平成28年度	17.67	30.92	1.00	48.58	1.57	0.75	1.25
	平成29年度	14.67	28.08	1.00	42.75	1.62	0.42	0.58
	平成30年度	18.00	27.00	1.00	45.00	1.75	0.67	1.00
	平成31年度	20.08	36.92	1.33	43.35	1.58	1.50	2.33

事業所	年度	末日定員	空床日数×床数	介護保険利用者数	療育手帳者	精神障害手帳者	身体障害手帳者
救護施設神ヶ谷園	平成29年度	108.33	59.33	0.00	18.00	56.33	14.00
	平成30年度	109.75	21.33	0.00	19.67	55.92	13.42
	平成31年度	106.58	110.75	0.00	21.58	55.08	13.25

旧事業所

事業所	年度	末日定員	空床日数×床数	介護保険利用者数	療育手帳者	精神障害手帳者	身体障害手帳者
救護施設浜松市立入野園	平成23年度	52.08	25.58	0.08	12.08	17.83	6.00
	平成24年度	52.33	21.50	0.00	11.33	19.67	6.00
	平成25年度	53.25	10.92	0.00	10.58	21.50	7.17
	平成26年度	55.00	0.00	0.00	9.00	23.00	7.75
	平成27年度	54.33	20.08	0.00	9.17	23.50	8.08
	平成28年度	53.83	36.25	0.00	9.50	22.75	7.42
	平成29年度	53.56	44.00	0.00	9.00	21.78	8.00

事業所	年度	末日定員	空床日数×床数	介護保険利用者数	療育手帳者	精神障害手帳者	身体障害手帳者
救護施設浜松市立西山園	平成23年度	58.17	54.50	0.00	7.58	35.67	7.67
	平成24年度	57.50	77.00	0.00	7.25	35.92	9.08
	平成25年度	59.00	33.92	0.00	9.50	36.83	9.17
	平成26年度	57.83	56.75	0.00	10.00	36.67	7.67
	平成27年度	58.67	47.75	0.00	10.00	35.00	8.75
	平成28年度	58.08	53.58	0.00	10.00	28.75	7.58
	平成29年度	56.00	121.89	0.00	9.78	31.67	6.00

事業所	年度	末日定員	空床日数×床数	月内退所者	月内入所者
浜松市立軽費老人ホーム佐鳴荘	平成23年度	48.83	120.83	0.92	0.92
	平成24年度	49.42	67.50	1.17	1.00
	平成25年度	49.83	19.08	0.33	0.42
	平成26年度	49.58	22.00	0.42	0.25
	平成27年度	49.08	54.83	0.50	0.42
	平成28年度	46.92	126.50	0.75	0.75

平成31年度 公益的取り組みの実績一例

日程	参加及び受入	具体的内容	社会福祉公益性			
			◎地域福祉充実	◎福祉学校教育講義	△慰問等受入	△地域活動他
毎週金曜日	竹村理事長	浜西ロータリークラブ活動				△
毎週土曜日	特別養護老人ホーム山崎園	杏林堂コラボ企画 移動販売「とくし丸」場所提供	◎			
毎月一回	社会福祉法人三幸会	浜西市沿岸域防潮堤整備事業寄附毎月5,000円 年間60,000円				△
2019/4/1	松城デイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 歌とレクリエーション 名倉様 1名				△
2019/4/2	松城デイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 レコード鑑賞と歌 太田様 1名				△
2019/4/3	特別養護老人ホーム山崎園	ユニット型特別養護老人ホーム慰問山崎園受入 アニマルセラピー 4名 犬4匹				△
2019/4/3	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入れ 手品・踊り・歌 ドリーム会様 5名				△
2019/4/4	松城デイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 歌謡ショーひとみ座様 3名				△
2019/4/5	松城デイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 マジック ひよこ様 1名				△
2019/4/7	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 備品設置手伝い、車椅子整備 浜松聖星高校末広会様 1名		◎		
2019/4/8	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 ポコ・ア・ポコ 8名				△
2019/4/26	竹村理事長・和久田園長・三幸の園	施設見学説明 フィリピンLAGUNA大学 3名、日本受入側通訳 3名来園	◎			
2019/4/10	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 書道教室 1名				△
2019/4/10	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入れ 歌 そよ風様 4名				△
2019/4/12	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 南京たますだれ 1名				△
2019/4/12	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入れ 社交ダンス よつ葉ダンス様				△
2019/4/13	特別養護老人ホーム山崎園	やまざきロコトレサロン開催 参加者 13名	◎			
2019/4/14	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 喫茶の会手伝い 浜松聖星高校末広会様 1名		◎		
2019/4/16	三幸の園 吉山あずさ・稲川淳哉	外部講和 今日からできる認知症予防 入野本所公会堂 参加人数33名	◎			
2019/4/17	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入れ 歌・ダンス・マジック 思いやりの会様 12名				△
2019/4/21	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 足浴3F たすけあい浜松様 7名				△
2019/4/21	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 足浴3F手伝い 浜松聖星高校末広会様 1名		◎		
2019/4/23	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 音楽の会、ピアノ演奏 たすけあい浜松様 5名				△
2019/4/26	竹村理事長・和久田園長・鈴木園長・地域包括ほか	大平台健康フォーラム開催 参加人数約150名	◎			
2019/4/26	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 書道教室 1名				△
2019/4/27	特別養護老人ホーム山崎園	やまざきロコトレサロン開催 参加者 16名	◎			
2019/4/28	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 足浴2F ひまわり会様 7名				△
2019/4/28	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 足浴2F手伝い 浜松聖星高校末広会様 2名		◎		
2019/5/5	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 車椅子整備 浜松聖星高校末広会様 1名		◎		
2019/5/6	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入れ カ・マカニ、フィ、イア・オカフラ、ハワイアンバンド 21名				△
2019/5/8	特別養護老人ホーム山崎園	ユニット型特別養護老人ホーム慰問山崎園受入 アニマルセラピー 4名 犬4匹				△
2019/5/11	特別養護老人ホーム山崎園	やまざきロコトレサロン開催 参加者 16名	◎			
2019/5/12	救護施設神ヶ谷園	大平台自治会草取り清掃 利用者19名、職員5名参加				△
2019/5/12	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 喫茶の会手伝い 浜松聖星高校末広会様 2名		◎		
2019/5/13	松城デイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入れ 名倉様 1名 歌とリクリエーション				△
2019/5/13	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入れ 加茂光廣 1名 草笛				△
2019/5/15	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 ひよこマジック 3名				△
2019/5/19	救護施設神ヶ谷園	大平台自治会地域資源回収 職員2名参加				△
2019/5/19	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 足浴3F たすけあい浜松様7名				△
2019/5/19	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 足浴3F手伝い 浜松聖星高校末広会様1名		◎		
2019/5/21	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 書道教室 1名				△
2019/5/23	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入れ 冨塚マジック 4名 マジック				△
2019/5/24	救護施設神ヶ谷園	エームサービスによる茶娘ボランティア受け入れ				△
2019/5/24	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入れ そよ風 4名 楽器演奏、コーラス				△
2019/5/25	竹村理事長・和久田園長・地域包括ほか	大平台健康フォーラム開催 参加人数約140名	◎			
2019/5/25	特別養護老人ホーム山崎園	やまざきロコトレサロン開催 参加者 14名	◎			
2019/5/26	松城デイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 松城町ごみ拾い活動 3名				△
2019/5/26	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 足浴2F ひまわり会様 7名				△
2019/5/26	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 足浴2F手伝い 浜松聖星高校末広会様6名		◎		
2019/5/28	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 音楽の会、ピアノ演奏 たすけあい浜松様 6名				△
2019/5/30	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 やまレレ(ウクレレ演奏) 8名				△
2019/5/30~31	特別養護老人ホーム山崎園	雄踏中学校職場体験 6名		◎		
2019/6/5	特別養護老人ホーム山崎園	特別養護老人ホーム慰問山崎園受入 アニマルセラピー 4名 犬4匹				△
2019/6/5	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入れ 手品、踊り、歌 ドリーム会 4名				△
2019/6/7	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 えみの会 7名				△
2019/6/7	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入れ ギターアンサンブル 音風 3名				△
2019/6/8	特別養護老人ホーム山崎園	やまざきロコトレサロン開催 参加者 14名	◎			
2019/6/8	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 ピアノ演奏、歌、コンサート 水野様 2名				△
2019/6/9	救護施設神ヶ谷園	大平台自治会草取り清掃 利用者17名、職員4名参加				△
2019/6/9	救護施設神ヶ谷園	大平台地区道路沿いゴミ拾い 利用者8名、職員2名参加				△
2019/6/9	救護施設神ヶ谷園	大正琴慰問受け入れ				△
2019/6/14	松城デイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入れ 歌とリクリエーション 名倉様 1名				△
2019/6/16	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 足浴 たすけあい浜松 5名				△
2019/6/16	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 足浴手伝い 浜松聖星高校末広会様 4名		◎		
2019/6/17	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 たなちゃん 14名				△
2019/6/18	三幸居宅、山崎居宅、松城居宅、包括	認知症サポーター講座 神久呂小学校		◎		
2019/6/20	竹村理事長・救護施設神ヶ谷園	浜北区民生児童委員29名施設見学	◎			
2019/6/22	竹村理事長・和久田園長・地域包括ほか	大平台健康フォーラム開催 参加人数約170名	◎			
2019/6/22	特別養護老人ホーム山崎園	やまざきロコトレサロン開催 参加者 13名	◎			
2019/6/23	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 シーツ、布団交換の会 浜松聖星高校末広会様 2名		◎		
2019/6/25	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入れ ウクレレ、歌 柳生様1名				△

2019/6/25	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 音楽の会、ピアノ演奏 たすけあい浜松 5名			△	
2019/6/27	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入れ 歌 そよ風様5名			△	
2019/6/28	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 書道教室 1名			△	
2019/6/30	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 足浴 ひまわり会 7名			△	
2019/6/30	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 足浴手伝い 浜松聖星高校末広会様5名		◎		
2019/7/1～8/1	特別養護老人ホーム山崎園	日本福祉大学社会福祉士相談援助実習 男性1名		◎		
2019/7/2	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入れ 傾聴・活動補助 野島ひろみ様 1名			△	
2019/7/3	特別養護老人ホーム山崎園	特別養護老人ホーム慰問山崎園受入 アニマルセラピー 4名 犬4匹			△	
2019/7/3	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入れ 歌 様6名			△	
2019/7/5	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入れ 音楽レクセション 清水有線 様 4名			△	
2019/7/8	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 ギター・ウクレレ演奏 5名			△	
2019/7/9～7/29	特別養護老人ホーム山崎園	修学舎高校介護福祉士実習Ⅱ 男子1名		◎		
2019/7/11	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 書道教室 1名			△	
2019/7/12	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入れ 社交ダンス よつ葉ダンス様 8名			△	
2019/7/13	特別養護老人ホーム山崎園	やまざきロコトレサロン開催 参加者 15名	◎			
2019/7/14	救護施設神ヶ谷園	大平台自治会草取り清掃 利用者18名、職員4名参加				△
2019/7/14	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 喫茶手伝い 浜松聖星高校末広会様3名		◎		
2019/7/16	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 ポコ・ア・ポコ 8名			△	
2019/7/20	救護施設神ヶ谷園	神ヶ谷園納涼祭ボランティア受け入れ 遠州天竜太鼓龍勢組14名			△	
2019/7/20	和久田園長・三幸の園デイサービス、地域包括	入野社協主催、第1回ポッチャ大会 職員3名参加				△
2019/7/21	救護施設神ヶ谷園	大平台自治会資源回収 段ボール提供 職員1名参加				△
2019/7/21	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 足浴3F たすけあい浜松様5名			△	
2019/7/21	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 足浴手伝い 浜松聖星高校末広会様2名		◎		
2019/7/21	特別養護老人ホーム三幸の園	大平台自治会地域資源回収 職員1名参加				△
2019/7/23	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 音楽の会、ピアノ演奏 たすけあい浜松 7名			△	
2019/7/23	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスボランティア受け入れ 夏休みチャレンジボランティア 入野中学生 2名		◎		
2019/7/24	特別養護老人ホーム山崎園	やまざきロコトレサロン開催 参加者 11名	◎			
2019/7/24	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスボランティア受け入れ 夏休みチャレンジボランティア 入野中学生 3名		◎		
2019/7/24	松城デイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入れ チャレンジボランティア 4名6日間 中部学園中等部		◎		
2019/7/25	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 書道教室 1名			△	
2019/7/25	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスボランティア受け入れ 三味線、歌 高砂会様 5名			△	
2019/7/27	竹村理事長・和久田園長・地域包括ほか	大平台健康フォーラム開催 参加人数 約120名	◎			
2019/7/28	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 足浴3F たすけあい浜松様7名			△	
2019/7/28	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 納涼祭手伝い 浜松聖星高校末広会様3名		◎		
2019/7/29	松城デイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入れ 歌とレクリエーション 名倉様 1名			△	
2019/7/30	特別養護老人ホーム山崎園	雄踏幼稚園資源物廃品回収 段ボール提供				△
2019/7/31	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 ハナミズキ 4名			△	
2019/7/31	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスボランティア受け入れ コーラス そよ風様 2名			△	
2019/8/1	松城デイサービスセンター	デイサービスボランティア受け入れ 夏休みチャレンジボランティア 中部学園中等部1年 1名		◎		
2019/8/4	救護施設神ヶ谷園	佐鳴湖クリーン作戦 利用者3名、職員3名参加				△
2019/8/4	竹村理事長・三幸の園・山崎園	佐鳴湖クリーン作戦 職員・家族 15名参加				△
2019/8/5	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 琵琶演奏 1名			△	
2019/8/5～9	救護施設神ヶ谷園	救護施設ボランティア受け入れ 夏休みチャレンジボランティア 浜松学院高校 1名、神久呂中学校 1名		◎		
2019/8/7	特別養護老人ホーム山崎園	特別養護老人ホーム慰問山崎園受入 アニマルセラピー 4名 犬4匹			△	
2019/8/7	松城デイサービスセンター	デイサービスボランティア受け入れ 夏休みチャレンジボランティア 中部学園中等部1年 1名		◎		
2019/8/7	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスボランティア受け入れ 手品、踊り、歌 ドリーム会様 4名			△	
2019/8/8	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 書道教室 1名			△	
2019/8/9	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 フロア業務補助 開誠館中学校 2名		◎		
2019/8/10	特別養護老人ホーム山崎園	やまざきロコトレサロン開催 参加者 14名	◎			
2019/8/12	松城デイサービスセンター	デイサービスボランティア受け入れ 歌とレクリエーション 名倉様 1名			△	
2019/8/13～16	救護施設神ヶ谷園	救護施設ボランティア受け入れ 夏休みチャレンジボランティア 浜松湖東高校 2名		◎		
2019/8/14	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスボランティア受け入れ コーラス そよ風様 4名			△	
2019/8/14	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスボランティア受け入れ 夏休みチャレンジボランティア 大平台高校 2名		◎		
2019/8/14	松城デイサービスセンター	デイサービスボランティア受け入れ 夏休みチャレンジボランティア 中部学園中等部1年 1名		◎		
2019/8/15	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスボランティア受け入れ 夏休みチャレンジボランティア 大平台高校 2名		◎		
2019/8/15	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスボランティア受け入れ 大道芸 おすづ様 1名			△	
2019/8/15	松城デイサービスセンター	デイサービスボランティア受け入れ 夏休みチャレンジボランティア 中部学園中等部1年 1名		◎		
2019/8/16	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスボランティア受け入れ 夏休みチャレンジボランティア 大平台高校 2名		◎		
2019/8/18	救護施設神ヶ谷園	大平台自治会草取り清掃 利用者23名、職員 5名参加				△
2019/8/18	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 足浴3F たすけあい浜松様 6名			△	
2019/8/20	松城デイサービスセンター	デイサービスボランティア受け入れ 夏休みチャレンジボランティア 中部学園中等部1年 1名		◎		
2019/8/21	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 太陽の会 7名			△	
2019/8/21	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスボランティア受け入れ 夏休みチャレンジボランティア 大平台高校 2名		◎		
2019/8/21	松城デイサービスセンター	デイサービスボランティア受け入れ 夏休みチャレンジボランティア 中部学園中等部1年 1名		◎		
2019/8/23	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 書道教室 1名			△	
2019/8/24	特別養護老人ホーム山崎園	やまざきロコトレサロン開催 参加者 10名	◎			
2019/8/24	竹村理事長・和久田園長・地域包括ほか	大平台健康フォーラム開催 参加人数 約150名	◎			
2019/8/25	竹村理事長・救護施設神ヶ谷園	大平台歩道草刈り清掃 利用者21名、職員7名参加				△
2019/8/25	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 足浴3F ひまわり会様 6名			△	
2019/8/27	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 音楽の会、ピアノ演奏 たすけあい浜松様 5名			△	
2019/8/27	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 音楽の会手伝い 神久呂中学校 1名		◎		
2019/8/29	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 ひよ子 2名			△	
2019/8/29	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスボランティア受け入れ 草笛 加茂様 1名			△	
2019/9/1	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 車椅子整備 浜松聖星高校末広会様2名		◎		

2019/9/4	特別養護老人ホーム山崎園	特別養護老人ホーム慰問山崎園受入 アニマルセラピー 4名 犬4匹				△
2019/9/5	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 大道芸 4名				△
2019/9/7	特別養護老人ホーム三幸の園	雄踏シニアクラブ 介護認定講座 参加者17名 職員4名	◎			
2019/9/8	救護施設神ヶ谷園	大平台自治会草取り清掃 利用者25名、職員4名参加				△
2019/9/8	救護施設神ヶ谷園	大平台自治会資源回収 新聞・段ボール提供				△
2019/9/8	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 傾聴ボランティア、マッサージ 浜松聖星高校末広会様2名	◎			
2019/9/8	特別養護老人ホーム三幸の園	大平台自治会資源回収 段ボール提供 職員1名参加				△
2019/9/9	松城デイサービスセンター	デイサービスボランティア受け入れ レコード演奏 太田様 1名				△
2019/9/10	松城デイサービスセンター	デイサービスボランティア受け入れ 歌とレクリエーション 名倉様 1名				△
2019/9/11	松城デイサービスセンター	デイサービスボランティア受け入れ 三味線演奏 寺井様 5名				△
2019/9/12	松城デイサービスセンター	デイサービスボランティア受け入れ フラダンス 山下様 9名				△
2019/9/12	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 紙芝居 大平台高校放課後ボランティア 5名	◎			
2019/9/13	松城デイサービスセンター	デイサービスボランティア受け入れ ピアノで歌 エミセラ様 2名				△
2019/9/13	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 福祉体験 大平台高校 40名				△
2019/9/14	特別養護老人ホーム山崎園	やまざきロコトレサロン開催 参加者 12名	◎			
2019/9/15	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 足浴3F たすけあい浜松様 6名				△
2019/9/15	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 足浴手伝い 浜松聖星高校末広会様2名	◎			
2019/9/19	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスボランティア受け入れ マジック 冨塚マジック様 5名				△
2019/9/20	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスボランティア受け入れ ギターアンサンブル 音風様 3名				△
2019/9/20	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 よさこい 8名 と やまレレ 7名				△
2019/9/22	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 清掃 大平台高校放課後ボランティア 6名	◎			
2019/9/22	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 足浴3F ひまわり会様 6名				△
2019/9/23	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 ハミングギター 4名				△
2019/9/24	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 音楽の会、ピアノ演奏 たすけあい浜松様 5名				△
2019/9/25	竹村理事長・救護施設神ヶ谷園	南区民生委員・児童委員32名 施設見学受け入れ	◎			
2019/9/27	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 福祉体験 大平台高校 40名		◎		
2019/9/27	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 書道教室 1名				△
2019/9/28	竹村理事長・和久田園長・地域包括ほか	大平台健康フォーラム開催 参加人数 約150名	◎			
2019/9/28	特別養護老人ホーム山崎園	やまざきロコトレサロン開催 参加者 11名	◎			
2019/9/29	救護施設神ヶ谷園	大道芸人おすずさん 慰問受け入れ				△
2019/9/29	三幸の園 特養、デイ、包括	入野福祉まつり参加 職員7名参加	◎			
2019/9/29	竹村理事長・和久田園長・三幸の園	ベトナム技能実習生福祉体験 参加人数9名	◎			
2019/9/30	三幸の園 7事業所	西都台小学校 高齢者疑似体験 職員10名		◎		
2019/9/30	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 ポコ・ア・ポコ 7名				△
2019/9/24～10/28	特別養護老人ホーム山崎園	日本福祉大学社会福祉士相談援助実習 男性1名		◎		
2019/9/30～10/4	松城デイサービスセンター	教員実習受け入れ 静岡文化芸術大学生 1名		◎		
2019/10/2	特別養護老人ホーム山崎園	特別養護老人ホーム慰問山崎園受入 アニマルセラピー 4名 犬4匹				△
2019/10/9	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 宮崎カルテット 4名				△
2019/10/10	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 施設内の手すりの掃除 大平台高校様 5名		◎		
2019/10/11	松城デイサービスセンター	デイサービス慰問受入 歌とレクリエーション 名倉様 1名				△
2019/10/11	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホーム福祉体験受入 大平台高校様 40名		◎		
2019/10/13	特別養護老人ホーム山崎園	やまざきロコトレサロン開催 参加者 9名	◎			
2019/10/13	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 喫茶の手伝い 浜松聖星高校様 1名		◎		
2019/10/14	松城デイサービスセンター	デイサービス慰問受入 ふえとキーボード歌 飯尾様 3名				△
2019/10/14	三幸の園デイサービスセンター	デイサービス慰問受入 歌 ふれあい会様 23名				△
2019/10/16	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 光里流 友清会 7名				△
2019/10/19	三幸の園デイサービスセンター 吉山あずさ	入野本所ふれあいサロン参加 職員1名	◎			
2019/10/20	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 足浴 たすけあい浜松様 6名				△
2019/10/21	在宅部門(6名)	認知症サポーター養成講座 大平台小学校		◎		
2019/10/23	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 足浴 ひまわり会様 4名				△
2019/10/23	三幸の園デイサービスセンター	デイサービス慰問受入 マジック・踊り・歌 ドリーム会様 4名				△
2019/10/24	三幸の園デイサービスセンター	デイサービス慰問受入 ウクレレ演奏・歌 山崎園居宅柳生様 1名				△
2019/10/24	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 紙芝居読み聞かせ 大平台高校様 6名		◎		
2019/10/25	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 書道教室 1名				△
2019/10/25	救護施設神ヶ谷園	山梨県南巨摩郡富士川町民生委員・児童委員38名 施設見学受け入れ	◎			
2019/10/25	三幸の園デイサービスセンター	デイサービス慰問受入 バンド演奏・歌 縁!JOY!バンド様 3名				△
2019/10/26	特別養護老人ホーム山崎園	やまざきロコトレサロン開催 参加者 10名	◎			
2019/10/26	竹村理事長・和久田園長・地域包括ほか	大平台健康フォーラム開催 参加人数 約136名	◎			
2019/10/29	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホーム慰問受入 音楽の会、ピアノ演奏 たすけあい浜松様 6名				△
2019/10/30	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 たなちゃん 1名				△
2019/10/30	三幸の園デイサービスセンター	デイサービス慰問受入 歌 そよ風様 5名				△
2019/10/15～17	三幸の園デイサービスセンター	施設間交換研修 長上苑職員 1名受入れ	◎			
2019/10/21～25	松城デイサービスセンター	教員実習受け入れ 静岡文化芸術大学 1名		◎		
2019/10/28～11/1	松城デイサービスセンター	教員実習受け入れ 静岡大学 1名		◎		
2019/11/1	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 大道芸トシさん 1名				△
2019/11/1	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホーム福祉体験受入 大平台高校様 40名		◎		
2019/11/4	竹村理事長・特別養護老人ホーム三幸の園 金原昂平	聖隷クリストファー大学出張授業 福祉職としての心構え		◎		
2019/11/4	特別養護老人ホーム山崎園	特別養護老人ホーム慰問山崎園受入 アニマルセラピー 4名 犬4匹				△
2019/11/6	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 ハナミズキ 4名				△
2019/11/7	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 手すりの掃除 大平台高校様 6名		◎		
2019/11/8	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホーム福祉体験受入 大平台小学校様 30名		◎		
2019/11/9	特別養護老人ホーム山崎園	やまざきロコトレサロン開催 参加者 7名	◎			
2019/11/10	救護施設神ヶ谷園	大平台自治会公園草取り参加 利用者27名 職員6名				△
2019/11/10	救護施設神ヶ谷園	大正琴 慰問受け入れ				△

2019/11/12	在宅部門(6名)	認知症サポーター養成講座 入野小学校		◎		
2019/11/12	三幸の園デイサービスセンター	デイサービス慰問受入 踊り 豊静照会様 5名			△	
2019/11/13	三幸の園デイサービスセンター	デイサービス慰問受入 コーラス そよ風様 4名			△	
2019/11/14	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 書道教室 1名			△	
2019/11/17	特別養護老人ホーム三幸の園	大平台自治会資源回収 新聞・段ボール提供				△
2019/11/17	救護施設神ヶ谷園	大平台自治会資源回収 新聞・段ボール提供				△
2019/11/17	特別養護老人ホーム三幸の園	大平台自治会防災訓練参加 職員7名				△
2019/11/17	救護施設神ヶ谷園	大平台自治会防災訓練参加 利用者24名 職員5名				△
2019/11/17	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 足浴手伝い 聖星高校末広会様 1名		◎		
2019/11/17	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 足浴 たすけあい浜松様 5名			△	
2019/11/18	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスボランティア受入 活動補助 相曾つや子、渥美利枝子様 2名			△	
2019/11/19	三幸の園デイサービスセンター	デイサービス慰問受入 草笛 加茂様 1名			△	
2019/11/20	三幸の園デイサービスセンター	デイサービス実習受入 クラーク国際記念高等学校 5名		◎		
2019/11/20	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスボランティア受入 活動補助 相曾つや子、渥美利枝子様 2名			△	
2019/11/21	三幸の園デイサービスセンター	デイサービス慰問受入 歌、三味線 高砂会様 2名			△	
2019/11/22	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 えみの会 7名			△	
2019/11/22	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスボランティア受入 活動補助 相曾つや子、渥美利枝子様 2名			△	
2019/11/22	松城デイサービスセンター	デイサービス慰問受入 歌とレクリエーション 名倉様 1名			△	
2019/11/23	竹村理事長・和久田園長・地域包括ほか	大平台健康フォーラム開催 参加人数 約110名	◎			
2019/11/23	特別養護老人ホーム山崎園	やまざきロコトレサロン開催 参加者 9名	◎			
2019/11/24	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 足浴手伝い 聖星高校末広会様 2名		◎		
2019/11/24	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 足浴 ひまわり会様 5名			△	
2019/11/25	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスボランティア受入 活動補助 相曾つや子、渥美利枝子様 2名			△	
2019/11/26	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 ひよこ 2名			△	
2019/11/26	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 音楽の会 たすけあい浜松様 5名			△	
2019/11/27	三幸の園デイサービスセンター	デイサービス実習受入 クラーク国際記念高等学校 5名		◎		
2019/11/27	三幸の園デイサービスセンター	デイサービス慰問受入 歌、踊り、マジック おもいやりの会様 8名			△	
2019/11/29	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 書道教室 1名			△	
2019/11/29	松城デイサービスセンター	デイサービス慰問受入 歌と椅子に座ったままできる体操 清水有線様 3名			△	
2019/11/30	救護施設神ヶ谷園 土屋清美	聖隷クリストファー大学出張授業 卒業生による福祉の仕事報告会		◎		
2019/12/2	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 倉岡ギター 2名			△	
2019/12/2	三幸の園デイサービスセンター	デイサービス慰問受入 社交ダンス よつ葉ダンス 6名			△	
2019/12/2	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスボランティア受入 活動補助 相曾つや子、渥美利枝子様 2名			△	
2019/12/4	特別養護老人ホーム山崎園	特別養護老人ホーム慰問山崎園受入 アニマルセラピー 4名 犬4匹			△	
2019/12/4	三幸の園デイサービスセンター	デイサービス実習受入 クラーク国際記念高等学校 5名		◎		
2019/12/4	三幸の園デイサービスセンター	デイサービス慰問受入 歌、踊り ドリーム会様 3名			△	
2019/12/9	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスボランティア受入 活動補助 相曾つや子、渥美利枝子様 2名			△	
2019/12/11	救護施設神ヶ谷園	慈照園主催地域サロン「地域でアパート生活を送るために」参加 利用者2名、職員1名	◎			
2019/12/11	三幸の園デイサービスセンター	デイサービス実習受入 クラーク国際記念高等学校 4名		◎		
2019/12/12	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 書道教室 1名			△	
2019/12/12	松城デイサービスセンター	デイサービス慰問受入 歌とマジック マジックひよこ様 1名			△	
2019/12/14	特別養護老人ホーム山崎園	やまざきロコトレサロン開催 参加者 7名	◎			
2019/12/15	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 足浴 たすけあい浜松様 4名			△	
2019/12/15	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 足浴補助 聖星高校末広会様 1名		◎		
2019/12/16	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスボランティア受入 活動補助 相曾つや子、渥美利枝子様 2名			△	
2019/12/16~27	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター実習受入 修学舎1年生 1名		◎		
2019/12/17	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 ポコ・ア・ポコ 8名			△	
2019/12/18	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 太陽の会 7名			△	
2019/12/18	三幸の園デイサービスセンター	デイサービス実習受入 クラーク国際記念高等学校 5名		◎		
2019/12/21	救護施設神ヶ谷園	クリスマス会慰問受け入れ 大道芸人おすずさん・トクラス労働組合9名			△	
2019/12/21	救護施設神ヶ谷園	聖隷クリストファー学生ボランティア受け入れ1名	◎			
2019/12/21	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホーム慰問受入 クリスマス会 さんきゅう様 11名			△	
2019/12/22	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 足浴 ひまわり会様 4名			△	
2019/12/22	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 足浴補助 聖星高校末広会様 1名		◎		
2019/12/22	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア慰問受入 施設内清掃、慰問ボーイスカウト浜松様 14名	◎			
2019/12/23	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスボランティア受入 活動補助 相曾つや子、渥美利枝子様 2名			△	
2019/12/23	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスボランティア受入 活動補助 野島ひろみ様 1名			△	
2019/12/24	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 めだかの会 18名			△	
2019/12/24	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 音楽の会 さんきゅう様 6名			△	
2019/12/25	三幸の園デイサービスセンター	デイサービス慰問受入 コーラス そよ風様 6名			△	
2019/12/26	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 DMSダンス(小学生) 23名			△	
2019/12/26	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスボランティア受入 活動補助 野島ひろみ様 1名			△	
2019/12/27	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 書道教室 1名			△	
2019/12/27	三幸の園デイサービスセンター	デイサービス慰問受入 大道芸 おすず様 1名			△	
2019/12/28	特別養護老人ホーム山崎園	やまざきロコトレサロン開催 参加者 6名	◎			
2019/12/30	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスボランティア受入 活動補助 野島ひろみ様 1名			△	
2019/12/30	松城デイサービスセンター	デイサービス慰問受入 歌とレクリエーション 名倉様 1名			△	
2020/1/6	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスボランティア受入 活動補助 相曾つや子、渥美利枝子様 2名			△	
2020/1/8	三幸の園デイサービスセンター	デイサービス慰問受入 コーラス そよ風様 5名			△	
2020/1/9	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 書道教室 1名			△	
2020/1/9	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 施設内清掃 大平台高校様 6名	◎			
2020/1/10	三幸の園デイサービスセンター	デイサービス慰問受入 ギター演奏、歌 音風様 2名			△	
2020/1/11	特別養護老人ホーム山崎園	やまざきロコトレサロン開催 参加者 7名	◎			
2020/1/12	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 喫茶の会手伝い 聖星高校末広会様 3名	◎			

2020/1/13	松城デイサービスセンター	デイサービス慰問受入 笛と太鼓の歌 3名			△		
2020/1/13	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスボランティア受入 活動補助 相曾つや子、渥美利枝子様 2名			△		
2020/1/15	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 ハナミズキ 4名			△		
2020/1/16	三幸の園デイサービスセンター	デイサービス慰問受入 マジック 様 5名			△		
2020/1/17	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 ひよ子 2名			△		
2020/1/17	松城デイサービスセンター	デイサービス慰問受入 歌とレクリエーション 名倉様 1名			△		
2020/1/18	訪問看護ステーション大平台	一般社団法人浜松市医師会 浜松市多職種連携推進事業西区研修会 講師参加 福山良子		◎			
2020/1/19	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 足浴 たすけあい浜松様 5名			△		
2020/1/19	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 足浴補助 聖星高校末広会様 3名	◎				
2020/1/20	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスボランティア受入 活動補助 野島ひろみ様 1名			△		
2020/1/21	地域包括支援センター大平台	認知症サポーター養成講座 講師参加:稲川淳哉		◎			
2020/1/23	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 ハミングギター 4名			△		
2020/1/23	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 施設内清掃 大平台高校様 5名	◎				
2020/1/24	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 書道教室 1名			△		
2020/1/24	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスボランティア受入 活動補助 野島ひろみ様 1名			△		
2020/1/25	特別養護老人ホーム山崎園	やまざきロコトレサロン開催 参加者 11名	◎				
2020/1/25	和久田園長・地域包括ほか	大平台健康フォーラム開催 参加人数 約104名	◎				
2020/1/26	救護施設神ヶ谷園	大平台自治会資源回収 新聞・段ボール提供				△	
2020/1/26	特別養護老人ホーム三幸の園	大平台自治会資源回収 新聞・段ボール提供				△	
2020/1/26	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 足浴 ひまわり会様 4名			△		
2020/1/26	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 足浴補助 聖星高校末広会様 1名	◎				
2020/1/27	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスボランティア受入 活動補助 野島ひろみ様 1名			△		
2020/1/28	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホーム慰問受入 音楽の会 たすけあい浜松様 5名			△		
2020/1/29	三幸の園デイサービスセンター	デイサービス実習受入 クラーク国際記念高等学校 4名		◎			
2020/2/2	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 消毒・清掃 聖星高校末広会様 1名		◎			
2020/2/4	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスボランティア受入 療術奉仕活動(マッサージ) 静岡県療術師協会様 4名			△		
2020/2/4~2/29	特別養護老人ホーム山崎園	特養実習受入 聖隷クリストファー大学介護福祉科2年生 1名		◎			
2020/2/4~2/29	ユニット型特別養護老人ホーム山崎園	特養実習受入 聖隷クリストファー大学介護福祉科2年生 1名		◎			
2020/2/5	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 歌と踊りとマジック ドリーム会様 4名			△		
2020/2/5	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホーム実習生受入 聖隷クリストファー 2/5~3/9 2名		◎			
2020/2/5	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホーム実習生受入 新居高校校 2/5~2/7 1名		◎			
2020/2/5	特別養護老人ホーム山崎園	特別養護老人ホーム慰問山崎園受入 アニマルセラピー 4名 犬4匹			△		
2020/2/7	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスボランティア受入 傾聴・活動補助 野島ひろみ様 1名			△		
2020/2/8	特別養護老人ホーム山崎園	やまざきロコトレサロン開催 参加者 11名	◎				
2020/2/9	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 喫茶の会補助 聖星高校末広会様 1名		◎			
2020/2/10	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 草笛・歌 加茂様 1名			△		
2020/2/10	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 早川ギター 1名			△		
2020/2/11	三幸の園デイサービスセンター	入野・本所 老人サロン参加 レク提供、デイの紹介 吉山、山内職員	◎				
2020/2/12	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 歌 そよ風様 5名			△		
2020/2/13	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 施設内清掃 大平台高校様 5名		◎			
2020/2/13	やまざきデイサービスセンター	デイサービスセンター慰問受入 書道教室 1名			△		
2020/2/17	松城デイサービスセンター	デイサービス慰問受入 歌とレクリエーション 名倉様 1名			△		
2020/2/17~2/21	ユニット型特別養護老人ホーム山崎園	特養実習受入 修学舎高校1年生 1名		◎			
2020/2/20	三幸の園デイサービスセンター	デイサービスボランティア受入 傾聴・活動補助 野島ひろみ様 1名			△		
2020/2/20	竹村理事長	中国西安市 陝西盛唐対外経済技術合作有限公司、西安医療高等専科学校へマスク2000枚の寄贈				△	
2020/2/22	竹村理事長・和久田園長・地域包括ほか	大平台健康フォーラム開催 参加人数 約100名	◎				
2020/2/22	特別養護老人ホーム山崎園	やまざきロコトレサロン開催 参加者 9名	◎				
2020/2/23	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホームボランティア受入 消毒・清掃 聖星高校末広会様 1名		◎			
2020/2/24	特別養護老人ホーム三幸の園	特別養護老人ホーム慰問受入 音楽の会 たすけあい浜松様 5名			△		
2020/2/29~3/1	新施設推進P・広報推進Pほか	大平台の園入居者募集・求人募集イベント	◎				
2020/3/16	松城デイサービスセンター	デイサービス慰問受入 歌とレクリエーション 名倉様 1名			△		
			合計個数	53	79	185	27
				344			

特別養護老人ホーム三幸の園 2019 度事業報告

【基本方針】

施設理念に基づき、ご利用者様が住み慣れた地域で尊厳を持って安心した生活が送れるよう、ご利用者様本位の生活支援を提供します。多職種が協働し、統一したチームケアを提供するため、報告、連絡、相談を行い情報の共有に努めると共に、介護の質の向上に向けた取り組みを行い顧客満足の高いサービスを目指します。

【生活相談員 重点項目】

① ご家族との良好な関係の維持

ご家族様の面会時には進んでお声掛けし、日頃の利用者様の様子をお伝えするように努めました。また、体調不良時や状態悪化が見られる利用者様のご家族様には看護師から直接、現在の状態及び今後予想される病変などの説明を行い、ご家族様の意向に沿った対応を心掛けました。施設でのお看取りを希望される方が、前年より増加し全体の 57%に増加しました。全てのご家族様にご満足いただけるよう細やかな対応を継続します。また、ケアプラン説明会、誕生日会を毎月開催し、ケアプラン説明会では平均 6 組、誕生日会は平均 3 組のご参加をいただきました。生活相談員として、ご家族様との繋がりが常に意識できるような取り組みを継続していきます。

② 入所待機者の準備と空床日数の短期間化

	空床日数	入所人数	退所人数	入退所日数	外泊日数	入院日数	平均介護度
4月	60	2	3	6	0	54	3.76
5月	77	4	5	56	0	21	3.78
6月	37	3	1	9	0	28	3.72
7月	61	2	2	5	0	56	3.66
8月	70	4	6	51	0	19	3.62
9月	29	2	1	29	0	0	3.63
10月	8	3	2	8	0	0	3.64
11月	0	1	1	0	0	0	3.68
12月	7	1	1	0	0	0	3.65
1月	50	3	4	8	0	7	3.67
2月	19	2	2	10	0	9	3.7
3月	0	1	0	0	0	0	3.78
合計	418	28	28	182	0	194	3.67

入退所 28 件 (25 件) 空床日数合計 418 日 (452 日)

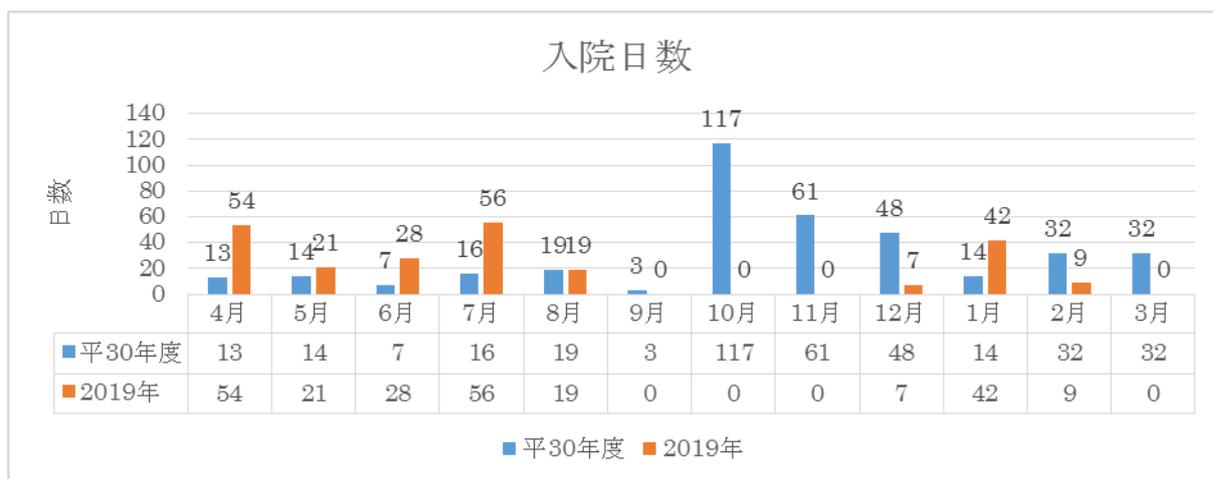
平均空床日数 6.40 日 (2.9 日) () 内は 30 年度実績

入所申し込みでは男性や、精神疾患を持つ方の申し込みが増加している傾向にあります。男性多床室の調整や精神疾患の方の対応方法を現場と密に調整し、問題解決を目指し、空床日数の短縮化に努めます。



目標であった、入退所 1 件につき空床日数 5 日以内は達成できませんでした。

対象利用者様の体調不良や、先方の施設、病院との入所日調整がスムーズに実施できず、30 日を超えてしまう事がありました。緊急受け入れ等もあり、今までになく、ご家族様、関係機関への連絡を密にとりましたが、結果として反省点が多く残りました。ショートステイ利用者も含め次期入所待機者の確保を継続して行う事で目標に沿ったスムーズな入所を提供していきます。



前年度は、急な状態変化による長期入院が多くありましたが、本年度も医療的な問題で入院が長期化する事がありました。結果として、前年度に比べ 140 日削減となりましたが、ご家族様のご意向や施設での医療的な対応についても、今まで以上にご納得いただける為に他職種で対応していきます。

入所前面接 22 件 (17 件) 月平均 1.83 件(1.4 件) () 内は平成 30 年度実績面接実施し、入所までに至ったのは 13 件でした。約半数近くはキャンセル、もしくは待機して頂いている間に他施設入所となり空床のタイミングも必要な条件となっています。引き続き、月 1 件以上の面接実施、入所判定会で候補者の検討、入所希望ご家族様や他のサービス事業者との連絡を取りながら、次期入所者確保に努めます。

③ 地域との連携

地域の皆様の福祉施設としての役割をアピールする事を目標に、地域の小中高校生の福祉体験、ボランティアの受入れ等を年間通して実施しましたが、福祉のイメージアップに繋がる結果には至っておりません。今後も体制を継続し教育学習の場や人材育成の場として提供していきます。引き続き、地域福祉に貢献していければと考えます。

受け入れ校：大平台小学校、入野中学校、大平台高校、新居高校、浜松聖星高校、聖隷クリストファー大学・専門学校

【介護職員 重点実施項目】

① ケアプランの実施と評価

ケアプランの作成、見直しは定期的、かつ計画的にカンファレンスが実施されています。職員担当制にすることにより、利用者様の状態把握をもれなく行い、また、担当職員が中心となり前もって情報提供依頼を行うことにより、他職種間の情報がスムーズに伝達され確実に行えています。また、ケアプラン作成時、ご家族にも各職種より説明を行うことで、より安心して頂け、ご家族様の意向も反映することができています。一層個々に合った満足していただけるサービスを提供するために観察、記録、評価をしっかりと行い、プランを作成しています。

② 安定したサービスの提供と利用者が楽しめる余暇生活の充実

全体的には安定したサービスを提供することができており、利用者様に落ち着いて生活してもらうことができました。季節に合わせた壁紙や飾り物を一緒に制作し、お楽しみ会や納涼祭等を実施し楽しんで頂くことができました。日常の中のレクリエーションもゲームや歌など多くの利用者様が楽しみを持てるよう実施しました。一人一人の誕生日には担当職員よりお祝いカードを贈り、記念の写真を撮影しています。月毎の誕生会もご家族様にも参加していただける形で行い、ご家族様と一緒に楽しんで頂ける様子がうかがえました。月に一度、生け花、書道のクラブ活動実施も継続しております。ボランティアによる

足浴、月に一度の喫茶の会には可能な方には全員参加していただけるよう努めました。このようにさまざまな活動を行い、張りのある生活をしていただけるよう努めました。

③ 職員の教育

より質の高いサービスの提供を行うため、職員の質の向上に努めてまいりました。毎月の定めた目標に対しての反省アンケートを継続して実施し、職員一人一人が振り返りを行えるようにし、意識の向上に繋げています。職員の知識、技術向上のため 外部研修には、より多くの職員が参加できるよう考慮し、職員の半数以上が参加することができました。外部研修の内容を施設内でもミニ勉強会の実施や資料配布など行い、参加職員以外にも周知していけるよう努めました。各階ごとによるミニ勉強会の実施は 月毎に担当職員を決めて行い、目標回数を達成することができました。新人職員に対してはチューター制度を実施し、本人のレベルに合わせたきめ細やかな教育をしていけるよう配慮しました。今後も介護レベルアップのための勉強会の実施、チームワーク向上をはかり、全体に質の向上ができるような教育体制の充実を図っていきます。

④ 委員会活動

・感染症対策委員会

感染症標準予防策の勉強会等を開催し、周知徹底を図りました。

今年度はインフルエンザに関し利用者様1名、職員3名の発症がありましたが、それ以上の感染拡大はありませんでした。また、ノロウイルスに関しては発症はありませんでした。職員の感染予防意識の向上と発症後の速やかな対応が定着している結果であると言えます。

その他、空気清浄機や冬季使用の加湿器の管理、日常の使用物品に関する必要な消毒や交換等を定期的に行い日頃からの感染予防に努めました。

・安全対策身体拘束廃止委員会

施設内事故に関して、対策の検討を行い、事故減少を目指すと同時に、身体拘束ゼロを目指しました。誤薬、与薬ミス事故に関して、与薬マニュアルの確認、周知をその都度行い、さらに二重チェックができる対策を徹底しています。転倒、その他事故に関してはその都度、早急に職員が対策を話し合い、対策の周知、一定期間後の評価を行い、同じ事故が再度起こらないよう努めました。適切な見守り、環境を置く事で少しでも減ることを目指すと同時に、職員の意識の向上を図り大きな事故を無くしていきたいと考えます。拘束に関しては、現在やむを得ず夜間帯のみミトンを装着する許可をご家族様よりいただいている利用者様が1名おりますが、数か月前よりミトンを外しての状態観察を続けており、完全拘束ゼロへ向けて努力しています。

・褥瘡排泄委員会

定期的に利用者様にあった排泄物品を検討し、皮膚トラブルの軽減とコスト削減に努めてきました。利用者様の状態変化による排泄物品の変更も速やかに周知できるよう配慮しました。正しく排泄物品を使用し利用者様の不快感の軽減ができるようオムツの当て方の勉強会を開催しました。

⑤ 5Sの推進

職員の5Sに対する意識は徐々に向上している様子が見られます。利用者様にとって快適、且つご家族様からも安心していただける環境の提供をを旨し業務内に5S項目を取り入れる等の工夫を行いました。

【医務室看護師 重点項目】

① 入所者定期健康診断の実施

本年度より聖隷検診センターによる実施となり、8月16日実施しました。胸部レントゲン、血液検査を行い、疾患の早期発見に努め、医師との連携にて健康管理を行いました。

② 感染症の予防

インフルエンザ…予防接種を実施し、インフルエンザ感染の予防に努めました。本年度は入所者様1名、職員3名が罹患しましたが、重症者なく快方しました。罹患者を少なく抑えられたのは初期対応や情報共有等を迅速に実施できたことと、感染予防策の徹底を実施できたものと考えます。肺炎球菌ワクチン…浜松市より助成のある方で、ご希望のある3名に予防接種を実施し、肺炎感染予防に努めました。

③ 健康管理、体調不良時、急変時の対応

健康状態を把握し、体調不良時は重症化する前に嘱託医の治療を受けられるように、他職種と連携し異常の早期発見に努めました。体調不良時は、相談員と連携し、ご家族様へ十分な病状説明を行い、意向に沿った対応を行いました。総合病院受診の希望がある場合は医師と連携し、病院へ付き添いご家族様と共に診察や入院までの経過を見守りました。検査や処置等の受診中も、家族の話を傾聴し、不安な気持ちに寄り添えるように努めました。ショート利用者の健康管理、状態把握に努め、体調不良時には相談員と連携し、必要時は受診を勧める等の対応をし、重症化を防ぐために努めました。

④ ターミナルケア

食事摂取量が徐々に減少し老衰と考えられた際、医師と連携し看取り期に入られた旨の説明を丁寧に行い、看取りケアに対する同意を得るように努めました。個室を使用し、ご本人様、ご家族様が周囲に気を使うことなく最期の時間を穏

やかにゆっくり過ごしてもらえよう環境整備を行い援助しました。「病院へ行かなくて良かったのか」というご家族様の心の葛藤や家族間の死生観の違いに対して出来る限り真摯に努めました。

⑤ 褥瘡予防

介護職と連携し、おむつ交換時の陰部、臀部の洗浄を強化し、小さい皮剥けの段階で早期発見し処置を行うことで重症化を防ぐよう、褥瘡ができないように努めました。

⑥ 機能訓練

機能訓練士による集団体操の実施や個々に合わせた機能訓練計画を立案し、残存機能の維持と向上に努めました。

⑦ 介護職員の医療知識の向上

新人介護職員に対し、医療知識の向上の為の勉強会 10 時間と中途入職者に対して吸引研修を行いました。看取りに対する勉強会、救急法の伝達を行いました。

外部研修には、看護職全員が参加し自己研鑽に努めました。

【栄養士 重点実施項目】

①適切な栄養ケア・マネジメントの提供

同一条件による毎月の体重測定の実施や食事摂取量調査、摂食状況観察、ご本人・担当職員への聞き取り、カンファレンス参加により利用者状況の把握と情報の共有を図りました。さらに、リスク判定に関わらず全利用者に対し毎月モニタリングを実施することで高リスク者は4%と増加ありません。計画書は3ヶ月毎に作成し、毎月2日間の説明日を設けることで年間123組のご家族のご意向と同意を直接得ることができ、意向を反映した適切な栄養ケア・マネジメントの提供を目指しました。

②利用者状況に合った楽しみある食事の提供

給与栄養目標量を年1回設定し、月1回開催の給食会議と9月実施の全利用者191名対象の嗜好調査結果を反映させた利用者状況に合った食事提供に努めました。

食事は給与栄養目標量をすべての項目で満たす食事提供ができています。季節や行事にあわせたイベント行事食は年間で45回、バイキングは年間8回実施し、要望に答えた変化に富んだ楽しみある食事提供を目指しました。また、イベント行事食の提供方法を見直し、ソフト食材を活用することで展開食においても季節や行事を感じ楽しむことができるよう取り組みました。

③安全で安心な食事の提供

衛生管理大量調理衛生管理マニュアルに基づく書類作成と管理を毎日実施し、厨房責任者と施設栄養士にて二重確認を行い安全で安心な食事提供ができるよう取り組みました。また、日々の清掃に加え、業者による配管清掃を4月、害虫駆除用薬剤散布を5月と11月、害虫の保守点検を毎月実施し、厨房の衛生環境を整えました。

④緊急災害時の自助体制を整える

新たな保管庫を設置し、分散保管を実施するとともに備蓄食品点検を毎月実施し、期限前の入れ替えと使用により品質管理と食材確保(5日分)を行ないました。入れ替え時には、通常食として提供し、味や調理工程の確認を行うとともに栄養改善に努めエネルギー量は686kcalから899kcalと改善しました。しかし、現在も栄養価は十分ではありません。そのため2019年度末までに1000kcal以上を目標に取り組みを続けます。9月には厨房職員と施設職員参加の炊き出し訓練を実施し、防災器具の性能確認と炊き出し工程・盛付の確認を行いました。今年度は10月に停電となり食事提供に影響がでました。そのため、自助体制強化のため12月に全職員対象の勉強会を実施し、情報の共有を図りました。

短期入所施設三幸の園 2019年度事業報告

【基本方針】

在宅介護であることを理解し、利用者様が可能な限りその在宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことが出来るよう、入浴・排泄・食事等の介護やその他の日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者様の心身の機能の維持だけではなく、利用者様のご家族様の身体的及び精神的負担の軽減を図ります。

【基本計画】

① 短期入所介護計画の作成・提供

介護支援専門員の作成したケアプランを元に、毎月4日以上利用のある定期利用者へのケアプランの作成に加え、今後利用日数の拡大が見込まれる月2日以上の定期利用者への作成も行いました。計43件の作成・更新を実施しました。施設介護計画書を元にした、介護職員による毎月のモニタリングについても100%実施され、利用者担当者会議等でご家族や他事業所へ報告する事で、活かす事が出来ました。

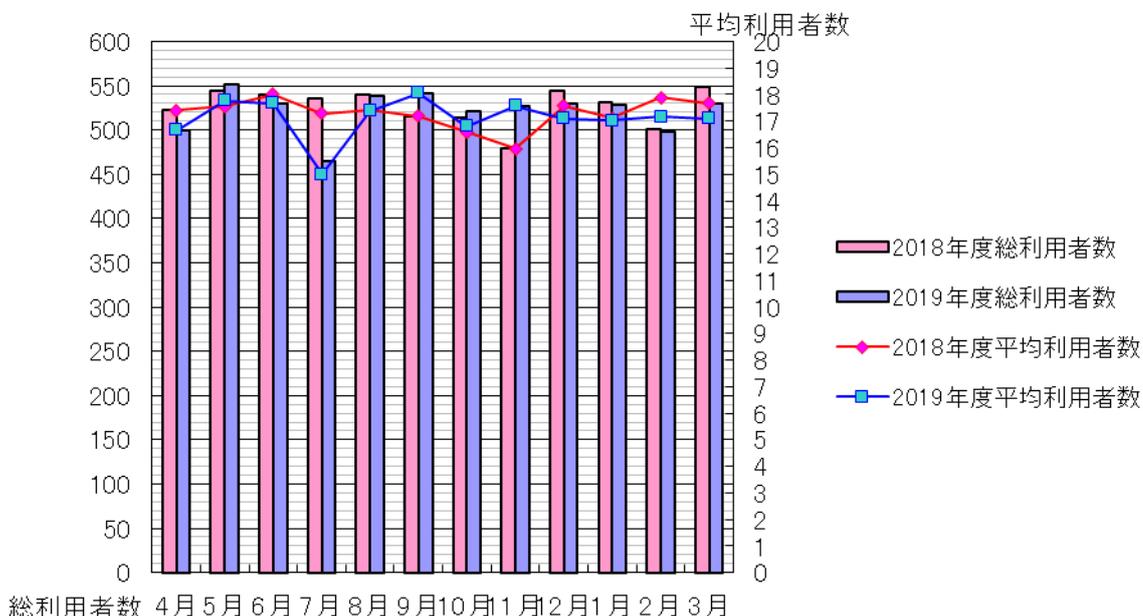
② 情報収集と問題の未然防止

- (1) 送迎時等での触れ合いで良好な関係を構築・維持し、ドライブや慰問等ご利用中のイベントの写真をお渡しする事で利用者本人だけでなくご家族にとって話をしやすい環境を整える事が出来ました。
- (2) 体調の変化をご利用の無かった期間の話をする事などで確認し、感染症等を施設に持ち込まないよう注意しました。結果として、今年度もノロウイルスやインフルエンザ等の感染症を施設に持ち込む事はありませんでした。また2月29日には新型コロナウイルスに関する対応の手紙を作成しご家族に説明をすることで施設としての感染症対策にご理解をいただきました。
- (3) 開催されたサービス担当者会議へは、先方より指定された日に物理的に参加出来ないものもありましたが、文面での情報提供を全てに実施し、依頼のあったものは100%対応致しました。
- (4) 2019年10月の消費税率増加に伴う介護保険法改正では、10月のご利用前までに同意を受け、重要事項説明書に署名押印を頂きました。

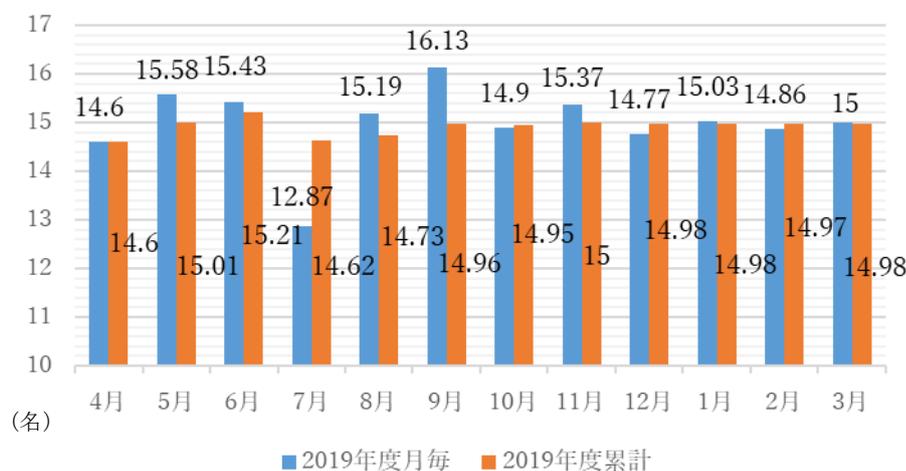
③ 利用者数の継続安定確保

- (1) 7月の実績が75.00%だった為、計画していた月間での平均稼働率80%（16人/1日）の確保の年度間継続は達成出来ませんでした。

次ページグラフの通り年度前半で大きなマイナスが生じましたが、翌8月以降は安定した確保が出来ました。



年度間実績では、平均稼働率は85.55% (17.11人/1日) と計画の82.5%は達成しました。昨年実績 (85.65%) に比べマイナス1%ではありますが夜間利用者数は下グラフの通り上限いっぱいの調整が年度末まで続き、夜間利用の平均稼働率は74.9% (14.98人/1日) でした。



(2) 安定確保を継続する為に、年度間12名の新規介護支援専門員からの利用者の獲得をしました。

新規介護支援専門員からの問い合わせ以外にも、ロングショートの間い合わせが多く、結果利用につなげられなかったケースもありましたが、昨年度に比べ回転率は良かった一年でした。昨年度のロングショート受け入れ数13名 (終了は14名) に対し、今年度の受け入れ数は23名 (終

了が21名)でした。

④ 特別養護老人ホームとの連携

- (1) 特別養護老人ホームとの連携を図り、施設入所待機者をロングショートで確保し、年度間計13名を入所へと移行しました。3月31日現在、入所待機者4名にロングショートをご利用いただいています。
- (2) 感染症対策の観点から電解水の設置を検討しました。デモ機の借り受けが出来た為、全職員に周知し施設内8か所の噴霧器に使用、浴室清掃業務などに取り入れています。来年度早々には導入する予定です。今後もご利用者にとってより良い環境でサービスが提供出来るように意識・対応します。

三幸の園デイサービスセンター 2019年度事業報告

【基本方針】

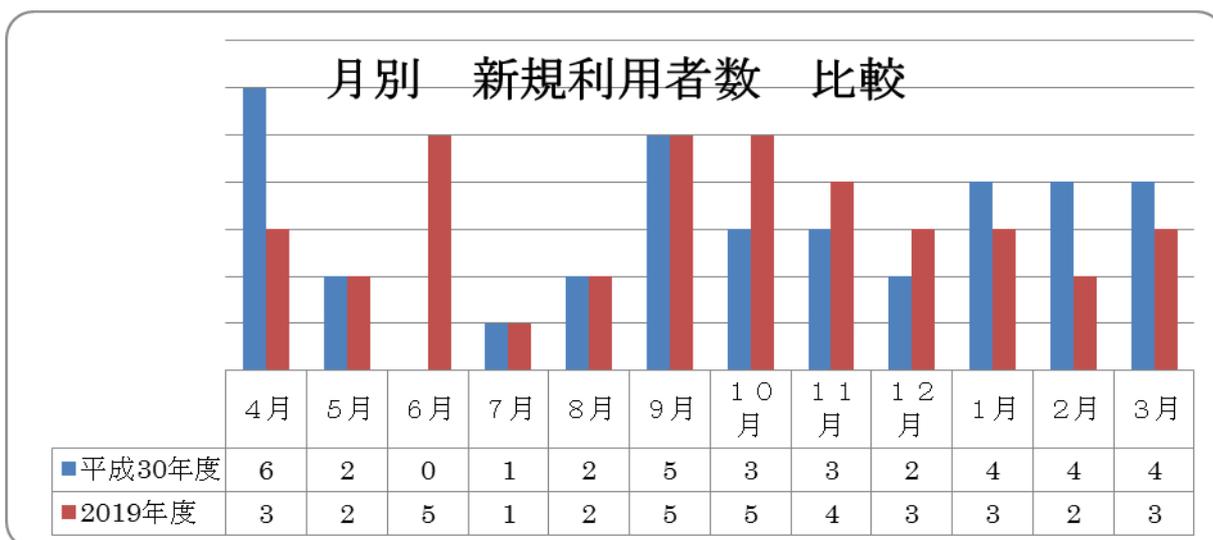
三幸の園デイサービスセンターは、要介護状態となった場合においても、ご利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持並びにご利用者様のご家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ります。

また、ご利用者様が持つ能力を高め、自立支援に努めるとともに、一人ひとりを尊重した、そのひとらしい生活を支援していきます。

【重点計画】（多職種協働）

- ① 一般型、認知症対応型合わせて毎月1名以上、年間通して20名以上の新規利用者獲得を目指す。
 - ・新規利用者の獲得を目指し、居宅介護支援事業所、高齢者相談センターへの営業活動を行います。
 - ・利用者に満足していただける対応、体制、サービス提供を行っていくため、日々のサービス内容の見直しを常に行い改善に努めます。

毎月1名以上、年間通して20名以上の新規利用者獲得については達成することができています。毎月1回以上、居宅介護支援事業所と高齢者相談センターへ営業活動を行い、2019年度は年間通して38名の方と新規契約をしています。



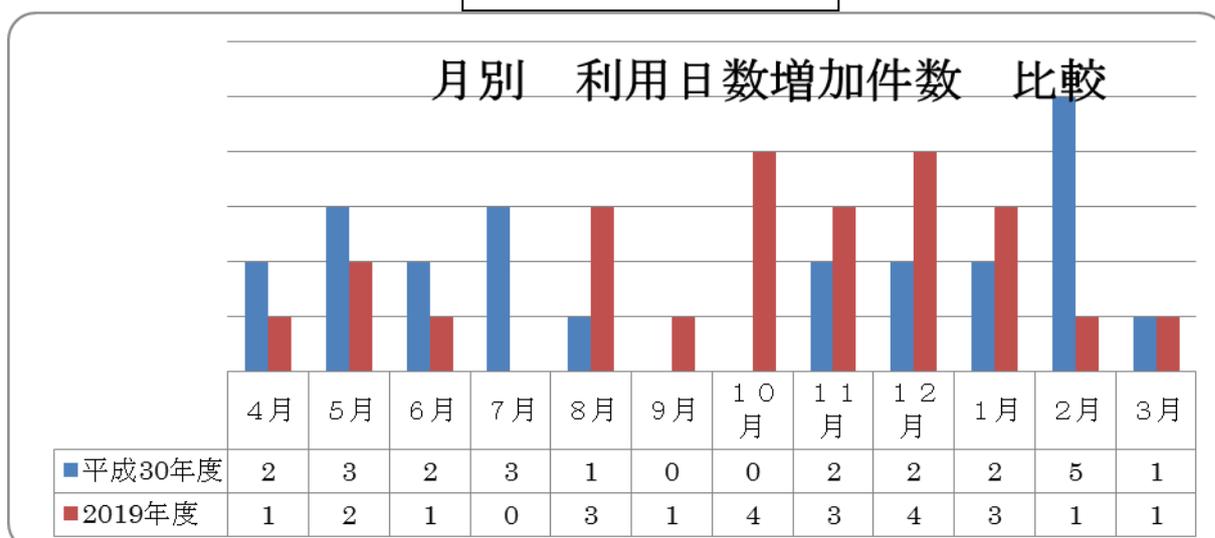
利用者に満足していただける対応、体制、サービス提供を行っていくために、週に1回以上のミーティングを開催して、日々のサービス内容の見直しを行っています。

2019年度は、新たにカラオケ機器のレンタルをしています。

2019年度の利用日数増加件数は年間通して24件となっています。



カラオケ機器



【基本計画】（多職種協働）

①利用者への心のケアの実践

- ・利用者においては、通所介護利用における、身体的及び精神的な変化を最小限にするため、職員の密な声かけ、これまでと変わらない生活が営まれるように支援を行います。

利用者に対して職員一人ひとりがワンタッチ、ワントークを心がけて対応をしていましたが、利用者の増加に伴い、利用者一人ひとりとの関わる時間が短くなってしまいました。業務内容の見直しを行い改善に努めていきます。

②年間行事の充実

- (1) 季節感を感じていただけるようなイベント（ゲーム・製作活動・おやつ作り・誕生日会等）を計画し、行います。
- (2) 月に3回以上、地域のボランティア団体による慰問、個人によるボランティア（傾聴、活動補助等）を依頼し、利用者には楽しい時間を過ごしていただきます。また地域のボランティア団体には通所介護の取り組みを知っていただく機会を設けます。

季節感を感じていただけるイベント（ゲーム・制作活動・おやつ作り・誕生日会等）については年間計画を作成し、計画に沿って実施しています。

慰問、ボランティアの受け入れについては、11回達成することができています。3月につきましては、新型コロナウイルス感染予防のため受け入れを中止しています。また、ボランティア団体には活動チラシをお渡しし通所介護の取り組みを知っていただくように努めています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	4	4	4	5	7	3	5	15	13	9	5	0

③通所介護計画書の作成

- (1) 利用者において、身体的及び精神的な状態を勘案して、通所介護計画書・介護予防通所介護計画書を作成し、その有する能力に応じた自立支援が営まれるように援助を行います。
- (2) 通所介護計画の作成、変更の際は、利用者及び家族に対して、当該計画の内容を説明し、同意を得ます。
- (3) 利用者に対し、通所介護計画に基づいて各種サービスを提供するとともに、常にその実施状況について多職種協働で評価を行います。

ケアプランを基に通所介護計画書・介護予防通所介護計画書を作成し、能力に応じた自立支援が営まれるように努めています。通所介護計画書・介護予防通所介護計画書は利用者の状態を確認し、評価を行っています。

④機能訓練の実施

- (1) 家族、関係機関との連携を強め、常に利用者の健康状態の把握に努めます。
- (2) ケアプランを基に利用者のニーズに合わせた機能訓練計画を作成し、生活機能の維持、向上に努めます。
- (3) 機能訓練計画の作成、変更の際は、利用者及び家族に対して、当該計画の内容を説明し、同意を得ます。
- (4) 機能訓練の実施状況について多職種協働で評価を行います。

ケアプランを基に利用者のニーズに合わせた機能訓練計画書を作成し、生活機能の維持、向上に努めています。機能訓練計画は、利用者の状態を確認し、見直しと評価を行っています。

⑤家族との連携

- (1) 家族との連携については、利用前の状態確認、利用中の状態観察、利用後の状態報告等を連絡ノートや送迎時の口頭での申し送りを行います。
- (2) 家族会の定期的な開催により、情報交換をより密に行い、通所介護の取り組みを知っていただく機会を設けます。

利用前の状態確認、利用中の状態観察、利用後の状態報告等を連絡ノートや送迎時の口頭での申し送りを行っています。また、家族会を一般型では年1回、認知症対応型では年2回実施し家族との情報交換や通所介護の取り組みを知っていただく機会を設けています。

⑥事故防止

- (1) 利用者個々の心理状態および身体状態を把握し、職員間の情報共有を行い、転倒等の事故がないよう適切な介護を提供します。
- (2) 事故発生時は、利用者の生命維持を第一に考え、迅速に対応をします。また事故報告書の作成と事故原因を究明し、再発防止に努めます。
- (3) 年間の介護事故、自動車事故を前年度よりも減少させるよう、月に1回以上のリスクマネジメント会議を行い、職員の事故防止の意識を高めます。

今年度は、浜松市に届け出をした事故が1件、それ以外の事故が16件、自動車事故1件の、合わせて18件となっています。前年度の年間の介護事故、自動車事故は15件で、今年度はそれを上回る結果となっています。

事故の内訳としては、転倒6件、送迎時の事故4件、誤薬3件、対人トラブル1件、盗食1件、皮膚剥離1件となっています。

事故が起きた後には、ミーティングを開催し、事故の再発防止、事故防止の意識向上に努めています。

三幸の園ホームヘルパーステーション 2019 年度事業報告

【基本方針】

在宅サービス基準指針を基に、自立支援、重度化防止を旨とし、知識と技術で利用者の日常生活の支援を行っていきます。利用者の体調、日常行動、言語、動作等を注意深く観察し、早期対応と報告を行い、多職種連携を図っていきます。また、衛生管理、緊急時、災害時の対応を強化し、地域社会で自分らしい生活が営むことができるように、介護の質を上げた最善のサービスを提供します。

【基本目標】

① 訪問介護利用者の確保

月平均利用人数 31.08 人を確保し、月平均派遣回数（2019.4～2020.3）211.92 回と前年度と比較して 100.6%でした。

1 日平均人数目標 9.3 人に対しても 9.97 人と目標を達成することができました。介護サービス別で前年度と比較しますと、身体介護回数、生活援助回数共に大幅な変化が見られず、身体・生活複合回数は、91.2%と若干下回り、予防支援回数は 107.4%と若干上がりました。

令和 2 年度も引き続き身体介護を中心としたサービスを積極的に引き受け、より多くのサービスを提供すると共に、安定した事業展開が出来る努力をし、利用者、ご家族、居宅介護支援事業所から安心と信頼を得るよう努めていきたいと思えます。

・ H30 年度、2019 年度年間月平均値（4 月～3 月）

	利用 人数	派遣 回数	身体介護 回数	生活援助 回数	身体・生活 複合回数	予防支援 回数	平均人数 /日
H30 年度	34.25	210.50	78.83	46.42	28.58	56.67	9.98
2019 年度	31.08	211.92	78.25	46.67	26.08	60.92	9.97
前年 度比	90.7%	100.6%	99.2%	100.5%	91.2%	107.4%	99.8%

② 多職種との連携

多種職との連携を図る為、サービス担当者会議出席するよう努め、出席率 86%でした。実績・サービス状況表など可能な限り手渡しを行い、利用者の状況の変化が見られ場合は、いち早く報告を行い、多職種のチームと共に最善の支援を行うよう努めました。

③ 勉強会・研修会の参加

より良いサービスの提供が出来るようヘルパーミーティングを1回/月行い、情報交換を行い、1つのテーマについて話し合うことが出来ました。施設内の勉強会や年間3回の外部研修会に向上心を持ち参加することができました。

・2019年度外部研修内容

7月	誤嚥性肺炎予防について	浜松リハビリテーション病院主催
11月	感染症対策の視点で支える地域社会	訪問系サービス部会主催
12月	難病患者等ホームヘルパー研修会	静岡県健康福祉部主催

上記、年間3回保健医療系中心に研修会に参加しました。医療との連携の訪問サービスが増加していますので、令和2年度も引き続き、医療系の研修を中心ににより多くの研修に参加していきたいと思えます。

④ 衛生管理・緊急時・災害時の対応の強化

感染症等、職員が媒介者とならないためにサービス提供開始前、サービス提供終了時は手洗いとうがいを励行しました。

また、利用者の衛生管理には充分留意し、常に清潔を心がけ、利用者が安心して生活できる住環境や食品の衛生管理に努めましたが、緊急時・災害時の対応の強化に欠けていたように思われます。

令和2年度は、緊急時・災害時の対応についての情報を収集すると共に、ミーティング時にイメージづくりを行い、組織人としての役割を果たすよう、備えに努めていきたいと思えます。

⑤ 公益的取り組み

・2019年度公益的取り組み

7月	佐鳴湖クリーン作戦	1名参加
9月	西都台小学校高齢者福祉疑似体験講座	1名参加

2019年度は以上2回公益的取り組みを行いました。

令和2年度も、地域社会の中のホームヘルパーステーションとして、より多くの公益的取り組みを行っていききたいと思えます。

三幸の園指定居宅介護支援事業所 2019年度事業報告

【基本方針】

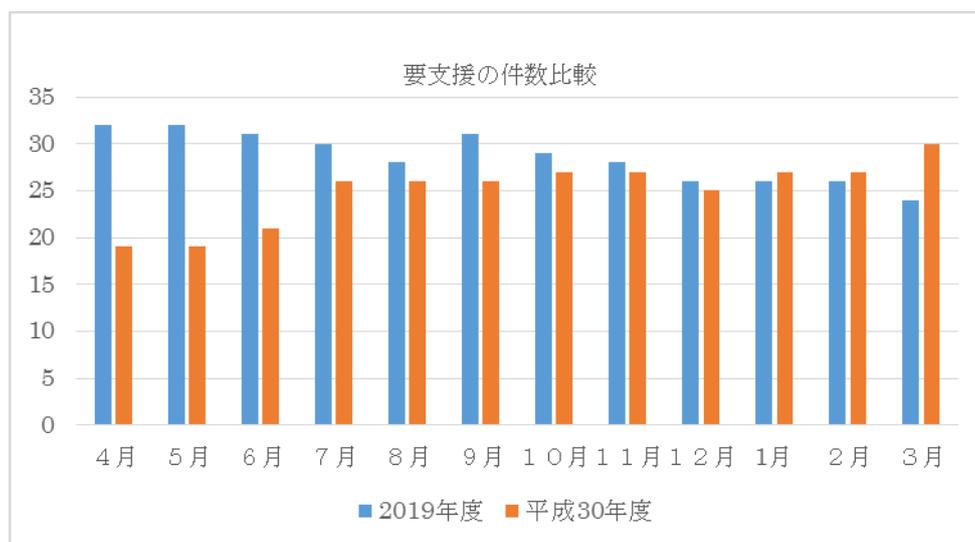
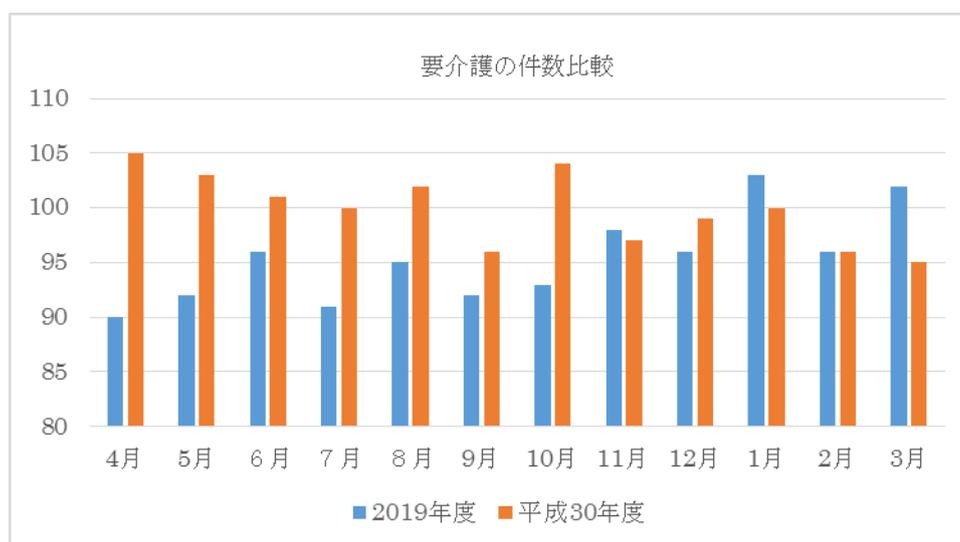
利用者様が住み慣れた地域及び自宅で、その能力に応じ、可能な限り自立した日常生活が送られるように支援します。要介護状態の軽減、悪化の防止に資するよう、個々の解決すべき課題、心身の状況、取り巻く環境を把握し、利用者様の選択に基づき、適切なサービスの利用が総合的かつ効率的に提供されるように努めます。

介護支援専門員の資質向上により事業所評価の向上を目指します。

【基本計画】

① 事業所の安定運営

◎前年度との請求件数の比較は下記の通りです。



介護支援専門員一人あたりの月平均実績は 36.54 件（予防 0.5 件換算）。平成 30 年度は 37.38 件でしたので、0.84 件の減少となりました。4 月の人事異動により、年度当初の介護プランは減少からスタートとなりました。終末期を在宅で過ごされる方も増えていますが、状態も著しく変化があり、利用期間は短く、実績件数の増加が難しい時期もありました。今後も一人あたり介護 35 件を、維持できるように努力していきます。加算については、初回加算 56 件、入院時情報連携加算Ⅰ、Ⅱ 16 件。退院退所加算Ⅰ、Ⅱ 11 件を取得しました。

② 利用者様支援

毎月の定期訪問でモニタリングを実施し、サービスの利用状況、生活の様子を確認し、状況に合わせサービスの調整をしました。事業所内で、情報を共有し支援の方策を検討しました。電話連絡は 24 時間対応で、携帯電話を輪番で持ち対応しました。

③ ケアマネジメント技術の向上

下記の通り研修に参加しました。今後も質の高いケアマネジメントが行えるよう外部研修や施設・事業所内での研修に参加していきます。

6/8 浜松市ケアマネ連絡協議会 合同研修会『認知症の ACP とケア支援』

6/20 入野地区民生委員との交流会

8/31 難病コミュニケーション支援研修会

9/30.11/27 ケアプラン作成研修会

10/28 西区 3 包括合同研修 『高齢者虐待研修』

11/7 西区西部研修会『障害福祉サービスと介護保険』

11/23 浜松市ケアマネ連絡協議会研修 『課題整理総括表の作成について』

1/10 篠原地区民生委員との交流会

1/18 浜松市多職種連携推進事業 西区研修会

『在宅での看取りの現状と多職種の役割と連携』

2/10 西区 3 包括合同研修

『介護支援専門員が知っておくべき社会資源の活用』

2/22 静岡県ケアマネ連絡協議会『ファシリテーション力について』

2/24 医師会主催 ACP『人生会議』

介護支援専門員更新研修Ⅰ 9日間 1名受講

④ 地域のネットワークの形成・活用・連携（チームアプローチ）

独居、高齢者世帯の支援は、担当民生委員への連絡や民生委員との交流会で、情報共有をしました。医療連携については、主治医相談用 FAX を活用し、入退院時には、病院との連携強化に努めました。

困難・虐待ケースについては、包括へ相談し、同行支援を行いました。

⑤ 併設事業所間による相互協力

月に一度の在宅部門会議、二ヶ月に一度、法人内居宅事業所、包括大平台とのケアマネ会議に参加しました。併設事業所へは、利用者様のタイムリーの情報共有により、利用者様との信頼関係を深めることが出来ました。

⑥ 公益的な取り組み

6/18 神久呂小学校、10/4 西都台小学校、10/21 大平台小学校・入野小学校にて認知症サポーター養成講座、9/30 西都台小学校 4 年生・高齢者疑似体験授業の開催に参加しました。

認知症サポーター養成講座は、包括雄踏、包括大平台、松城居宅、山崎居宅と協働し開催をしています。

高齢者疑似体験授業は、三幸の園施、訪問介護、短期入所、包括、松城居宅の職員と福祉用具業者で、高齢になると現れる身体の変化を子供達に実体験してもらいました。次年度も継続していきます。

訪問看護ステーション大平台 2019 年度事業報告

【基本方針】

医療ニーズが高い状態で在宅療養に移行する患者様が増加しています。特に医療機器をつけての在宅療養時は訪問看護サービスを利用することで安心して在宅療養ができるようにサポートします。

地域の方が安心して在宅生活が送れるよう、地域包括ケアシステムの構築に参画し、保健医療機関及び福祉サービス事業所と連携を図ります。また、専門的視野での確かな判断・対応を行うとともにご本人・ご家族の要望を取り入れた看護サービスの提供を致します。

【重点項目】

① ご利用者様のニーズに応じた看護の提供

訪問開始時に、ご本人・ご家族にとって何が不安か、何が不足しているかトータル的にアセスメントし、専門的視点から訪問看護計画を立案します。

ご本人・ご家族へ現状の計画について説明し署名をいただいています。その際には看護内容に追加希望がないか意向を確認しました。6 か月毎に計画の見直しを行うようにしました。状態の変化がある利用者やケア担当者会議があった時も適宜見直しができました。

新規利用者の計画立案は主に 2 人で行っています。今後も、新規の看護計画立案も含めスタッフ全員ができるように検討していきます。現在の利用者 36 名中 36 名できています。今後も引き続き適宜看護計画の見直しを行うようにしていきます。看護計画立案に困る場合はスタッフ全員で検討していきます。

主治医への訪問看護報告に関してはスタッフ全員で協力して毎月 5 日までに郵送できました。また、病状の変化が著しい時にはご本人・ご家族の了承を得てから、臨時で主治医へ報告し早期対応に努めました。

ご本人やご家族より、予定訪問時間以外に家族や本人より状態の変化があるため訪問依頼や介護相談等を行えるよう 24 時間体制に応じています。ご本人・ご家族の同意を得て緊急時加算を加えています。37 名中 27 名の方がおり本年度は電話での対応は 51 件で訪問での対応は 29 件ありました。

臨時訪問は病状の悪化にともない、ご家族がどのように対応してよいのか困って訪問依頼・相談の電話がありました。在宅での看取りもありできるだけ不安なく過ごせるように訪問を調整していきました。在宅療養を行っていく場合、いつでも気軽に相談できるシステムが不可欠であると考え、今後も継続対応していきます。現在、常勤 2 人で携帯を交替していますが、終末期の方を抱えていると精神的な負担も含めて大きく翌日の仕事に支障がでないようにできる限りの対応をしていきたいと考えています。

訪問の実績は平成 30 年度より 2019 年度のほうが、利用者合計が 370 名から 433 名と 66 名増えています。利用件数は、2042 件から 2385 件と 343 件増えています。

昨年末より終末期で医療保険の利用者が増えたため訪問件数が増えています。

3 月より新型コロナの流行により訪問看護を休みにしたい利用者もありまた、新規の利用者の紹介も少なくなっているため今後の状況をみながら居宅介護事業所へ新規の利用者の紹介をお願いしてまいります。

また、利用者様の体調管理を行い入院しないように早めに受診をしていただくよう働きかけてまいります。

		2019年度 訪問看護ステーション 大平台													利用状況																								
年月	利用者数	小児精神	利用件数	月訪問回数													介護度					新規	終了					男女別人数		関係医療機関		常勤換算							
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13~	平均	支1	支2	1	2		3	4	5	暫定	軽快	施設	病院	死亡	その他	男	女	病院	医院	Ns	PT等		
2019年4月	30	0	164	0	2	2	11	8	0	0	3	4	0	0	1	0	5.47	1	2	10	7	7	1	2	0	1	0	0	1	0	0	1	10	20	2	21	2.99	0	
医/再掲	5	0	29	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	5.80	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	4	1	5	0			
2019年5月	29	0	138	2	2	0	6	12	1	0	2	1	0	0	1	0	4.76	1	3	9	7	6	1	2	0	2	0	0	0	0	0	0	9	20	4	19	3	0	
医/再掲	5	0	46	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	9.20	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	4	1	3	1			
2019年6月	29	0	139	0	2	3	19	0	0	0	1	0	0	0	1	0	4.79	1	2	10	7	6	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	8	21	4	20	3	0	
医/再掲	4	0	16	0	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4.00	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	2	1			
2019年7月	33	0	161	1	3	3	11	7	1	0	2	3	0	0	0	1	4.88	1	1	13	7	6	1	2	1	4	0	0	0	0	0	0	10	23	5	22	3	0	
医/再掲	5	0	30	0	1	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	6.00	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	4	1	2	1			
2019年8月	31	0	157	1	2	4	12	7	0	0	2	2	0	0	0	1	5.06	1	1	12	9	5	0	2	1	2	0	0	2	0	0	0	11	21	4	23	3.0	0	
医/再掲	5	0	26	0	1	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	5.20	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	1	2			
2019年9月	32	0	165	0	2	3	16	4	0	0	4	1	0	0	1	1	5.16	1	1	11	9	5	1	3	1	1	1	1	0	0	0	0	10	22	3	23	3.0	0	
医/再掲	5	0	34	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	6.80	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	4	1	1	2			
2019年10月	31	0	184	0	3	1	9	10	0	0	3	3	0	0	1	1	5.94	1	1	11	8	5	2	3	0	1	0	0	1	0	0	0	10	21	3	23	3.0	0	
医/再掲	6	0	35	1	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	5.83	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	2	0	0	4	2	1	2			
2019年11月	33	0	184	0	3	3	14	2	0	1	2	4	0	0	0	2	5.58	1	1	11	9	5	2	4	0	1	0	0	1	0	1	0	10	23	3	23	3	0	
医/再掲	5	0	36	0	1	0	1	1	0	1	0	2	0	0	0	0	7.20	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	0	0	4	2	1	2			
2019年12月	32	0	167	0	2	10	7	4	0	2	3	2	0	0	1	1	5.22	1	1	13	8	4	2	3	0	2	0	0	1	1	0	0	12	20	4	22	3		
医/再掲	6	0	50	1	4	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	8.33	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0	0	1	0	0	4	2	1	3			
2020年1月	31	0	169	2	4	3	11	2	0	0	1	5	0	1	1	1	5.45	2	1	12	8	4	3	2	0	3	1	0	0	0	0	0	11	20	4	22	3.5		
医/再掲	6	0	47	0	2	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	2	7.83	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	1	0	0	3	3	1	3			
2020年2月	31	0	172	1	1	2	17	0	0	0	6	0	0	1	1	1	5.55	1	1	8	8	7	3	3	0	0	0	0	1	0	0	0	11	20	3	20	3.5		
医/再掲	5	0	30	0	1	0	2	0	0	1	0	0	0	0	1	0	6.00	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	2	2	3			
2020年3月	29	0	169	2	2	1	14	2	1	1	4	0	0	0	1	2	5.83	1	1	8	7	6	3	2	1	1	0	0	0	0	0	0	2	9	20	4	20	3.5	
医/再掲	5	0	37	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	7.40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	2	3			
年度合計	371	0	1,969	9	28	35	##	58	3	4	33	25	0	2	8	12	5.00	13	16	128	94	66	20	30	4	18	2	0	7	1	1	3	121	251	43	258			
医/再掲	62	0	416	3	18	8	7	6	1	2	4	9	1	0	0	8	7.00	0	0	0	0	0	7	10	0	8	0	0	3	6	0	0	45	18	22	23			
実利用者数	47																																						
医/再掲	12																																						

② 医師・ケアマネジャー・多職種との連携

主治医への毎月の報告以外に緊急時や病状報告が必要な時、およびケアマネジャーや他サービス事業所への情報提供に関しては、本人・御家族の同意を得てから行っています。特に病状悪化時など主治医へ臨時の情報提供はご家族から「助かっている。」という評価をいただきました。

主治医も診療中であり、電話や FAX での報告を使い分け診察の妨げにならないよう今後も配慮しながら情報提供を継続してまいります。

同じ施設内のサービス事業所については、その都度密接な連携はとれていると思われませんが、個人情報管理については煩雑にならないよう今後も注意してまいります。

本年度は、特に入院中の利用者に関して（癌末期）は退院時のカンファレンスが
ありました。

サービス担当者会議は年間 16 件全部参加できました。

退院時のカンファレンスは年間 10 件ありぜんぶ参加しています。今後も引き続
き時間を調整して退院カンファレンス、サービス担当者会議の参加をしていきま
す。

③ スタッフの育成、知識・サービスの質の向上

最新の医療機器をつけ退院してくるご本人・ご家族が安心して在宅療養がうけら
れるよう、看護師個々の高度な知識・技術が必要であり、外部研修及び法人内勉
強会への参加と毎月一回のカンファレンス時に勉強会を実施し自己啓発に努め
ました。

外部研修の参加は声をかけています。全員参加できています。

報告書の作成もできています。今年もサービス提供加算の条件のためにも目標の
提示と研修参加、報告書を記入するようにしていきます。

法人内在宅部門会議・担当者会議へ毎月参加し、情報を共有し事業所の運営及び
サービス向上に取り組みました。

今後も外部研修へ参加していくように検討していきます。また、月 1 回のカンフ
ャレンスでは、疾患や医療的処置方法の勉強会を行いました。また、研修会や講
演会聴講の伝達講習も行いました。個々勉強となるため引き続き行っていきます。

④ 御利用者様の体調の変化があり対応しています。

職員も訪問から帰って手洗い・うがい励行できており風邪で休むスタッフは少
なかったです。利用者様に迷惑がかからないように訪問調整をしています。訪
問時に訪問時間と違っていると指摘を受けた利用者様もあるためできるだけ固
定した時間に訪問をするようにしています。利用者様に迷惑がかからないよう
に訪問調整を行う時は早めに連絡を入れるように注意していきます。

また、時間を変えられると混乱してしまう利用者様に対しては訪問時間を固定
していくようにしていきます。

地域包括支援センター大平台 2019年度事業報告

【基本方針】

地域の高齢者が住み慣れた地域で安心して過ごすことができるように、包括的かつ継続的な支援を行う地域包括ケアを実現することを目的とします。

また、地域の高齢者から寄せられる様々な期待に応じられるよう、地域包括支援センター相互、行政との緊密な連携による効率的・効果的な事業展開を図ります。

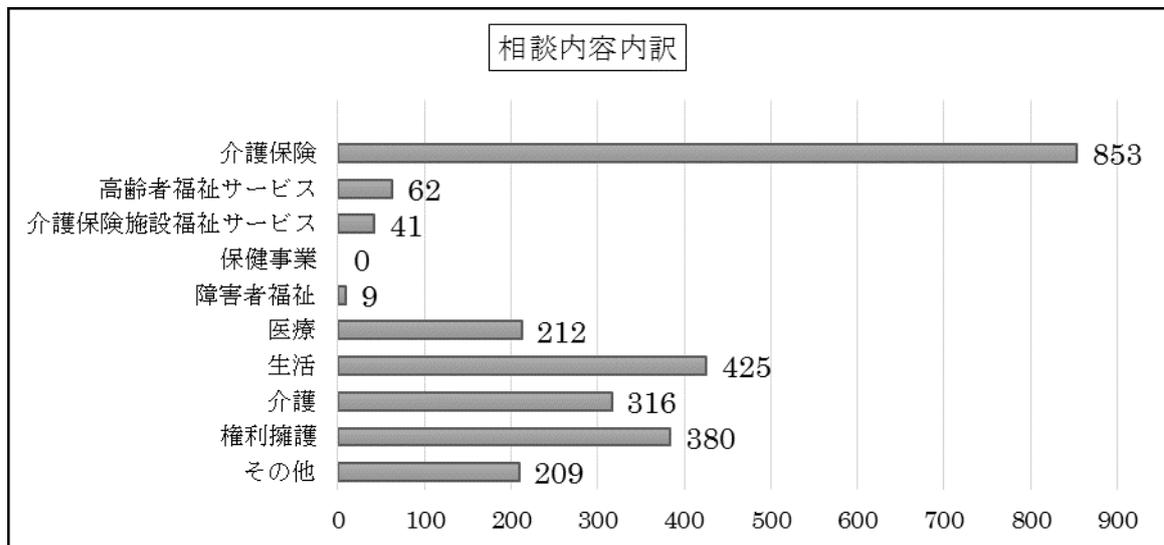
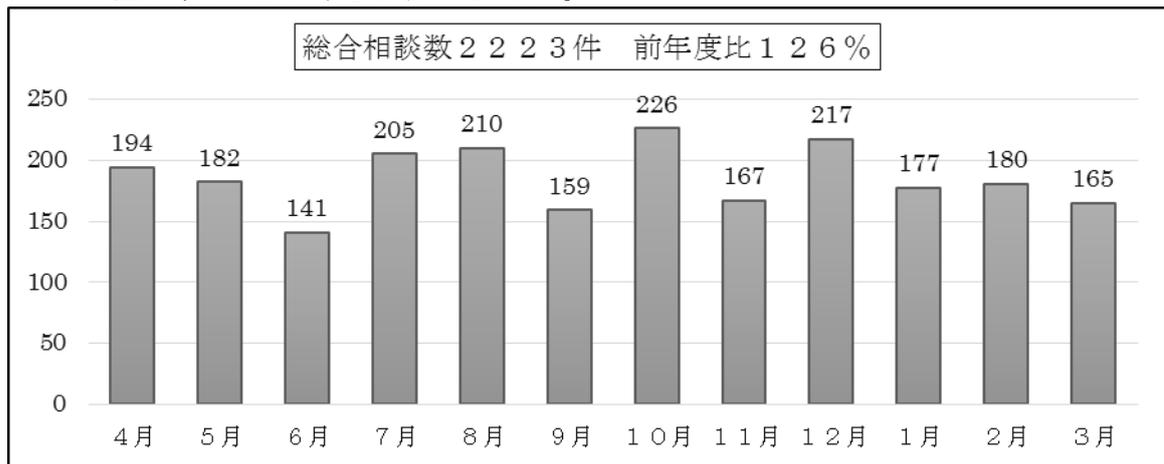
【事業目標】

1. 包括的支援事業

①総合相談支援業務

(1) 相談対象者の年齢や相談内容で区別することなく相談を受け止め、相談者に適切な機関を紹介できるよう必要な情報を収集しました。

(2) 相談内容について正確な状況判断、緊急性の判断を行い、関係機関と連携を図り、迅速な対応を行いました。



(3)地域におけるネットワーク活動、ニーズ把握を行ないました。

企画

内 容	構成員、機関	開催数
大平台圏域会議	入野・篠原地区民生委員 正副会長、相談支援事業所まど・くるみ、社協西地区センター、生活自立相談支援センターつながり	5回
大平台健康フォーラム（合同企画）	大平台地区住民、民生委員、大平台地区居住医師、入野地区社協、三幸の園	10回

参加

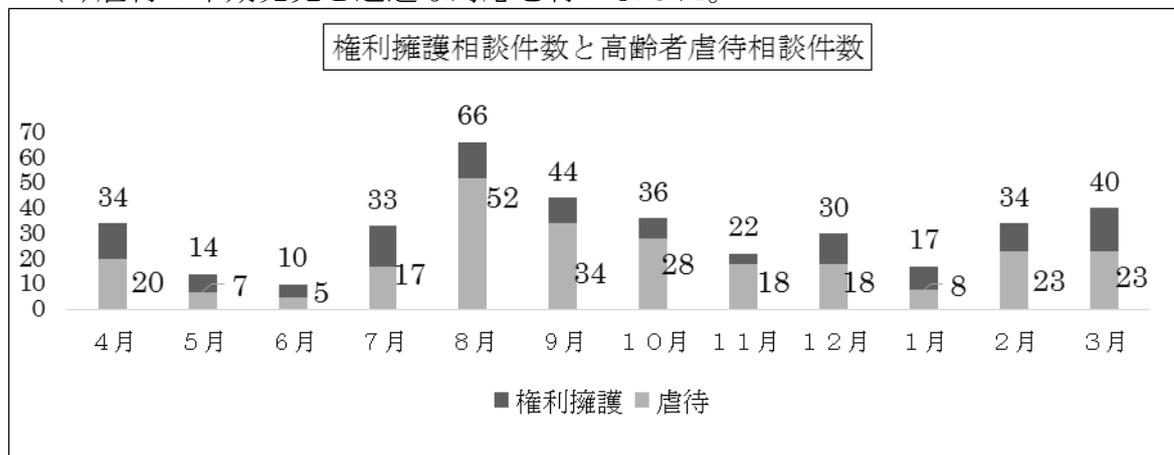
内 容	構成機関・団体	参加回数
認知症初期集中支援チーム員会議	西区・南区長寿保険課、好生会三方原病院、西区・南区包括センター	8回
地域既存組織集会	西区あんしんネット、高齢者サロン、シニアクラブ、自治会、民生委員定例会、地区社協活動	70回

②権利擁護業務

(1) 活動実績（権利擁護広報周知活動）

活 動 内 容	対 象	回数など
消費者被害防止、成年後見制度広報周知	高齢者サロン、シニアクラブ、サービス事業所、健康フォーラム	26回開催
西区包括行政虐待進捗管理会議	西区長寿保険課、西区包括センター	6回出席
成年後見制度申し立て支援	担当地区高齢者	4件

(2) 虐待の早期発見と迅速な対応を行いました。

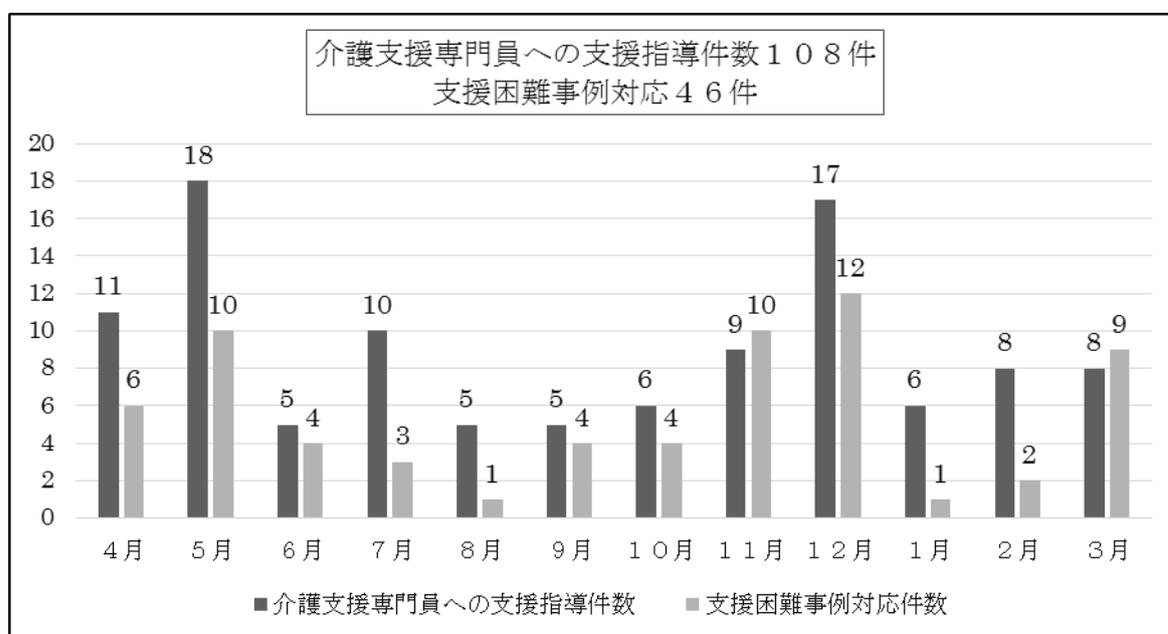


③包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

(1)活動実績 (関係機関との連携体制構築活動)

対 象	内 容
西区包括センター 合同ケアマネサロン	ケアマネジャー同士の情報交換とケアマネジメント力向上 ・8/27 高次脳機能障害についての理解を深める ケアマネジャー 46名参加
地域密着型事業所 運営推進会議	小規模多機能型居宅介護2ヶ所、地域密着型通所介護3ヶ所、 認知症対応型通所介護3ヶ所、認知症グループホーム3ヶ所、 地域密着型特別養護老人ホーム1ヶ所、認知症カフェ1ヶ所 計36回出席

(2)ケアマネジャーの支援指導及び支援困難事例に対し、助言や同行訪問などを行いました。



④介護予防ケアマネジメント業務 (第1号介護予防支援事業)

基本チェックリストの該当者に、介護予防及び日常生活支援を目的に適切なサービスが包括的かつ効果的に提供されるよう支援しました。

介護予防ケアマネジメント業務													
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
直営	76	72	71	87	73	76	73	75	75	79	77	75	909
委託	60	61	59	56	56	57	54	54	53	55	59	57	681

⑤在宅医療・介護連推進業務

医師会、多職種と連携して医療介護連携推進を行いました。

西区多職種連携研修 開催	1/18 15:00～17:00 THE HAMANAKO	テーマ：在宅での看取りの現状と多職 種の役割と連携 講義・グループワーク（100名参加）
家族介護教室開催	6/15 10:00～10:45 入野協働センター	テーマ：看護小規模多機能型居宅介護 ってなかに 講義：セントケア静岡（15名参加）
	7/11 10:00～11:30 入野協働センター	テーマ：薬の正しい飲み方、薬剤師・ 薬局の活用について 講師：杏林堂薬局 薬剤師（15名参 加）
	12/14 10:00～12:00 入野協働センター	テーマ：在宅医療 家族がすること・ できること 講 師：訪看大平台 福山所長 （10名参加）

⑥生活支援・介護予防事業推進のための基盤整備業務

高齢者が地域とのつながりや生きがいを持ちながら暮らしていくために、支え
合いの体制づくりの支援を行いました。

大平台圏域協議体 会議出席	7/16、12/11、2/14 全3回	
住民主体通所型サービス 立ち上げ支援	5月 志都呂ふれあい会	
	7月 大平台元気クラブ	
ロコトレサロン	新規サロン立上げ 4件	既存サロン指導 21か所

⑦認知症施策の推進業務

認知症に対する正しい知識の普及・啓発、認知症の本人やその家族への支援、
早期受診や適切なサービスが受けられるよう支援に取り組みました。

認知症サポーター 養成講座開催	6/18	神久呂小学校
	10/4	西都台小学校
	10/21	大平台小学校
	11/12	入野小学校
	1/21	西区役所
	2/19	入野町彦尾地区住民

家族介護教室開催	8/10 篠原協働センター	認知症と運動 講師：和恵会 リハビリテーション部 2名
	10/18 篠原ビレッジハウス	知って得する認知症の話 講師：包括職員 3名
	11/16 篠原協働センター	認知症予防のための食事を作ろう 講師：三幸会 管理栄養士
オレンジシール	新規登録 15件 廃止 7件	
認知症初期集中支援事業	1件 チーム支援実施	
認知症地域支援推進員活動	11/2 認知症サポーターステップアップ講座開催	

2. 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築

高齢者への適切な支援を図るとともに、高齢者が地域において自立した日常生活を営む支援体制構築のため、地域ケア会議を開催しました。

月日	テーマ	出席者
5/13	アルコール性認知症の男性高齢者の施設入所の方策検討と入所までの支援体制づくり	民生委員、在宅連携センターつむぎ、ケアマネジャー
5/16	住民同士の関りが希薄な集合住宅で暮らす課題のある高齢者の支援について	民生委員、自治会、障がい者相談支援事業所
6/20	入野民生委員とケアマネジャー、関係機関との交流会	入野地区民生委員、ケアマネジャー、障がい相談支援事業所、生活自立相談支援センター、社協西地区センター
1/10	妻の介護に疲弊する夫とその近隣住民との関係構築について	家族、ケアマネジャー、訪看、デイサービス、民生委員、
1/17	地域住民との関りから見えてきた、地域課題と役割づくりについて	民生委員、社協西地区センター、障がい者相談支援事業所、生活自立相談支援センター
1/28	〔自立支援型地域ケア会議〕 脳梗塞後遺症がある高齢男性が、住み慣れた自宅で安全に過ごすためにリハビリ、環境、食生活を検討する	西区長寿保険課、常葉大学リハビリテーション病院、杏林堂薬局、浜松市健康増進課、西区健康づくり課、デイケア看護師

3. 指定介護予防支援事業

- ①公的な機関として公正・中立な業務を遂行し、特定の事業者には偏らないプランを作成しました。
- ②外部委託するプラン作成に責任をもち、担当介護支援専門員に対し指導を行いました。

指定介護予防支援事業													
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
直営	34	41	36	39	37	39	42	40	40	42	43	43	476
委託	106	106	105	108	107	113	113	114	115	116	114	109	1326

特別養護老人ホーム山崎園（従来型） 2019年度事業報告

【基本方針】

ご利用様が施設の中で尊厳を保ち、その人らしく健康で安らかに生活が送れるように援助を行い、ご利用様には山崎園での生活を満足していただきました。また、地域に開かれた施設であるために、地域交流を積極的に誘致し展開してまいりました。職員一人一人が顧客満足度の向上に努め、サービスの質の向上を常に目指し自己研鑽してきました。

【介護職員重点項目】

①ケアプラン

施設ケアマネを中心に多職種が連携し、それぞれのご利用者様に合ったケアプラン作成を目指しました。介護職員も毎月モニタリングをすることで、担当利用者様の状態把握を行うことが出来ました。また、タブレットを活用しご利用者様の情報共有とデータ化を実施しました。今後も統一した援助が行えるよう、施設ケアマネを中心に定期的な担当者会議・評価を円滑に行い、ご利用者様情報を整理することで適切なアセスメントを行って参ります。

②事故対策・身体拘束ゼロ推進

事故対策については、浜松市へ提出した事故報告事案が9件ありました。事故が起こった場合は、その原因・対策・対応・経過観察を迅速に行い、ご利用者様が安心・安全な生活を送ることが出来るよう援助させていただきました。身体拘束については、日常生活を送る上で拘束をさせて頂かないと生命の危険が伴う可能性が高い方が1名いらっしゃいました。ご家族様に身体拘束をしなければならぬ説明を十分に行い、同意を得てミトン着用を実施しています。ご利用者様の尊厳の保持の為、毎月経過観察を行い、ミトン着用中止を試みていますが、自己抜去の報告があり身体拘束廃止には至りませんでした。身体拘束は心身に与える影響が大きく生活の質低下につながる為、今後は身体拘束ゼロになるよう引き続き取り組んで参ります。

③感染症対策

インフルエンザには職員1名が罹患しましたが、ご利用者様の発症者を出すことなく終息しました。

12月頃より新型コロナウイルスが広がり始め、マスク等の備品不足に対応するため、在庫管理を徹底し、必要枚数配布に切り替えました。

3月より毎日ご利用者様・職員の検温を実施し、面会中止の対策を取り外部からの持ち込みの無いよう努めています。

来年度も感染対策委員会を中心に勉強会を行い、感染予防と発症した場合の蔓延防止に努め、物品不足に対応できる体制と個人の意識改革に取り組みます。

④日常生活介護

季節に合った行事を企画・実施し、納涼祭では日赤奉仕団様や近隣の学生等をはじめ、多くのボランティアの皆様、地域の方々の参加・協力により無事成功させる事が出来ました。また、学生を中心に実習や福祉体験の受け入れ、地域の方々の慰問を積極的に受け入れました。

各ユニットでは季節に応じたレクリエーションを提供し、四季を感じて頂けるよう援助致しました。1月からは新型コロナウイルスの影響で外出やお花見の企画が中止となりましたが、室内で楽しめる歌や体操を行い、日常生活の中で楽しめるよう工夫いたしました。

今後も多職種が連携し創意工夫をして、ご利用者様の生活の楽しみ、生きがい、認知症予防や残存機能の保持等を考慮して安全で安心な環境のもと活気のある生活が送れるよう努めます。

⑤食事

管理栄養士と連携し、ご利用者様の嗜好を調査し、食事を楽しんでいただけるよう配慮しました。季節食・行事食を企画し季節感を味わってもらえるよう工夫しました。ご利用者様の嚥下状態に応じて複数の食事形態、食事時間を見直すことで落ち着いて食事が摂れ、食後 30 分以上開けて臥床することで、嘔吐や誤嚥性肺炎のリスク削減に努めました。

【医務室重点項目】

①健康管理

日常では週に 1 回嘱託医の先生が往診に来られ、ご利用者様の健康管理を行いました。異常時や急変時には、介護・看護が連携し対応することができました。8 月には年 1 回の健康診断を行い、11 月にはインフルエンザ予防接種を受けていただきました。また、経鼻経管栄養や尿道留置カテーテル管理が必要な方に対して外部医療機関と調整しながら健康管理に努めました。

②機能訓練

ご利用者様の生活意欲向上と日常生活の充実を図る為、各ご利用者様の身体機能や日々の健康状態を把握し、現在可能な動作を維持するための個別機能訓練を週 2 回実施しました。また、看護師や介護職員と協力し個別機能訓練では行えない日常生活の項目を補い合うことで、より日常生活が充実させるよう努めました。

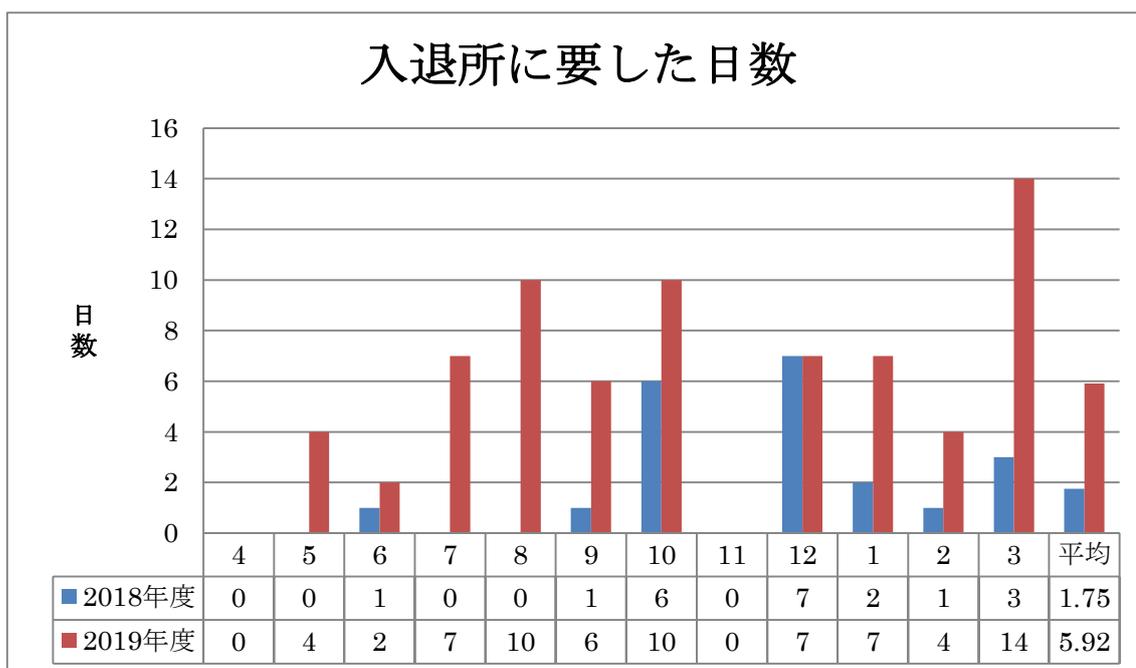
【生活相談員重点項目】

①相談業務

入居中の生活に関して、体調の変化や相談事がある時は連絡調整を行いご家族様と連携を図りました。特に2月・3月に関しましては、新型コロナウイルスの感染拡大防止により面会制限をした為、より細かくご様子をお伝えするよう対応して参りました。

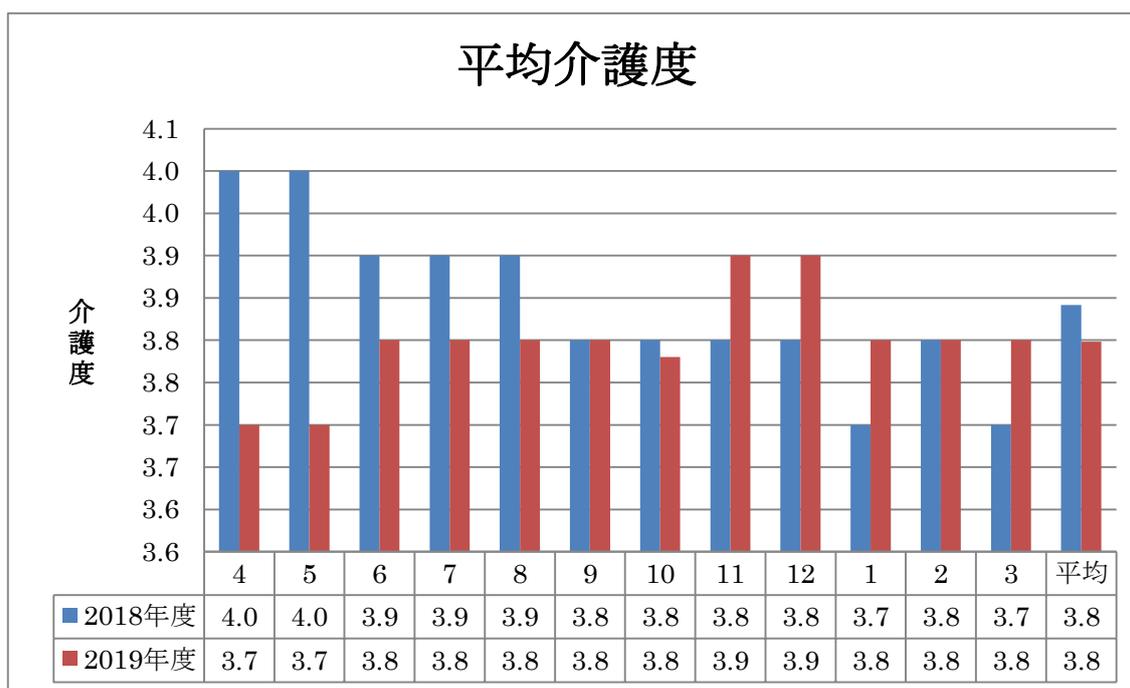
入居待機者の管理については、毎月1回の判定会議を行い、従来型の次期利用者の確保に努めました。今年度の1人当たりの入退居の手続きにかかる日数平均は、5.9日でした。昨年度の退所者14名に比べ、今年度は28名と多く、特に7月・10月に関しましては、急な退所が続いてしまい、次期入所者確保に日数を要したことが原因として挙げられます。

また、3月は新型コロナウイルスの関係で、入所前面接や施設入所を断られてしまうケースもあり、入退所に係る日数が増えてしまいました。今後も判定会にて次期利用者を確保し、入退居の手続きにかかる日数を速やかに終えるよう努力します。



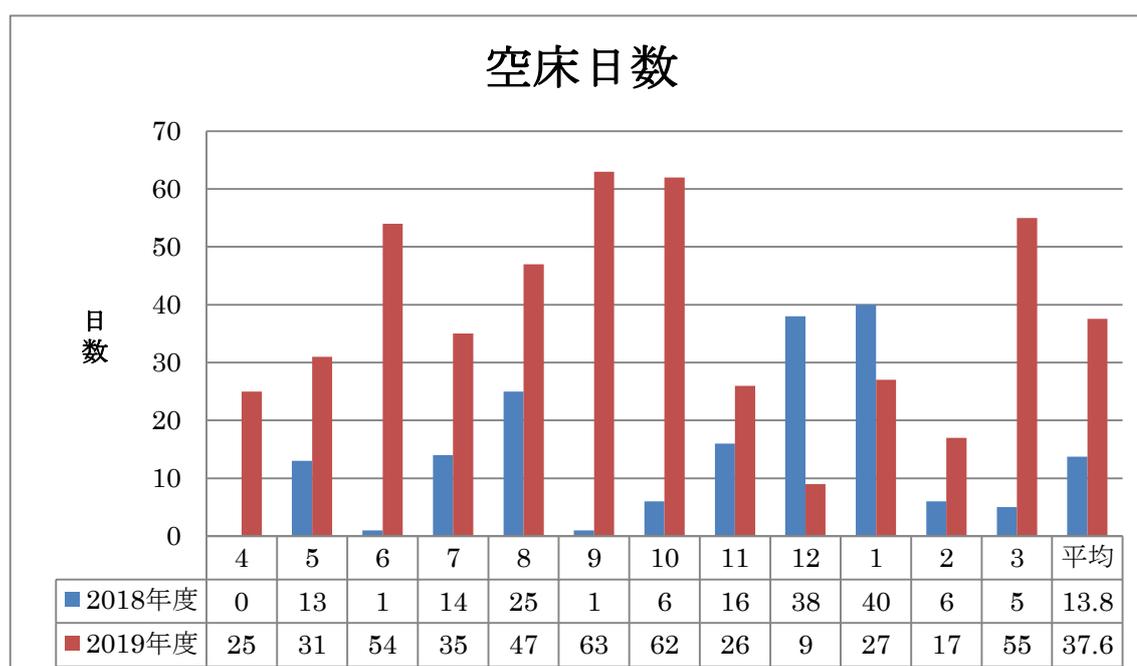
②要介護度について

前年度の平均介護度が3.8に対して今年度の平均介護度3.8と横ばいの数値でした。平成27年4月より特養の入所対象者が要介護3以上となり、要介護3以上の方に入所して頂いている為、維持できていると考えられます。今後ご利用者様の要介護度については、多職種で連携・情報の共有を行い、心身状況の把握を行い、ご家族様に速やかに報告し、必要に応じて介護度の区分変更を行って参ります。



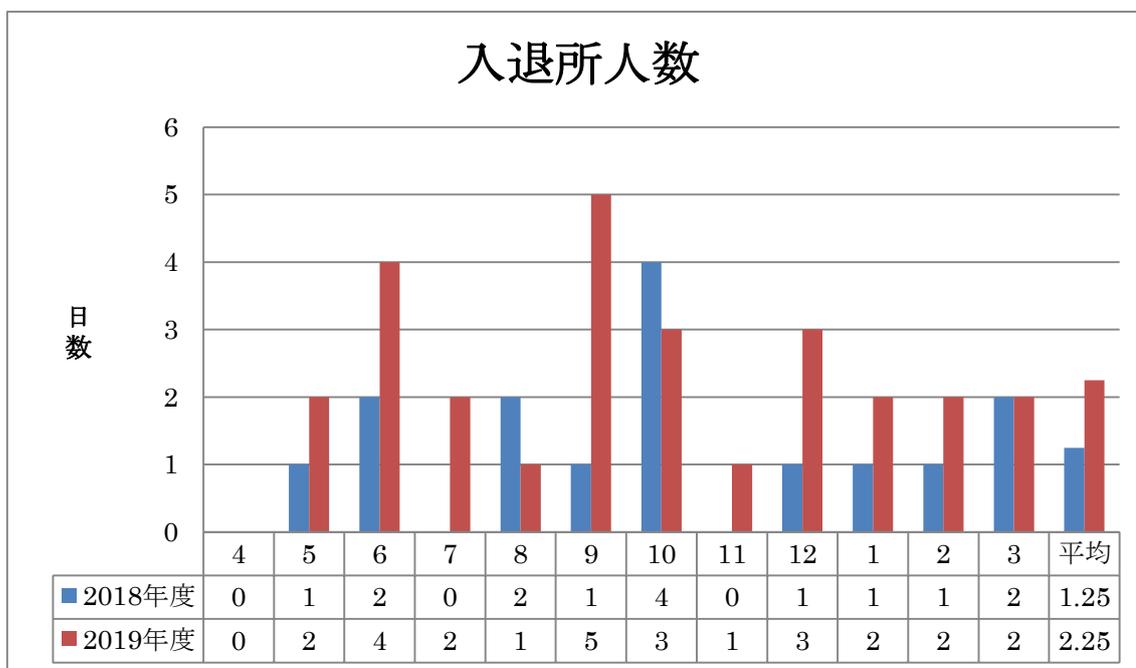
③空床日数について

各月の空床日数を25日以内となるように迅速に連絡を取り、スムーズな入退居の事務手続きを図ってまいりましたが、今年度は25日以上の月が3回、平均空床日数は37.6日でした。昨年度と比較して平均空床日数が増加した要因は、長期入院の利用者様が複数名いらっしゃった事が考えられます。来年度も空床日数が25日以内となるように迅速に連絡をとり、スムーズな入退居の事務手続きを図るとともに、入院されたご利用者様がいらっしゃる時は、こまめに状態を確認し、入院日数が最小限になるように心がけてまいります。



④入退居について

2019年度入退居者状況は、入所者28名・退居者28名となっております。待機者につきましては、2020年3月31日現在で25名（要介護3以上）の方が待機しております。要介護2以下の待機者は従来型・ユニット型合わせて15名の方が待機しております。入所申込者の定期的な状態確認・入所意思の確認を行い、安定した待機者確保をしております。



【栄養士重点項目】

① 適切な栄養管理の実施

ご利用者様の状態を踏まえ、4月に給与栄養目標量の見直しを行いました。充足率90%以上の献立作成を目標としていましたが、炭水化物の充足率が80%と思いのほか低い結果となってしまいました。これは、穀類の充足率が他の食品に比べてやや低かったことが原因と考えられます。

また、全体のエネルギー構成比をP（蛋白質）：F（脂質）：C（炭水化物）＝2：2：6と健康上望ましい比率となるよう心がけ、適切な栄養管理の実施に努めました。

② 食事の提供

給食会議を毎月1回、嗜好調査を10月に実施し、その結果に基づきご利用者様の要望に沿った内容での食事提供に努めました。イベント食や行事食を毎月実施し、食事がご利用者様にとって生きる活力となるように努めました。

また、他職種と連携を図り、身体状態や体調、摂取状況などを考慮し、一人ひとりに適した食形態と給与量での食事の提供を行いました。

食育としては、行事食や栄養に関するポスターを掲示し、食べることのほか、ご自身の健康や日本の食文化にも関心を持っていただき、食生活を楽しんでいただけるような情報提供を心がけました。

③ 栄養ケア・マネジメントの提供

毎月の体重の変動と日々の食事摂取量を確認し、ご利用者様一人ひとりの栄養状態の把握に努めました。それを踏まえて栄養スクリーニング・アセスメント・モニタリングを実施し、それぞれに適した栄養ケア計画を作成しました。低栄養のリスクが高いご利用者様に対しては他職種と連携を図り、食事形態や給与栄養量の見直し、栄養補助食品の使用等について個別に検討し、低栄養の予防・改善に努めました。

④ 厨房内衛生管理の実施

害虫に対する保守点検を毎月1回、害虫駆除を5月と11月に実施し、厨房環境の衛生保持に努めました。また、作業前の厨房職員の健康・衛生チェック、厨房設備の点検を毎日実施し、さらに大量調理衛生管理マニュアルに基づいた衛生管理を徹底することで、1年を通して食中毒の発生を防ぎました。

⑤ 防災対策の実施

保存食の備蓄点検を毎月1回は実施し、必ず期限前には入れ替えを行うようにしてきました。また、入れ替え時にはその保存食がご利用者様の現状に適しているかを検討し、最適なものを取り入れるように努めました。

9月の防災訓練では他職種参加で炊き出し訓練を行い、全職員が災害時に対応できるよう指導に努めました。

【多職種連携重点項目】

①委員会

感染・事故対策・身体拘束・褥瘡・人材育成について、各委員会の役割を確立し毎月1回の委員会の開催、年1回以上の勉強会を開催致しました。委員会に属している職員だけではなく、全職員に感染・事故対策・身体拘束・褥瘡・人材育成についての知識が身に付くように周知し、ご利用者様が快適に生活をおくれるように環境作りを致しました。

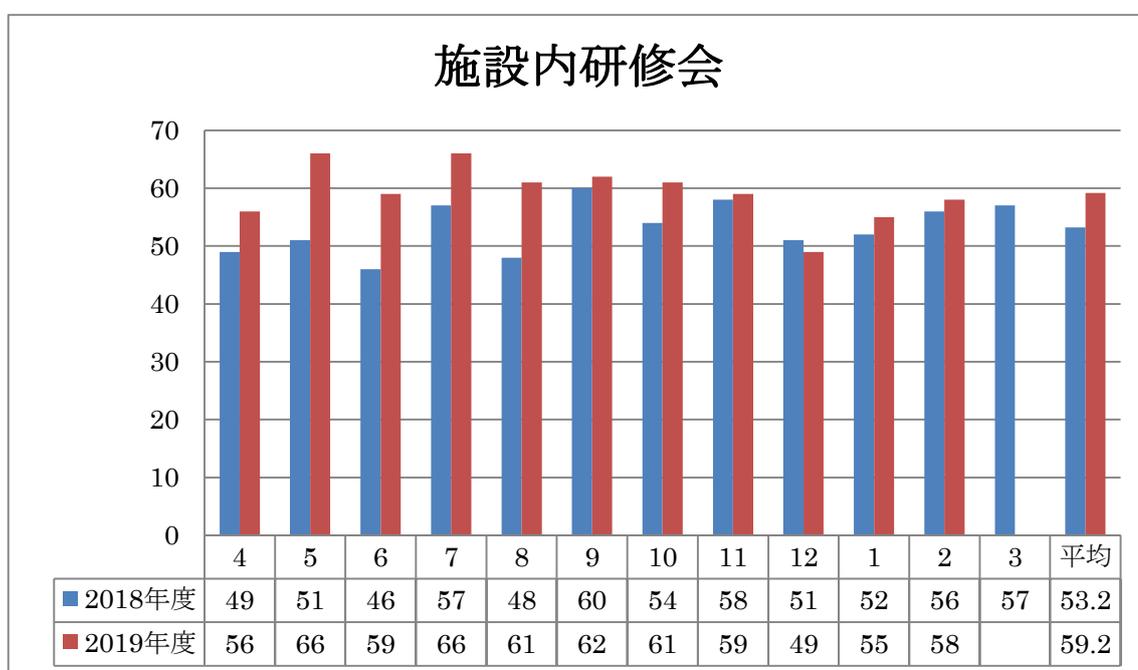
②防災・防犯対策

毎月1回の基本訓練、8月には情報伝達訓練、9月には地震を想定した総合防災訓練、11月には夜間を想定した総合防災訓練、2月には火災を想定した通報訓練と夜間想定避難訓練を行い、日頃より災害時に職員が果たす役割を確認し、冷静に対応できるよう知識と心構えを学びました。防犯対策については、

防犯カメラの増設と、刺股などを使った防犯訓練を毎月の基本訓練にて行いました。

③職員の質の向上

全事業所参加型の施設内研修会を毎月開催し、職員の質の向上を図ってまいりました。また、施設外の研修にも積極的に参加し、研修を受けてきた職員が外部研修報告会で研修報告を行うことにより、他の職員も共有する事が出来ました。施設内研修会以外にも、自主勉強会として職員参加の研修会をもうけ、質の向上を図りました。今年度の施設内研修会の参加率は59.2%と今年度の目標である60%にはわずかに届きませんでした。昨年度に比べ参加人数の増加が見られました。来年度も山崎園全体の参加率60%を目標に努めていきます。新入職員については研修期間を設け、基礎知識を身につけた上で業務に就けるよう調整しました。



④苦情について

2019年度は苦情がありませんでした。

ユニット型特別養護老人ホーム山崎園 2019年度事業報告

【基本方針】

ご利用者様が施設の中で尊厳を保ち、その人らしく健康で穏やかに生活が送れるように援助を行い、ご利用者様には山崎園での生活を満足していただきました。また、地域に開かれた施設であるために、地域交流を積極的に展開してまいりました。職員一人一人が顧客満足度の向上に努め、サービスの質の向上を常に目指し自己研鑽してきました。

【介護職員重点項目】

① ケアプラン

施設ケアマネを中心に多職種が連携し、それぞれのご利用者様に合ったケアプラン作成を目指しました。介護職員も毎月モニタリングをすることで、担当利用者様の状態把握を行うことが出来ました。また、タブレットを活用し利用者様の情報共有とデータ化を実施しました。今後も統一した援助が行えるよう、施設ケアマネを中心に定期的な担当者会議・評価を円滑に行い、利用者様情報を整理することで適切なアセスメントを行って参ります。

② 事故対策・身体拘束ゼロ推進

事故対策については、浜松市へ提出した事故報告事案が6件ありました。事故が起こった場合は、その原因・対策・対応・経過観察を迅速に行い、ご利用者様が安心・安全な生活を送ることが出来るよう援助させていただきました。身体拘束については、日常生活を送る上で拘束をさせて頂かないと生命の危険が伴う可能性が高い方はいらっしゃいませんでした。今後も身体拘束ゼロを継続するよう取り組んで参ります。

③ 感染症対策

今年度は施設内でインフルエンザを発症したご利用者様はいらっしゃいませんでした。12月頃より新型コロナウイルスが広がり始め、マスク等の備品不足に対応するため、在庫管理を徹底し、必要枚数配布に切り替えました。3月より毎日ご利用者様・職員の検温を実施し、面会中止の対策を取り外部からの持ち込みの無いよう努めています。来年度も感染対策委員会を中心に勉強会を行い、感染予防と発症した場合の蔓延防止に努め、物品不足に対応できる体制と個人の意識改革に取り組めます。

④ 日常生活介護

季節に合った行事を企画・実施し、納涼祭では日赤奉仕団様や近隣の学生等を

はじめ、多くのボランティアの皆様、地域の方々の参加・協力により無事成功させる事が出来ました。また、学生を中心に実習や福祉体験の受け入れ、地域の方々の慰問を積極的に受け入れました。各ユニットでは季節に応じたレクリエーションを提供し、四季を感じて頂けるよう援助致しました。1月からは新型コロナウイルスの影響で外出やお花見の企画が中止となりましたが、室内で楽しめる歌や体操を行い、日常生活の中で楽しめるよう工夫いたしました。今後も多職種が連携し創意工夫をして、ご利用者様の生活の楽しみ、生きがい、認知症予防や残存機能の保持等を考慮して安全で安心な環境のもと活気のある生活が送れるよう努めます。

⑤食事

管理栄養士と連携し、ご利用者様の嗜好を調査し、食事を楽しんでいただけるよう配慮しました。季節食・行事食を企画し季節感を味わってもらえるよう工夫しました。ご利用者様の嚥下状態に応じて複数の食事形態、食事時間を見直すことで落ち着いて食事が摂れ、食後 30 分以上開けて臥床することで、嘔吐や誤嚥性肺炎のリスク削減に努めました。

【医務室重点項目】

①健康管理

日常では週に 1 回嘱託医の先生が往診に来られ、ご利用者様の健康管理を行いました。異常時や急変時には、介護・看護が連携し対応することができました。8 月には年 1 回の健康診断を行い、11 月にはインフルエンザ予防接種を受けていただきました。また、透析やインシュリン・尿道留置カテーテル等医療ニーズの高いご利用者様の医療管理を行い、外部医療機関と調整しながら健康管理に努めました。

②機能訓練

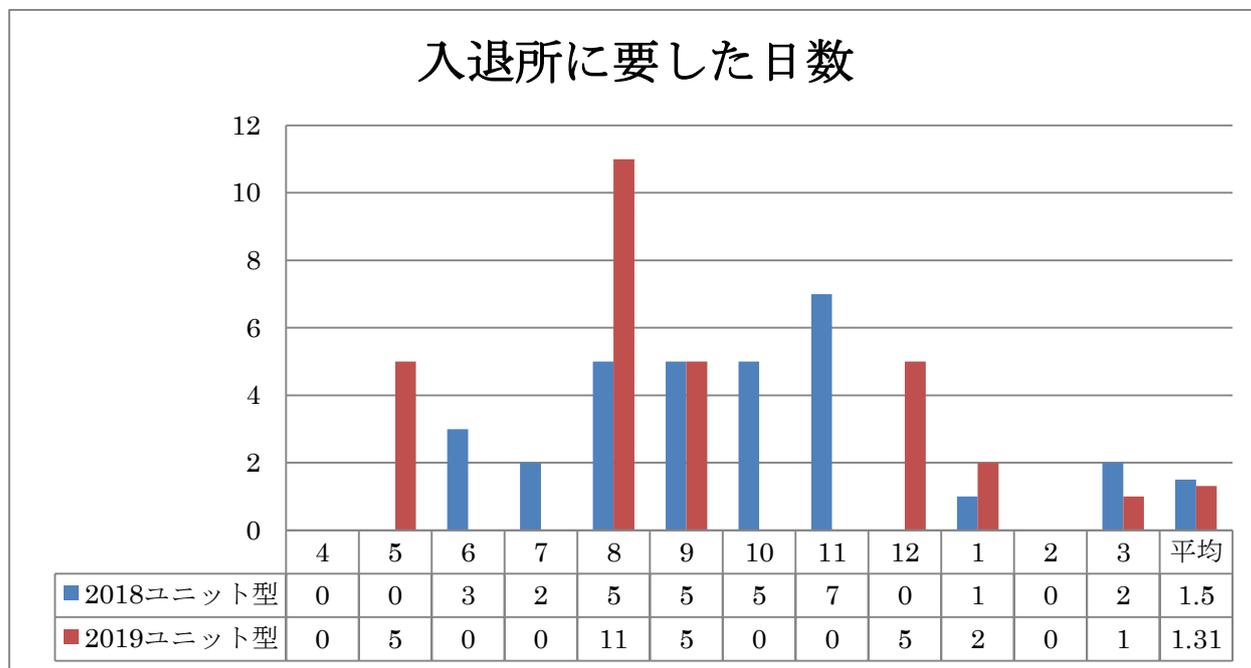
ご利用者様の生活意欲向上と日常生活の充実を図る為、各ご利用者様の身体機能や日々の健康状態把握し、現在可能な動作を維持するための個別機能訓練を週 2 回実施しました。また、看護師や介護職員と協力し個別機能訓練では行えない日常生活の項目を補い合うことで、より日常生活が充実させるよう努めました。

【生活相談員重点項目】

①相談業務

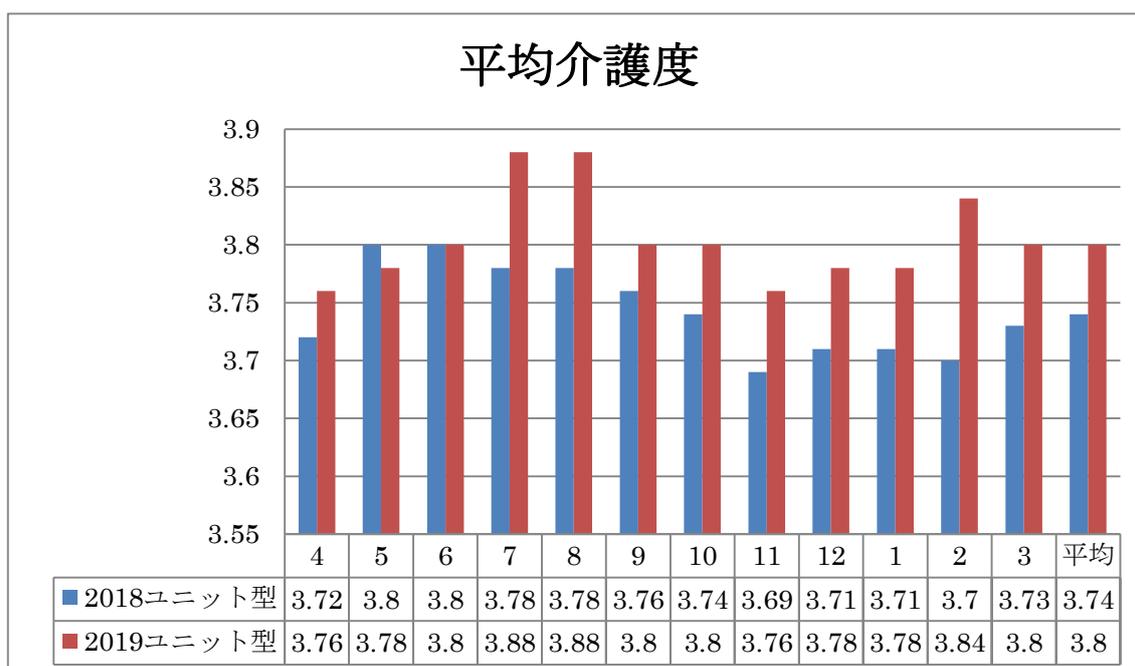
入居中の生活に関して、体調の変化や相談事がある時は連絡調整を行いご家族様と連携を図りました。特に 2 月・3 月に関しましては、新型コロナウイルスの感染拡大防止により面会制限をした為、より細かくご様子をお伝えするよう

対応して参りました。入居待機者の管理については、毎月1回の判定会議を行い、ユニット型の次期利用者の確保に努めました。今年度の1人当たりの入退居の手続きにかかる日数平均は、1.31日でした。今後も判定会にて次期利用者を確保し、入退居の手続きにかかる日数を速やかに終わるよう努力します。



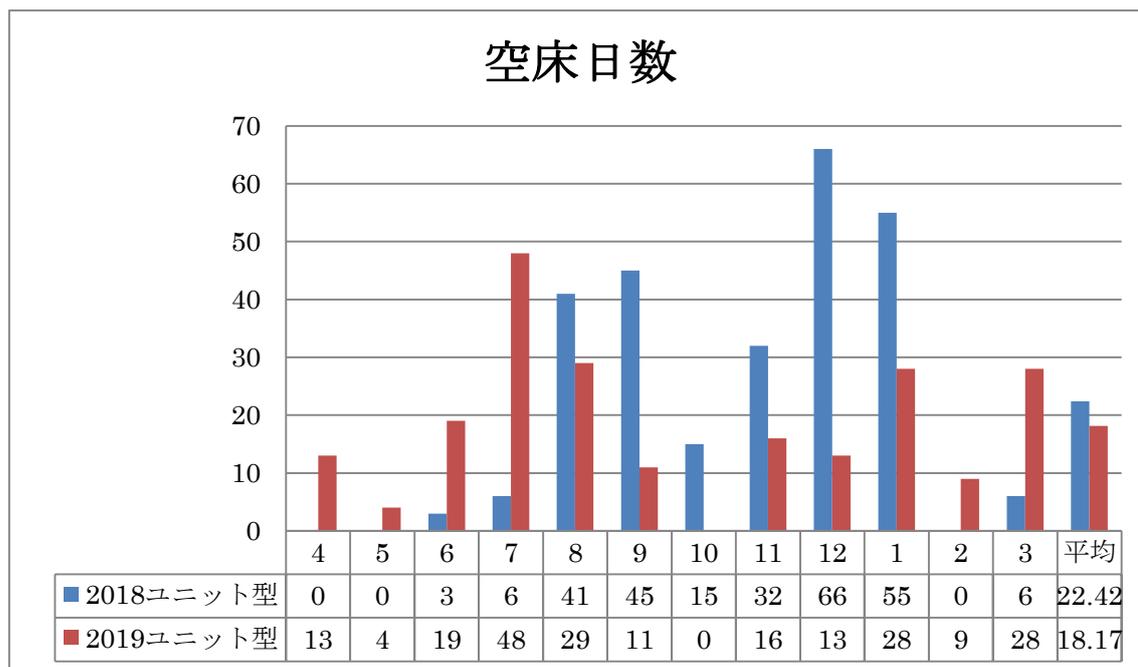
②要介護度について

前年度の平均介護度が3.74に対し、今年度の平均介護度は3.8でした。今後ご利用者様の要介護度については、多職種で連携・情報の共有を行い、心身状況の把握を行い、ご家族様に速やかに報告し、必要に応じて介護度の区分変更を行ってまいります。



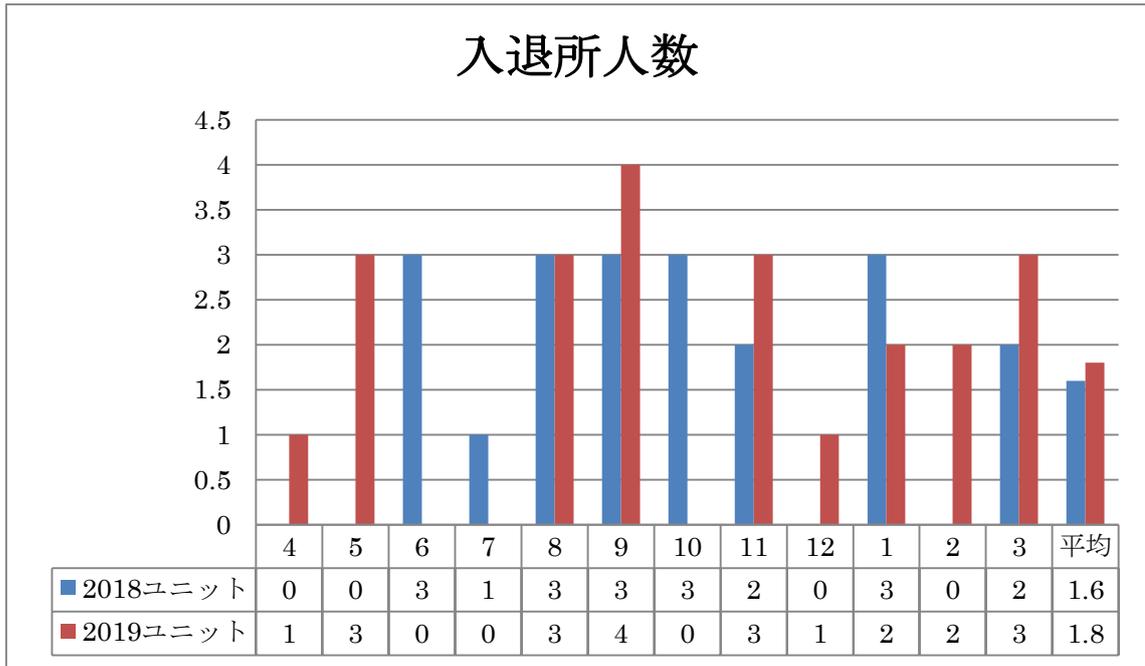
③空床日数について

各月の空床日数を25日以内となるように迅速に連絡を取り、スムーズな入退居の事務手続きを図ってまいりました。今年度は25日以上が3回、平均空床日数は18.17日でした。今年度は入院されたご利用者様も多く、空床日数が増えてしまいました。来年度も空床日数が25日以内となるように迅速に連絡をとり、スムーズな入退居の事務手続きを図るとともに、入院されたご利用者様がいらっしゃる時は、こまめに状態を確認し、入院日数が最小限になるように心がけてまいります。



④入退居について

2019年度入退居者状況につきましては、利用者22名・退居者22名となっております。待機者につきましては、2020年3月31日現在で21名（要介護3以上）の方が待機しております。要介護2以下の方は従来型・ユニット型合わせて15名の方が待機しております。入所申込者の定期的な状態確認・入所意思の確認を行い、安定した待機者確保をしてまいります。



【栄養士重点項目】

⑥ 適切な栄養管理の実施

ご利用者様の状態を踏まえ、4月に給与栄養目標量の見直しを行いました。充足率90%以上の献立作成を目標としていましたが、炭水化物の充足率が80%と思いのほか低い結果となってしまいました。これは、穀類の充足率が他の食品に比べてやや低かったことが原因と考えられます。

また、全体のエネルギー構成比をP（蛋白質）：F（脂質）：C（炭水化物）＝2：2：6と健康上望ましい比率となるよう心がけ、適切な栄養管理の実施に努めました。

⑦ 食事の提供

給食会議を毎月1回、嗜好調査10月に実施し、その結果に基づきご利用者様の要望に沿った内容での食事提供に努めました。それに加え、イベント食や行事食を毎月実施し、食事がご利用者様にとって生きる活力となるように努めました。

また、他職種と連携を図り、身体状態や体調、摂食状況などを考慮し、一人ひとりに適した食形態と給与量での食事の提供を行いました。

食育としては、行事食や栄養に関するポスターを掲示し、食べることのほか、ご自身の健康や日本の食文化に関心を持っていただき、食生活を楽しんでいただけるような情報提供を心がけました。

⑧ 栄養ケア・マネジメントの提供

毎月の体重の変動と日々の食事摂取量を確認し、ご利用者様一人ひとりの栄養状態の把握に努めました。それを踏まえて栄養スクリーニング・アセスメント・モニタリングを実施し、それぞれに適した栄養ケア計画を作成しました。低栄養のリスクが高いご利用者様に対しては他職種と連携を図り、食事形態や給与栄養量の見直し、栄養補助食品の使用等について個別に検討し、低栄養の予防・改善に努めました。

⑨ 厨房内衛生管理の実施

害虫に対する保守点検を毎月1回、害虫駆除を5月と11月に実施し、厨房環境の衛生保持に努めました。

また、作業前の厨房職員の健康・衛生チェック、厨房設備の点検を毎日実施し、さらに大量調理衛生管理マニュアルに基づいた衛生管理を徹底することで、1年を通して食中毒の発生を防ぎました。

⑩ 防災対策の実施

保存食の備蓄点検を毎月1回は実施し、必ず期限前には入れ替えを行うようにしてきました。また、入れ替え時にはその保存食がご利用者様の現状に適しているかを検討し、最適なものを取り入れるように努めました。

9月の防災訓練では他職種参加で炊き出し訓練を行い、全職員が災害時に対応できるよう指導に努めました。

【多職種連携重点項目】

①委員会

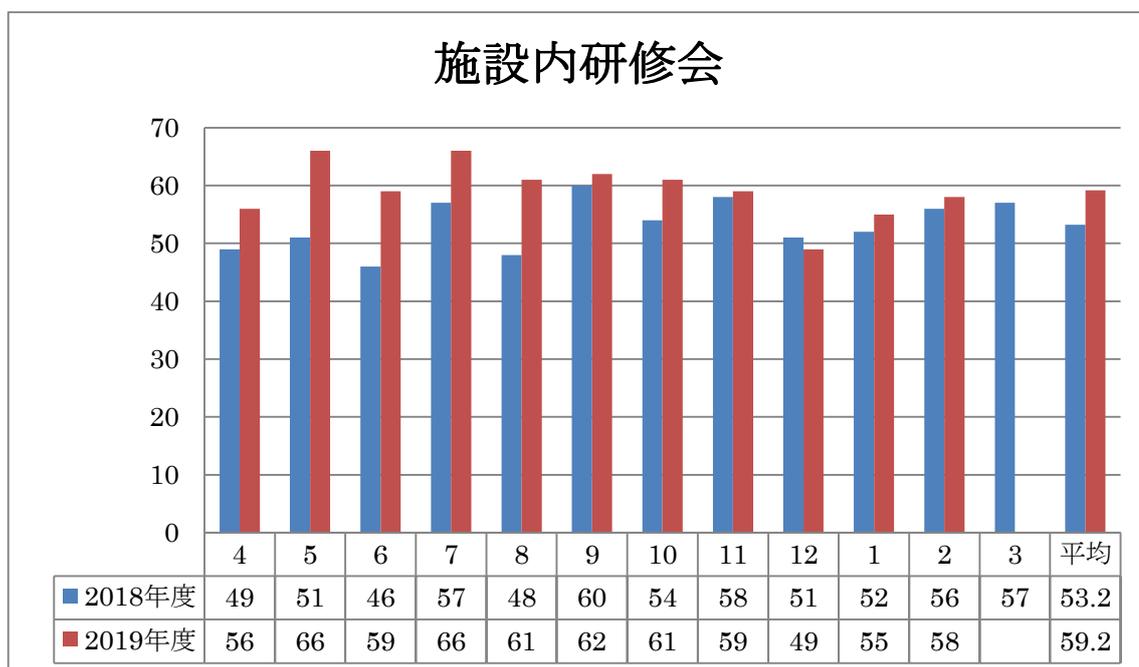
感染・事故対策・身体拘束・褥瘡・人材育成について、各委員会の役割を確立し毎月1回の委員会の開催、年数回の勉強会を開催致しました。委員会に属している職員だけではなく、全職員に感染・事故対策・身体拘束・褥瘡・人材育成についての知識が身に付くように周知し、ご利用者様が快適に生活をおくれるように環境作りを致しました。

②防災・防犯対策

毎月1回の基本訓練、8月には情報伝達訓練、9月には地震を想定した総合防災訓練、11月には夜間を想定した総合防災訓練、2月には火災を想定した通報訓練と夜間想定避難訓練を行い、日頃より災害時に職員が果たす役割を確認し、冷静に対応できるよう知識と心構えを学びました。防犯対策については、防犯カメラの増設と、刺股などを使った防犯訓練を毎月の基本訓練にて行いました。

③職員の質の向上

全事業所参加型の施設内研修会を毎月開催し、職員の質の向上を図ってまいりました。また、施設外の研修にも積極的に参加し、研修を受けてきた職員が外部研修報告会で研修報告を行うことにより、他の職員も共有する事が出来ました。施設内研修会以外にも、自主勉強会として職員参加の研修会をもうけ、質の向上を図りました。年度の施設内研修会の参加率は59.2%と今年度の目標である60%にはわずかに届きませんでしたでしたが、昨年度に比べ参加人数の増加が見られました。来年度も山崎園全体の参加率60%を目標に努めていきます。新入職員については研修期間を設け、基礎知識を身につけた上で業務に就けるよう調整しました。



④苦情について

2019年度は苦情がありませんでした。

短期入所施設山崎園(従来型) 2019年度事業報告

【基本方針】

ご利用者様一人ひとりを理解・尊重し、在宅生活とショートステイ利用後の生活が連続したものとなるようショートステイ利用中は残存機能を配慮しながら、入浴や排泄、食事等の介護やその他の日常生活上のお世話をを行う事を基本とし、実施いたしました。

【重点項目】

① 生活援助

利用状況表は継続作成し、ご家族様にお渡ししました。その他にもご家族様が知りたい情報などご希望がある方には別紙にまとめ、お渡ししました。状態に変化が見られた場合、こまめにご家族様や担当介護支援専門員、場合によっては利用している他サービス事業所に報告・相談し、今後の対応について話し合いを行いました。

② 栄養管理

通常の食事に加え、月に1度のイベント食は好評でした。また、給食者会議に参加し厨房の方と情報交換を行い、ご利用者様が安全に楽しく食事ができるように協力していきました。

③ 保健衛生

来園時に血圧測定をはじめとする全身チェックを行い、体調不良時にはこまめに情報収集を行い、ご家族様や担当介護支援専門員、場合によってはご利用者様の主治医に連絡し対応方法を確認・ご指示を頂き、スムーズに対応することが出来ました。新型コロナ対策で、ご家族様と連携し、入所日のお迎えに行った際に体温チェックを徹底し、水際での対策を行いました。

④ 教養娯楽

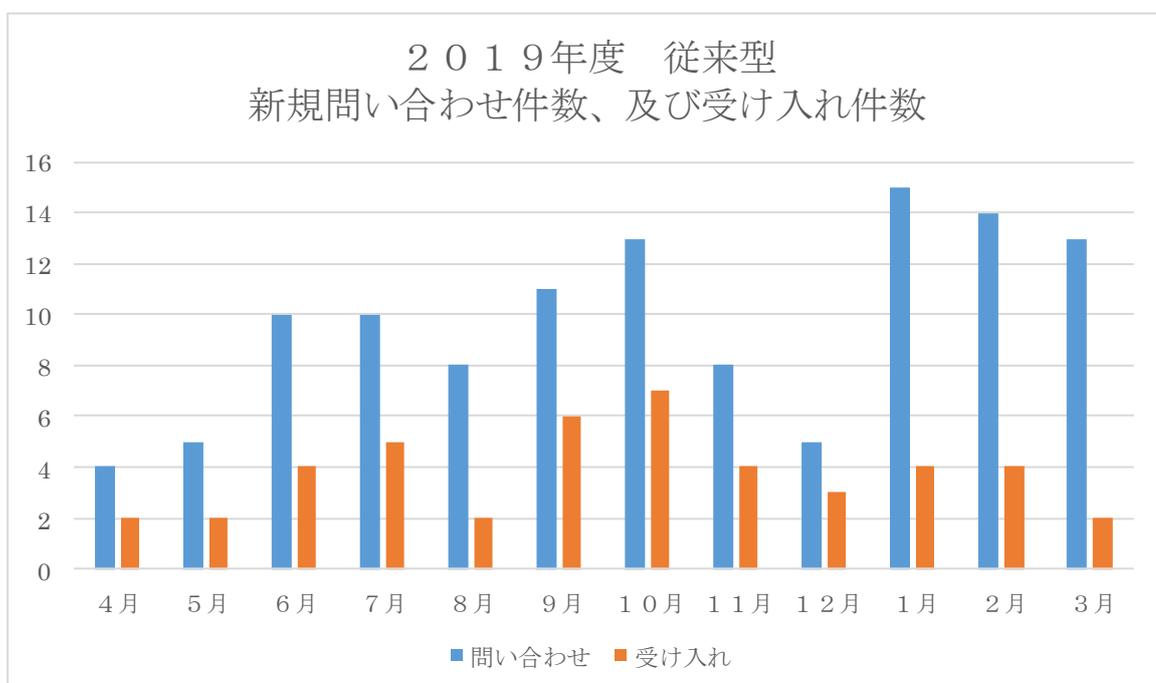
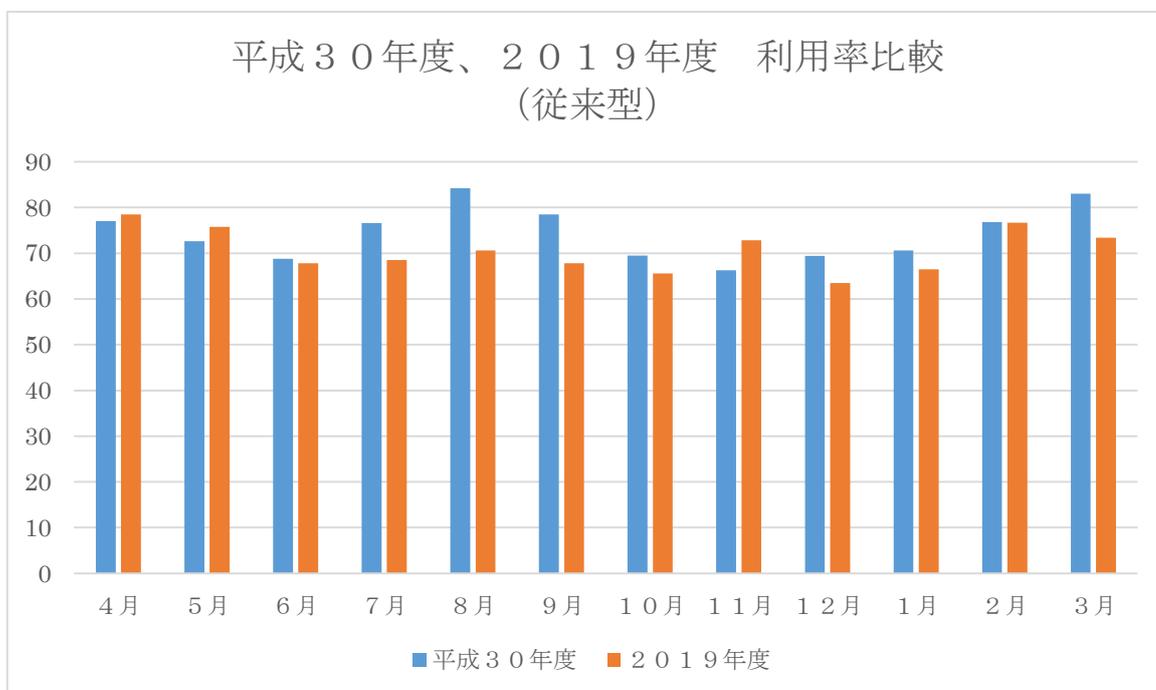
計算問題や色塗り、クロスワードや点つなぎなど個人で行う物や体操やカラオケなど集団で行うなど計画し、その方に適した内容の物を提供しました。季節感が感じられるイベントはとても好評で、喜ばれている様子が見られました。

⑤ 防災保安対策

防災対策委員会と連携し、毎月1回の防災訓練と勉強会での防災保安教育を実施し、全ての職員が災害や火災発生時の対応を周知しました。

⑥ 利用率向上

年間平均利用率は70.6%となり、年間目標の75%も下回ってしまい、昨年度の74.4%も上回る事ができませんでした。週末の定期利用の方が多く、新規でのロング問い合わせや、週末にご利用されたい方は満床でお断りしてしまうケースが多かったです。週末のご利用に集中しないよう、平日のイベント実施や、集団体操など体を動かすことを増加し、余暇を楽しめるよう、また理美容日をアピールするなど平日のご利用者獲得に取り組んでいきます。



⑦ 苦情について

2019年度は苦情がありませんでした。

ユニット型短期入所施設山崎園 2019年度事業報告

【基本方針】

ご利用者様一人ひとりを理解・尊重し、在宅生活とショートステイ利用後の生活が連続したものとなるようショートステイ利用中は残存機能を配慮しながら、入浴や排泄、食事等の介護やその他の日常生活上のお世話を行う事を基本としました。

【重点項目】

① 生活援助

利用状況表は継続作成し、ご家族様にお渡ししました。その他にもご家族様が知りたい情報などご希望がある方には別紙にまとめ、お渡ししました。状態に変化が見られた場合、こまめにご家族様や担当介護支援専門員、場合によっては利用している他サービス事業所に報告・相談し、今後の対応について話し合いを行いました。

② 栄養管理

通常の食事に加え、月に1度のイベント食など好評でした。また、給食者会議に参加し厨房の方と情報交換を行い、ご利用者様が安全に楽しく食事ができるように協力していきました。

③ 保健衛生

来園時に血圧測定をはじめとする全身チェックを行い、体調不良時にはこまめに情報収集を行いご家族様や担当介護支援専門員、場合によってはご利用者様の主治医に連絡し対応方法を確認・ご指示を頂き、スムーズに対応することが出来ました。新型コロナ対策として、ご家族様と連携し、入所日のお迎えに行った際に体温チェックを徹底し、水際での対策を行いました。

④ 教養娯楽

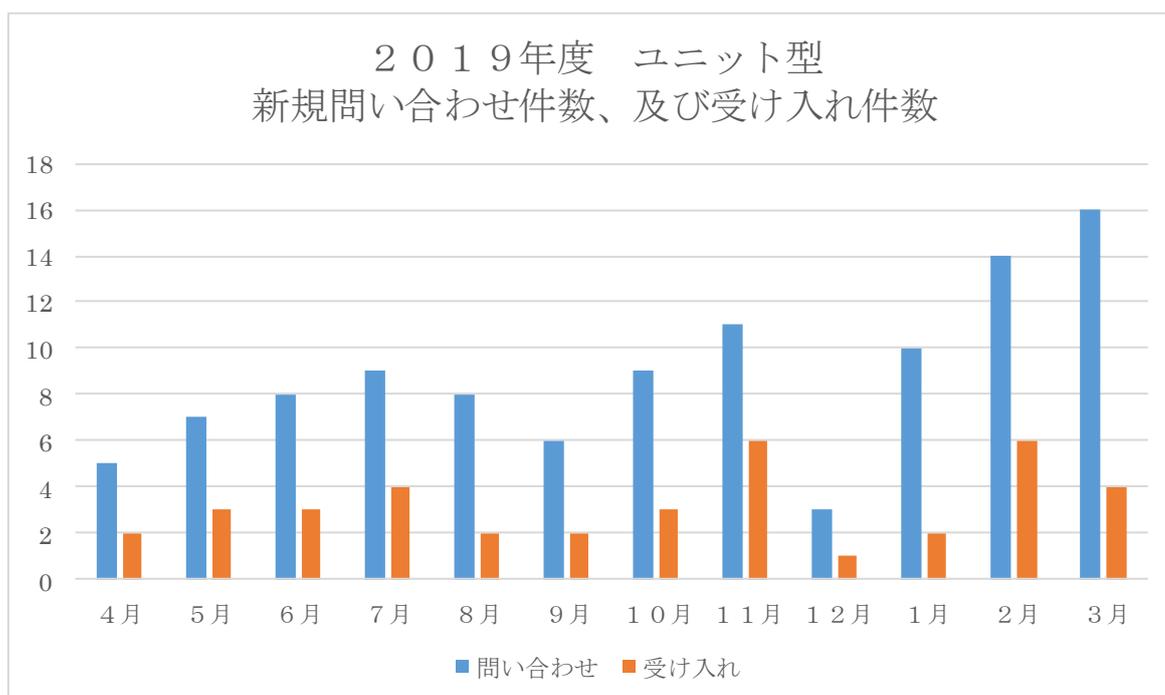
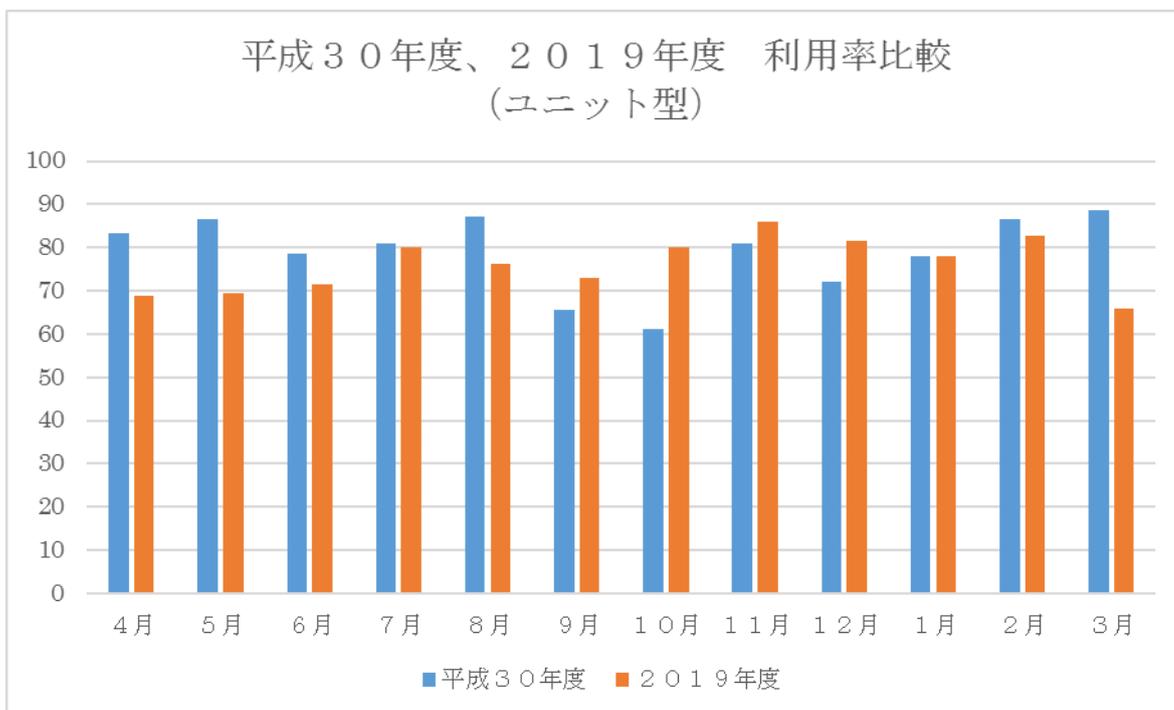
計算問題や色塗り、パズルやクイズなど個人で行う物や体操やゲームなど集団で行う物を計画し、その方に適した内容の物を提供しました。季節感が感じられるイベントはとても好評で、喜ばれている様子が見られました。

⑤ 防災保安対策

防災対策委員会と連携し、毎月1回の防災訓練と勉強会での防災保安教育を実施し、全ての職員が災害や火災発生時の対応を周知しました。

⑥ 利用率向上

年間平均利用率は76.1%となり、目標の75%は達成できましたが、昨年度の79.1%を上回る事ができませんでした。新規の利用者問い合わせ件数はあるものの、問い合わせの大半はロング希望で、空床がなくお断りをするケースが半数以上という状況でした。定期利用の方を中心に週末の空床がない状況となっており、平日は空いているが週末は満床でお断りをしてしまう事が多かったです。来年度の取り組みとしては、平日のイベントや機能訓練ができるような環境を整え、平日の利用を増やしていきたいです。



- ⑦ 苦情について
2019年度に1件ありました。

やまぎきデイサービスセンター 2019年度事業報告

【基本方針】

基本方針として、ご利用者様が可能な限りその居宅において、各々の有する能力に応じ自立した日常生活を営むことが出来る様支援・援助に努めました。日常生活上必要な介助及び機能訓練を行い、その人らしい生活が送れるよう、ニーズに沿いながら、社会的孤立感の解消、及び心身機能の維持、向上、並びに介護されるご家族様の身体的・精神的な負担に寄り添う声掛け・軽減への対応に努めました。又、ご家族様が相談しやすい環境を整える事により情報収集が迅速にでき、関係者への報告・信用にも繋げる事が出来ました。

【重点実施項目】

①サービス内容

(1)生活支援

きめ細やかなサービス提供に繋げるようにケアプランをもとに、個々のニーズに合わせた通所介護計画（介護予防通所介護計画）、選択的サービスの実施計画を作成・評価を行いました。又、ご利用者様・ご家族様に解り易く計画書の説明を行い、サービスへの理解を深めて頂けるように努めました。介護職員はモニタリングを行い、スタッフ間でも常にご利用者様の変化や情報交換を行う事により異常の早期発見に努めました。相談頂く事により、より良いサービスの提案にも繋がりました。又、身体状況に応じてご家族様に相談後受診を勧める等、サービス提供を円滑に行う為、関係機関との連絡調整も密に行ないました。

(2)食事

ご利用者様にあった食事形態、食アレルギー、嗜好等の聞き取りを行い、栄養バランスの良い物を提供することで、満足して頂ける食事になる様に努めました。又、ご利用者様の嚥下状態・食事形態の観察を行い、ご家族様・関係機関へ状況報告し、適切な形態を提案しながら、ご利用者様の「食の楽しさ」を心掛けました。食事前には口腔体操を行い、ご利用者様が安全に美味しく食事を召し上がっていただけるよう努めました。

(3)健康管理

ご家族様・主治医・ケアマネジャー等の関係者と連携を強め、常にご利用者様の健康状態を把握し、健康維持の為の機能訓練体操を実施致しました。又、自宅での薬管理のできにくいご利用者様の健康管理に努めました。

（関係者との連携を密に行いました）

医療ニーズの高いご利用者様に関しても、可能な限り受け入れを行いました。

(4) レクリエーション活動

個人製作・共同製作については、興味あるものを提供できるよう努めました。今期もクオリティーの高い製作に着手し、ご利用者様の各能力に応じた準備を行い、充実感、達成感・満足度を促すよう努めました。又、月2回の書道教室への参加をグループホームや他事業所へも声掛けし、より充実した時間の共有が出来ました。

外部からの慰問等を開拓し、月に3回から4回程度を受け入れ、外との交流の場を設けることで、刺激ある生活を送って頂けるように努めました。慰問時には全職員で盛り上げ隊となり、ご利用者様にも参加して頂きながら皆で楽しい時間の共有に努めました。慰問の方々への丁寧な対応と当日の写真の編集を行い、帰りにお持ち帰り頂き、新ボランティアの紹介に繋げると共にやまざきの営業の一環を担って頂きました。今期も敬老会に向け、ご利用者様の意欲・達成感を目的とし、職員と共に味わって頂く企画を試みました。当日までの2か月程前より多くのご利用者様に小道具作り等、準備にも関わって頂き、大勢の方の潜在能力を引き出す機会となりました。敬老会一週間は飽きない別演目を揃え、地域の関係者（ケアマネージャー・ご家族様）を御招待し、営業活動に繋げました。

好天候日には中庭を利用し、機能訓練体操、散歩等、四季を満喫できる機会の提供に努めました。

(5) 機能訓練

計画書にそって、集団体操、個別訓練（歩行訓練・立位訓練・セラバンド運動・ペダル運動）を楽しく行って頂けるよう各職員がバリエーションを増やし、笑い声が出る免疫体操に繋げました。利用者様全員が楽しみながら健康維持や筋力向上を目指すと共に、出来る限り在宅にて自立した生活が送れるような体操の考案に努めました。

(6) 口腔ケア

口腔機能維持のため、昼食後の歯磨き・うがいの徹底を継続しています。自宅より持参した歯ブラシとコップで歯磨きすることにより、口腔ケアの習慣化を継続しました。

② 防災対策

消防計画に基づいた月1回の避難訓練を実施し、利用者様にも積極的に参加して頂き、緊急時に落ち着いた行動がとれるよう繰り返し訓練を行いました。

③ 利用率の向上にむけて

10月に登録者数を35名様に増員し、サービスの質を維持する為、職員を増員すると共にフロアの改善に着手しました。

- *相談員付近の動線工事
- *位置の改善（目的：見た目の広さ・使いやすさ・用途別）
- *提供物（職員が選択⇒御利用者が選択出来る位置）
- *ソファの位置（外観を楽しむ位置・読書を楽しむ位置・雑談を楽しむ・体操器具の位置・寛げる位置等）

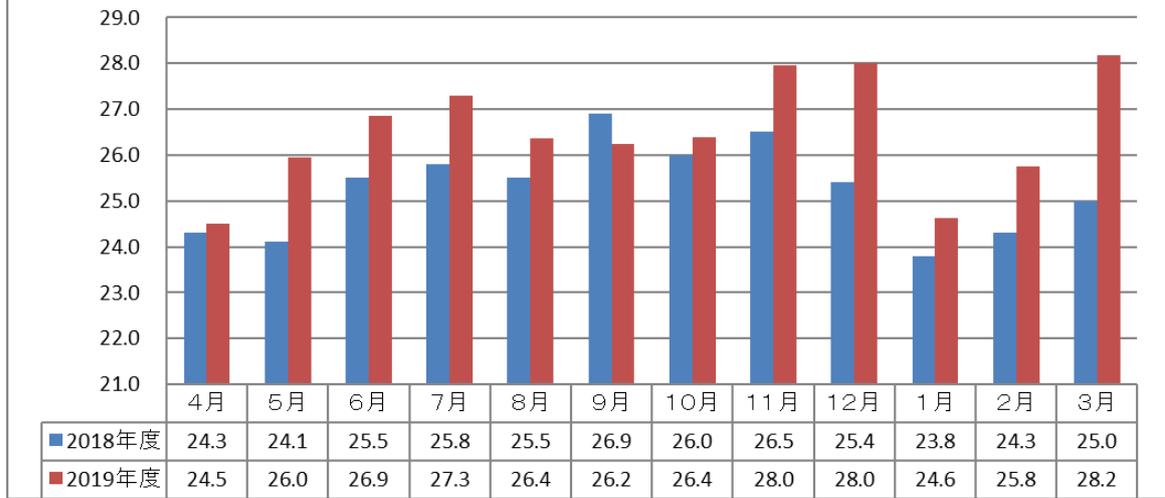
何事にも職員がご利用者様と共に楽しむ事により、ご利用者様に居心地の良い場所を提供できるという相乗効果に努めました。何時でもご利用者様を第一に考える姿勢と良いサービスを保つ上で、職員一人一人のモチベーション・コミュニケーションの大切さを心掛けました。職員同士がお互いを認め合い、職種を超え、常にコミュニケーション良く行動でき、ご利用者様第一に考える姿勢と、ご利用者様満足度を上げる為の何かを常に模索する柔軟さを心掛ければ必ず利用率向上に繋がるという考えを継続していきます。

在宅部門会議において、当デイサービスにアドバイスを頂き、新パンフレットを作成。

浜松市西区にある居宅介護支援事業所等に、四季に応じた皆さんの笑顔と当事業所の試みや新規の方向けの内容に定員増加報告を加え、営業を行いました。



1日平均比較



やまぎきホームヘルパーステーション2019年度事業報告

【基本方針】

要支援・要介護状態のご利用者様が、居宅においてその有する能力に応じた生活を営むことができますよう、ご利用者様の身体介護を中心に生活援助も含めて総合的な援助をサービス提供票に基づいて実施し、必要な日常生活上のお世話（入浴・排泄・食事介護・掃除・その他生活全般の援助）を懇切丁寧に行いました。

【重点項目】

①訪問介護計画

訪問介護はご利用者様の基本的人権を尊重し、一人ひとりの残存能力を生かし、自立支援を基本とした訪問介護計画を作成して、ご本人様やご家族様、そして介護支援専門員といった関係者とよく協議し、安心して落ち着いた生活を送っていただけるような訪問介護計画を作成して実施しました。

②利用者状況

2019年度の利用者数は、前年月平均21名に対し月平均26名と増加しました。7月に12年間、朝昼夕と身体介護で1日3回・週5日・月平均60回利用されていた方が終了となり大幅に利用者率が減少し、新規利用者様獲得の為に営業活動に努めました。2019年度3月末時点で32名あり、内訳として要介護者22名・要支援者10名でした。

2019年度の利用者件数は2,433件、前年度2,429件と横並びで、1日平均9.56件でした。目標としている1日10件を達成する事が出来ませんでした。

詳細は、身体介護24%減少、身体生活複合27%減少、生活援助51%増加、予防55%増加になっています。

身体介護減は、7月終了のご利用者の影響が大きくあり、加えてご利用者様の身体状態の変化やご家族様の介護負担軽減で、他サービスに移行されたことが要因と考えます。

対して、生活援助や予防支援が増加しました。独居生活で介護度が軽いご利用者様より、朝のゴミ出しやデイの送り出し支援の要望が多くありました。勤務時間の調整を図りご利用者様のニーズに可能な限り対応し、ご利用者様の身体状態や生活状況の変化を見落とす事がなく、ヘルパー間や関係機関と連携した支援ができるよう心掛けました。

また、ご利用者様や介護支援専門員からの要望を受け、12月より介護保険では出来ない部分をサポート出来るよう、自費サービスを始めました。利用者様の選択の幅を広げ、在宅生活が安心して過ごして頂けるよう努めてまいりました。

③介護の質の向上

ヘルパーに対してご利用者様の要求が年々高くなってきており、今以上に職員
の質の向上に努め、ご利用者様・ご家族様・関係機関からも信頼が得られるよ
う研修会の参加、勉強会への出席を多数し、介護の質の向上を目指してきまし
た。また、職員間での情報共有や相談できる環境作りに努めました。

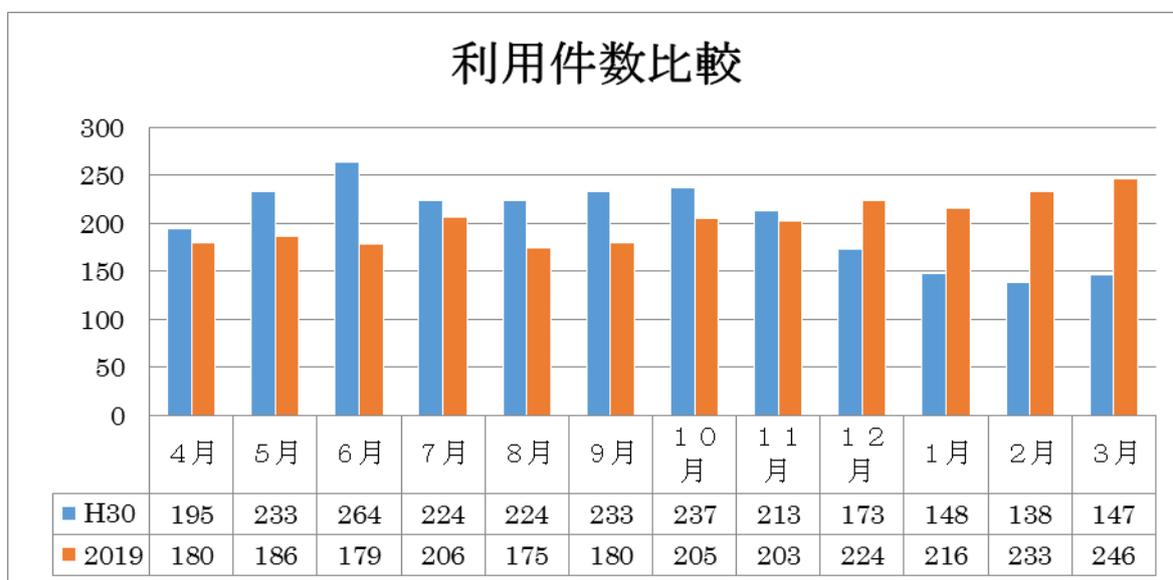
④健康管理

ご利用者様の健康管理はもちろん、職員も健康管理に留意し、インフルエン
ザ・ノロウイルス等の感染症予防勉強会の実施やうがい・手洗い等の徹底を
図りました。また、新型コロナウイルスの感染予防対応にも毎日の健康チェック、
マスク着用を行い、職員がご利用者様への感染源とならないよう各自職員が自
覚を持ち配慮しました。

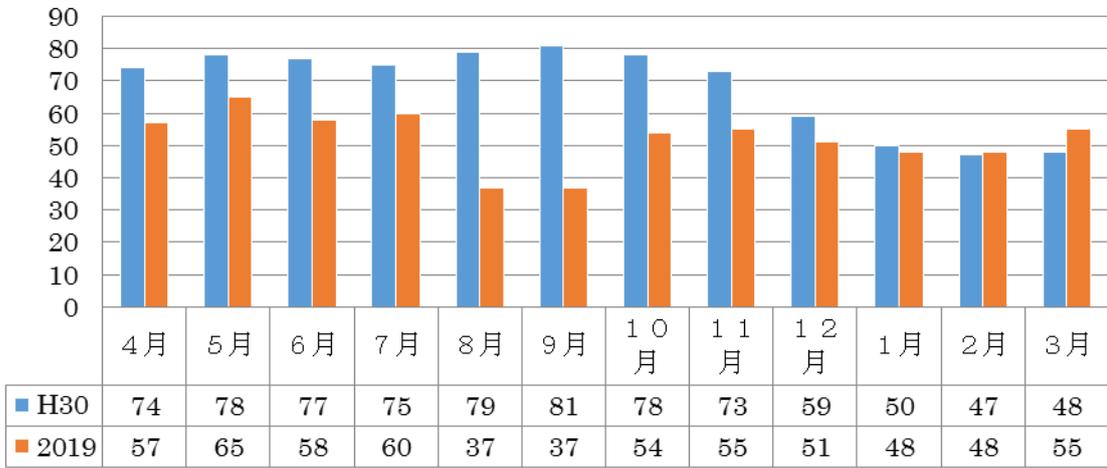
⑤利用率の向上

サービス内容を検討して利用回数を増やすなどご利用者様の生活環境の向上
を図るため、居宅介護支援事業所や地域包括支援センターを廻り、生活改善を
するにはどうしたら良いのか会議と併せ、空き情報を伝え営業活動を行ってま
いりました。

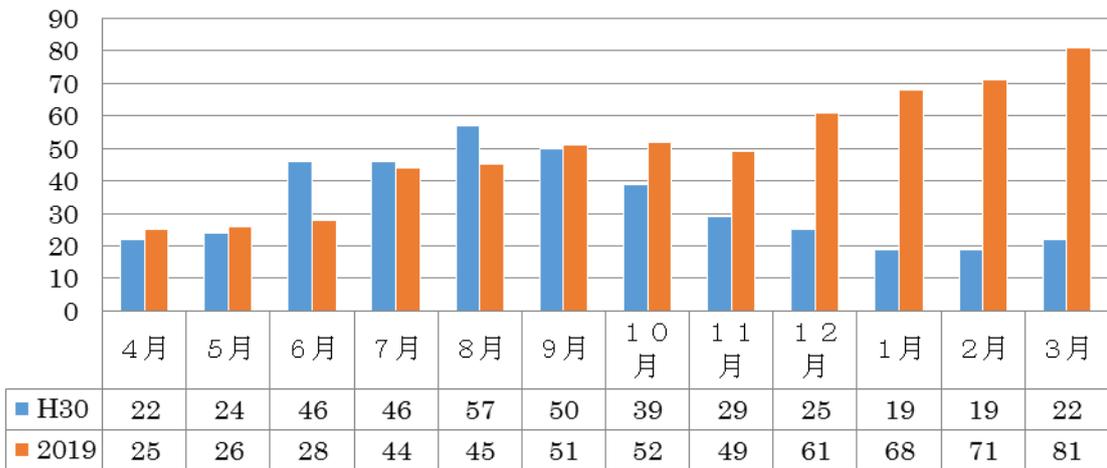
今後も引き続きサービスの質の向上に努め、信頼される事業所になれるよう努
めます。



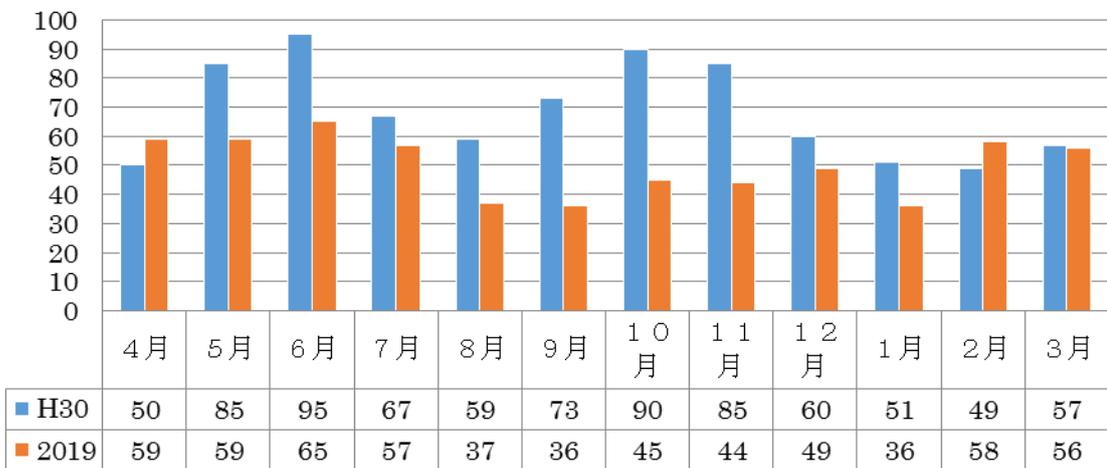
身体介護比較



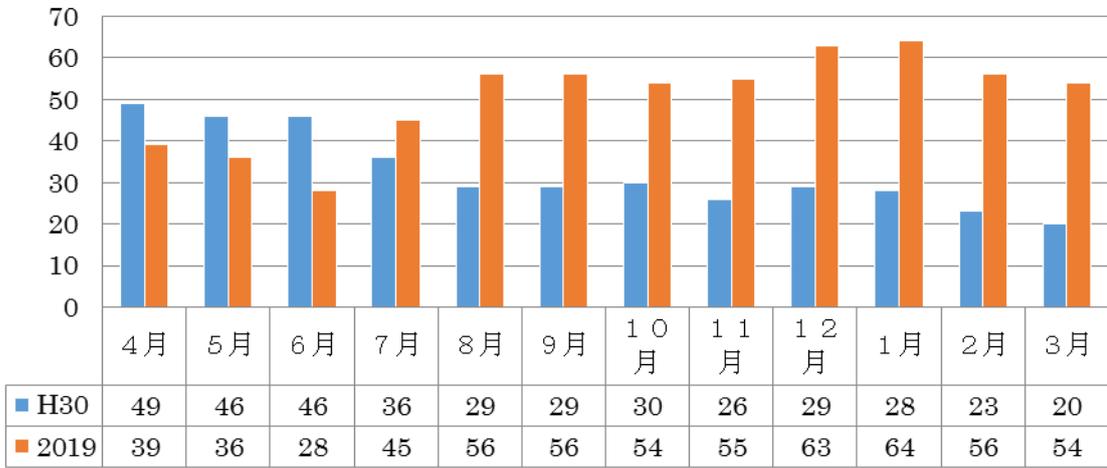
生活援助比較



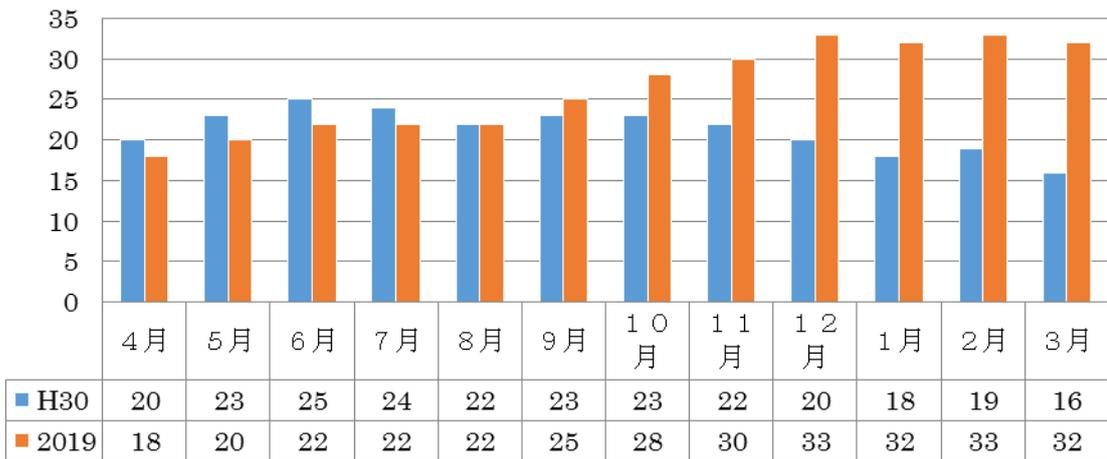
身体生活複合比較



予防支援比較



利用人数比較



グループホームやまざき 2019年度事業報告

(認知症対応型共同生活介護・認知症対応型通所介護)

【基本方針】

家庭的な雰囲気の中、入浴・排泄・食事等の日常生活を提供し認知症が進行しないよう、また今年度の目標である「ご利用者様にたくさん笑ってもらい、たくさん話してもらい、たくさん歩いてもらう」をモットーにご利用者様が安心して楽しく過ごせるよう取り組みました。

- ① ご利用者様やご家族に信頼していただけるような施設作りをする。
- ② ご利用者様に職員が積極的にかかわり充実した日々を過ごしてもらう。
- ③ ご利用者様の能力に合った活動を促し機能低下を防ぐ。

【重点項目】

① ご利用者様へのサービス

計画作成担当者が他の職員と協力しながら、ご利用者様一人一人にあった個別介助計画書を作成しサービスの提供に努めました。各ご利用者様に担当職員を決め、毎月ご利用者様に合った対応ができるよう検討会を行いました。2月末より新型コロナウイルス感染拡大予防のため、面会、外出が禁止になりましたが、利用者様が穏やかに安心して過ごせるよう対応しています。

② 日常生活上の支援

ご利用者様ご自身の生活のリズムを大切に、個々の能力を活かした支援を心掛けてきました。入浴は各自週3回行い、身体の清潔を保ち、ゆったり入浴できるよう支援しました。排泄については、清潔な状態を保てるよう配慮しました。食事はご利用者様と共に調理・摂取することにより家庭的な雰囲気の中で楽しく召し上がって頂けるよう心がけました。

③ 機能訓練

グループホーム内では心身の回復をはかる「生活リハビリ」を中心として、日々の生活における掃除、洗濯、食事準備、また畑の作物づくり、草抜きなど、できることを職員と共に行いました。また午前、午後と園内や戸外の散歩、飽きる事のないよう体操を工夫したり、スクワットなどを取り入れ、楽しく筋力維持、体力維持できるよう努めました。

④ 相談、援助

ご利用者様が困っていることはないか、利用者間のトラブルがないか、など利用者様の状況を把握し、楽しく、笑顔で生活できるよう援助しました。

⑤ 保健衛生

環境整備、健康管理には十分配慮しました。ご利用者様が急変のときには、主治医やご家族様に連絡し必要な治療等が受けられるよう努めました。主治医との連携を密に早期対応を心がけ、日頃の健康管理に取り組みました。

⑥ 防災保安対策

避難訓練や防災訓練など災害から身を守ることを中心に訓練を実施しました。また、地区や他施設の防災訓練にも参加し地域交流を図りました。

⑦ 家族・地域社会との交流

ご家族様にご利用者様の施設での様子をお知らせするため、毎月写真入りのグループホーム便りを送付し、またメールでの連絡も行い、家族との関係を築けるよう心がけています。ご家族様には家族会だけでなく、クリスマス会など施設内の行事に参加してもらうよう企画しご利用者様と楽しんでもらいました。また、ご利用者様を施設内の生活にとどめず、区民祭や敬老会などの地域行事に参加し、お楽しみ外出・外食等を月1回以上計画して社会との交流に努めました。誕生月にはご利用者様一人一人の好みに応じた外出を担当職員と行いました。

⑧ 職員の資質向上

サービスの質の向上を図るため職場内研修を実施しました。また事業所内、外での研修を受講いたしました。

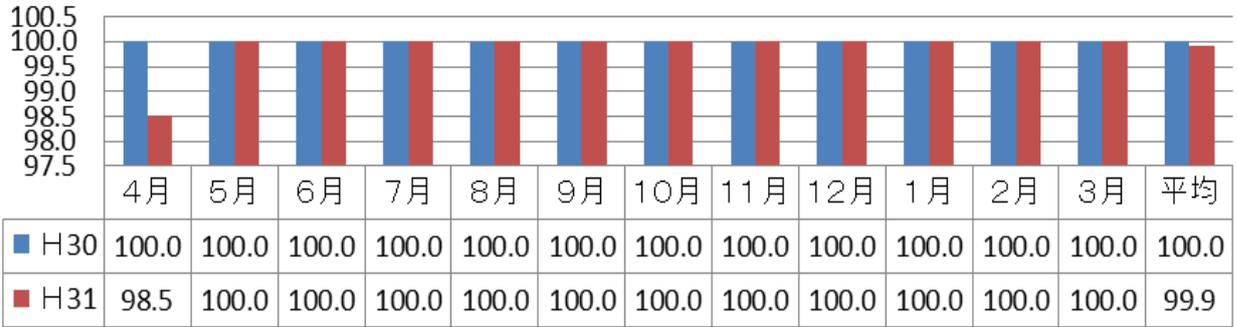
⑨ 運営推進会議の設置・運営

地域密着型サービス事業所では、より地域に開かれた事業運営及びサービスの質の向上の確保を図るため、浜松市職員と地域包括支援センター職員、地域住民代表、ご家族様代表、ご利用者様代表に運営推進委員として参画していただき、定例会議を2ヶ月に1回（年6回）開催しました。地域行事の情報を得たり、利用者の近況を報告したり、地域の方々とのつながりの機会となりました。

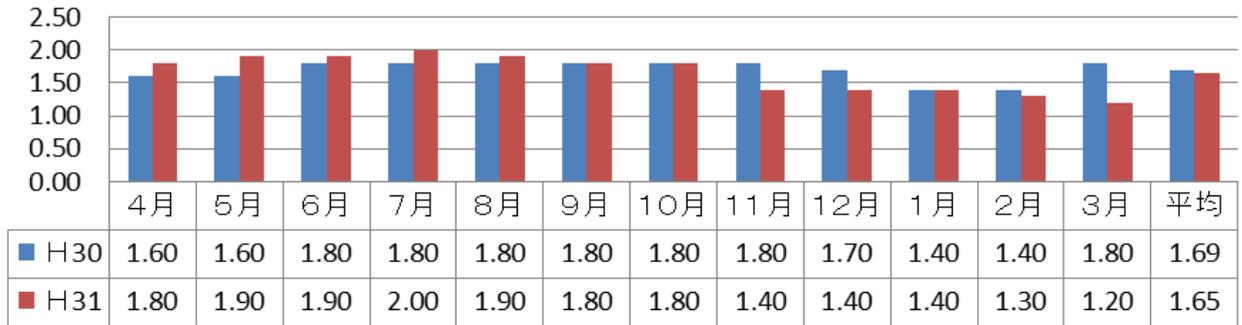
⑩ 外部評価

平成31年5月に第三者評価機構の方により外部評価を受けました。食事の味付けについて少し助言をいただきました。外出することも多く、ご利用者様が活動的で楽しそうだと高評価を受けました。

利用率



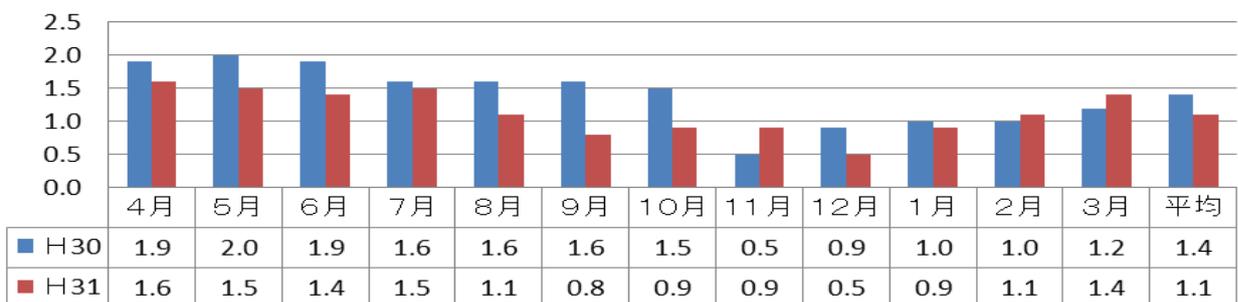
平均介護度



⑪ 認知症対応型通所介護（定員 3名）

グループホームの建物を共有し、在宅生活の方のデイサービスを実施しています。定員3名ですが定員を満たすことはできませんでした。1月に職員が退職したため1月から3月まで通常通りの営業ができず週4回の営業になりました。少人数なので利用者様各々に合わせた対応もでき、居宅支援事業所の介護支援専門員からの信頼を得て紹介を頂いていますが、昨年度より平均利用人数が減少してしまいました。

平均利用人数



山崎園居宅介護支援事業所 2019年度事業報告

【基本方針】

ご利用者様及びご利用者様を取り巻く環境を把握し、ご利用者様が住み慣れた地域及びご自宅で、可能な限りその能力に応じて、自立した日常生活が送られるように支援しました。また、要介護・要支援状態の軽減または悪化の予防を目的に適切なサービスが総合的・効率的に提供されるように努めました。

介護支援専門員の資質の向上を図り、事業所評価の向上を目指しました。

【重点項目】

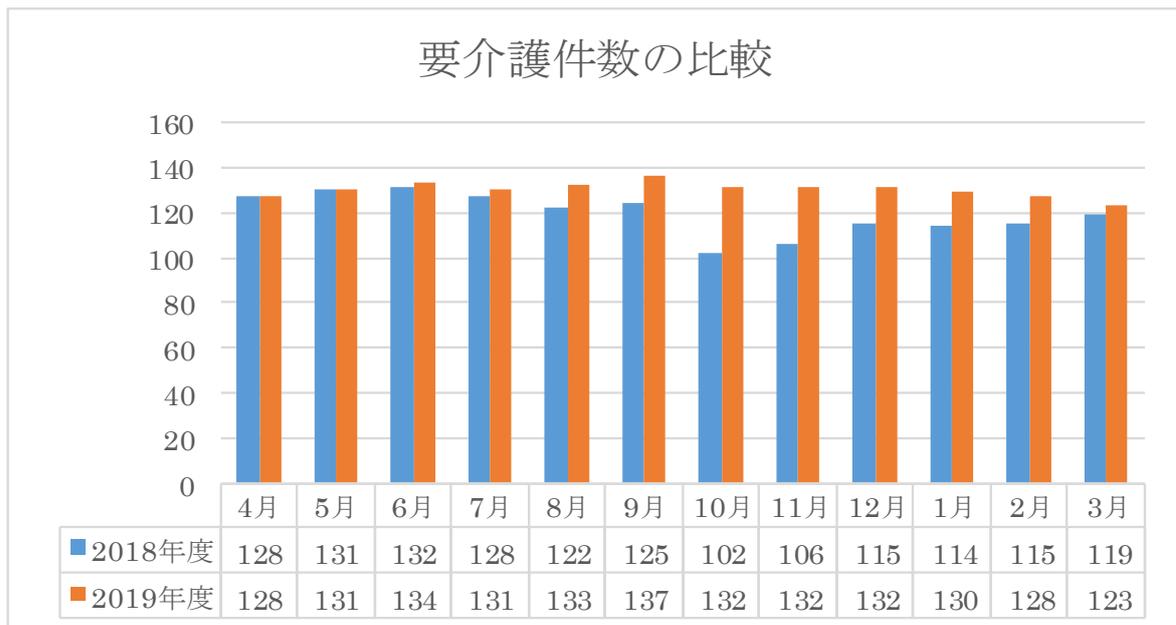
① 事業所の安定運営

事業所内でのご利用者様支援に関する情報共有を継続するとともに、状況に応じて高齢者相談センター等へ迅速な声掛けを行い、新規依頼の積極的な受け入れに努めました。

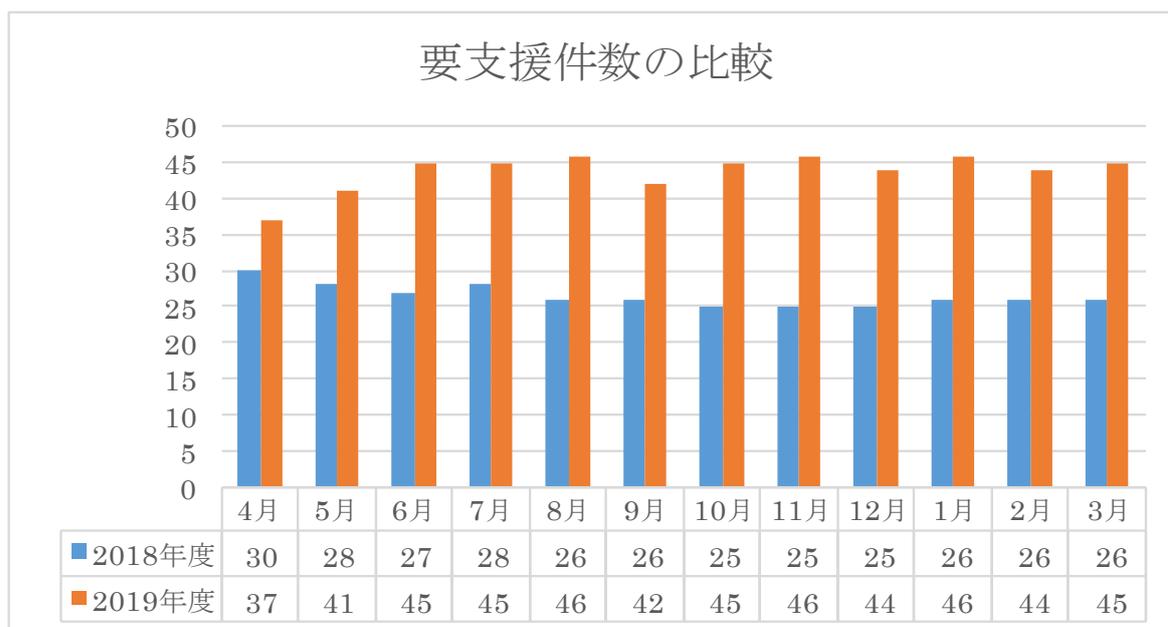
要支援・事業対象者を含む介護支援専門員一人あたりの月平均給付管理件数は前年度37.80件に対し、今年度43.69件となり、5.89件の増加となりました。

状況に応じた新規依頼の積極的な受け入れにより、今年度の要介護給付管理件数は前年度より134件増加し、2019年度収入は前年度比約17%の増加となりました。

◇前年度との給付件数比較と件数の推移



要支援件数の比較



② 利用者支援

月に一度以上のモニタリング訪問を行い、ご利用者様・ご家族様の意向を確認・尊重した支援を行いました。事業所内で定期的な会議を実施し、支援進捗の共有、必要に応じて支援内容に関する話し合いを行い、多角的な視点を持ったご利用者様への提案・情報提供や支援が出来るよう取り組みました。

③ ケアマネジメント技術の向上

毎月1回の施設内研修会に加え、今年度は以下の研修会に参加しました。今後も質の高いケアマネジメントを提供できるよう計画的な研修会等への参加を続けてまいります。

5/28 浜松市キャラバンメイト連絡協議会 総会・研修会

6/22 浜松市介護サービス連絡協議会総会・研修会

6/8 浜松市介護支援専門員連絡協議会総会・研修会

6/23～介護支援専門員リーダー養成研修（全10回）

8/27 西区合同ケアマネサロン「高次脳機能障害を学ぶ」

9/21 マストレメディカル介護セミナー

9/6・11/8 西区ケアプラン作成研修会

10/25 西区特定事業所合同研修会

10/28 西区高齢者虐待研修会

11/7 ケアマネ連絡協議会西区支部研修会「障害福祉サービスと介護保険」

1/18 浜松市多職種連携推進事業 西区研修会

1/29 領域の異なる多職種連携による在宅医療・介護連携推進事業 研修会

2/10 西区介護支援専門員地域演習事業Ⅱ

④ 地域のネットワークの形成・活用

ご利用者様支援において、必要時に地域の高齢者相談センターや民生委員等との連携を図りました。また、民生委員との交流会に参加するなど、地域のネットワークの構築・活用を図りました。

地域包括支援センター・法人内居宅合同で、西区内の小学校で4年生を対象にした認知症サポーター養成講座を計4回開催し、地域で認知症高齢者を支えるネットワーク形成に参画しました。

医療機関と積極的な連携を行い、ご利用者様の安定的な自宅療養を支援するとともに、入院時の情報連携や退院支援に積極的に努めました。今年度は入院時情報連携加算Ⅰ・Ⅱを計28件、退院退所加算Ⅰイ・Ⅰロ及びⅡイ・Ⅱロを計12件算定しました。

⑤ 自法人事業所間及びサービス提供関係機関による相互協力

在宅部門会議や法人内包括と居宅事業所が参加するケアマネ会議に出席し、ケースへの対応事例の共有や地域ニーズの把握等を行いました。

また、地域ニーズや対応策に関する情報共有を目的として、山崎園併設の在宅サービス3事業所と情報交換及び情報提供を行いました。

認定調査立ち合いにおいて必要な適切な判定基準等についての勉強会を、項目別に計6回開催しました。

生活支援ハウス山崎 2019年度事業報告

【基本方針】

生活支援ハウスは、非該当の方や要支援1・2～要介護1までの方が対象となります。生活援助員は見守りを主体としつつ、その持てる能力を十分に発揮し高齢者の生活が維持出来るように援助致しました。

介護サービスが必要な方につきましては、高齢者相談センターや居宅介護支援事業所と連携を図り、利用に繋がるよう支援に努めました。

【重点項目】

①運営事業実施要項

生活支援ハウスは、高齢者に対して介護支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供することにより、高齢者が安心して健康で明るい生活を送れるよう支援し、高齢者の福祉の増進を図ることを目的に設置されていますので、高齢者生活福祉センターとしての役割を運営に掲げました。

②事業内容

近年、中区や南区の高齢者相談センターからの問い合わせが増加しており、今までに関わりのなかった事業所からの問い合わせも入るようになりました。

特別養護老人ホームや老人保健施設に入所中に介護保険の更新で、自立～要支援レベルとなり施設を退所しなければならず、久々の自立した生活に不安があるため介護保険を利用しながら支援ハウスを利用したいというケースが多くありました。ご家族からの虐待ケースも相次ぎ、病院からの直接の依頼は例年より減少しています。

利用中に持病の悪化で入院となるケースが2件、骨折により入院となるケースが1件ありました。職員間やご家族、ケアマネージャー等と連携をスムーズに図るためにマニュアルや緊急時の対応方法を見直し再作成、周知を図りました。利用の長期化により認知や身体機能低下が見られた方にはケアマネージャーと連携を図り、介護保険サービスを利用出来るよう支援しました。利用者が安心して生活出来るよう見守りや相談出来る環境作りを心掛けました。

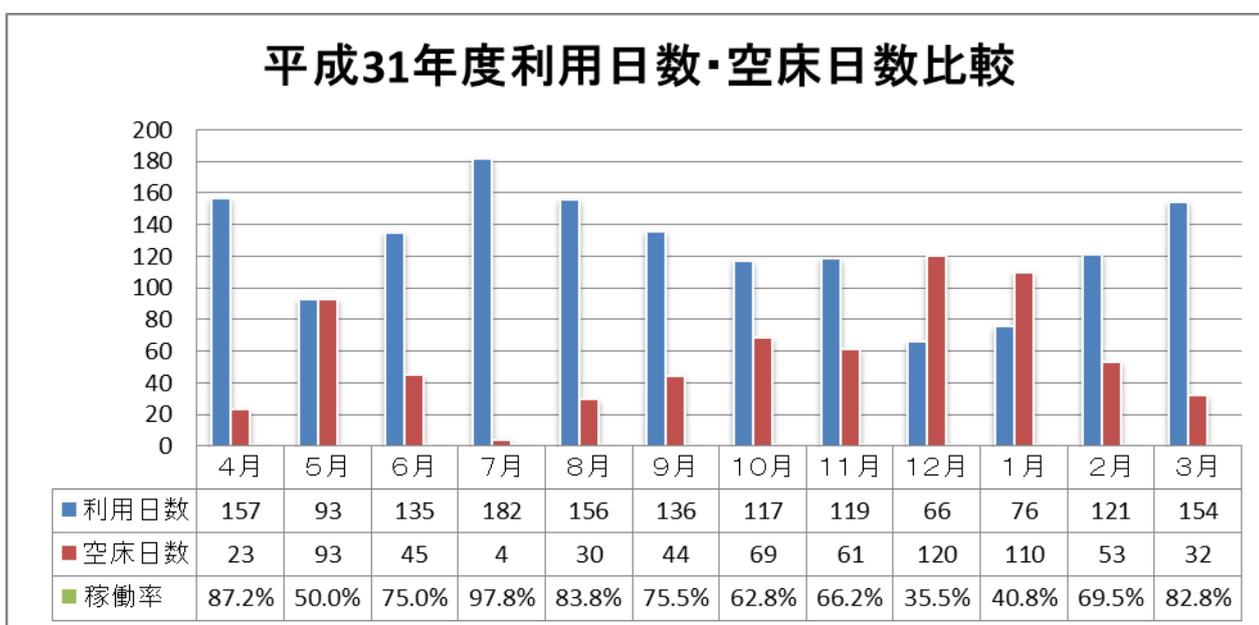
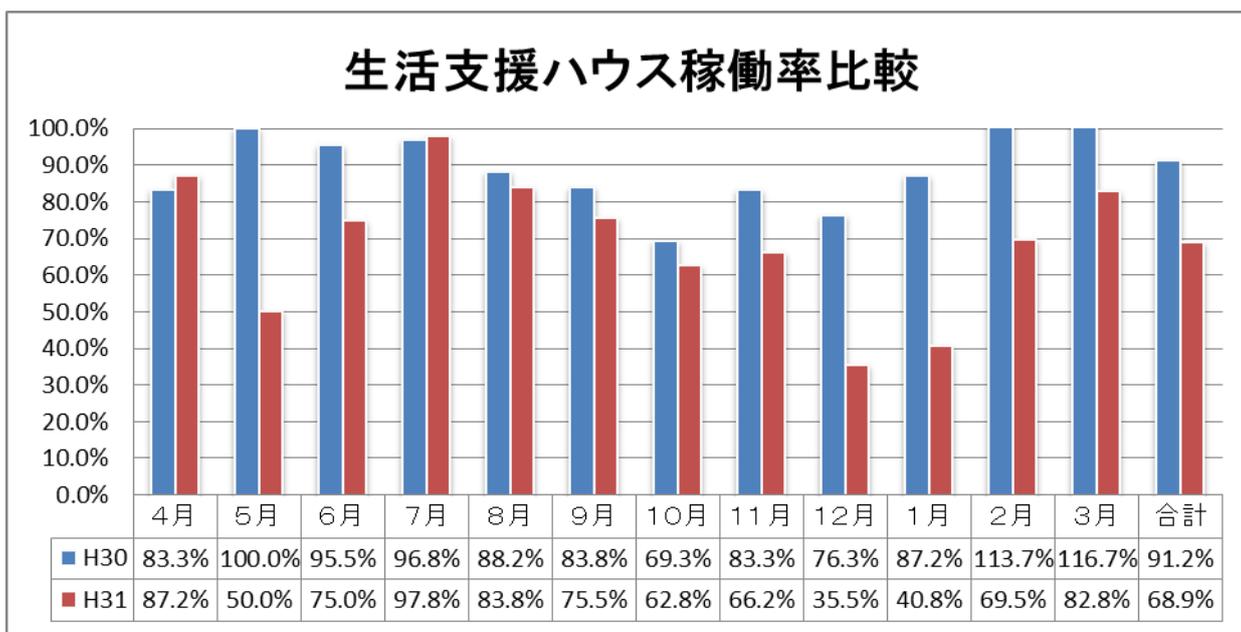
③ 利用稼働状況

平均稼働率は68.9%となり、前年度と比較すると22.3%の減少となりました。問い合わせ件数は80件で、昨年度より20件増加し、新規利用は19件、昨年度より7件の増加となりました。高齢者あんしん一時宿泊事業の利用、問い合わせはありませんでした。

次の行き先を決めてから利用される方が多く、数週間から2ヶ月程の短期間で

退所されるケースが多かったです。

今後も利用状況を把握し、各区役所や高齢者相談センター、居宅介護支援事業所等との連携を図っていきます。また、問い合わせに早期対応出来るように空床が分かり次第、空床情報の提供を継続していき稼働率の向上に努めていきます。



④苦情について

2019年度の苦情はありませんでした。

松城デイサービスセンター 2019年度事業報告

①定員を目指し、利用者の増員をします

- (1) 前年度に比べ一般型は1日当りの平均利用人数0.34人、認知症型1.28人と若干ではありますが増加しました。
- (2) 職員や利用者様、ご家族様共にコミュニケーションを密にしてその方に合った援助をし、活気のある場所を提供できました。
- (3) お客様の獲得の為、居宅支援事業所を月に平均15件の営業をしました。
- (4) 随時見学対応をし、お試し利用もご利用して頂き、契約に結び付くことが出来ました。

②季節感のある活動やカラオケで心も身体も健康になります

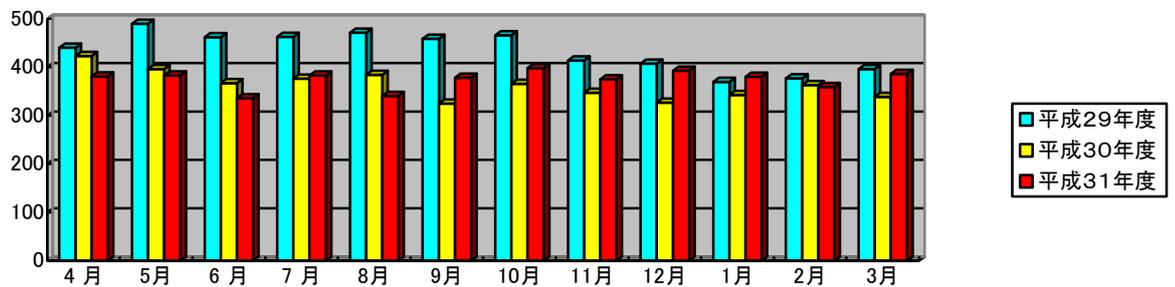
- (1) 送迎時、デイサービスに到着された利用者様に、明るい挨拶が出来ました。
- (2) 季節行事に力を入れることが出来、利用者様から喜ばれる行事を多く取り入れることが出来ました。
- (3) 変わり湯の提供で利用者様とのコミュニケーションがさらに増え、入浴も楽しみの場の1つになりました。
- (4) 通信カラオケ機を導入し、利用者様のリクエストに答える事ができるようになり、イントロ曲当て、体操、ゲーム等の機能も搭載されており職員、利用者様と一緒に体を動かす、声を出す、頭を使うなどし、楽しみながら使用ができました。

③事故ゼロを目指し、安心安全快適な環境整備を行います

- (1) 午前午後の2回の検温で体調不良を素早く察知出来ました。
- (2) 乾燥やウイルス対策に空気清浄機や加湿器、換気をしっかりと行い、感染予防が出来ました。
- (3) 利用者様が帰った後の掃除では手すりや椅子、テーブル等セラを使用し、徹底した除菌消毒を行えました。
- (4) 単独で公用車をこする等の事故はありましたが、利用者様同乗の事故はなく安全に送迎することが出来ました。
- (5) 大きな介護事故は、ゼロでした。ヒヤリとする事は、何回かありましたが油断をせずゆとりを持って油断ないケアで事故のない介護を目指します。

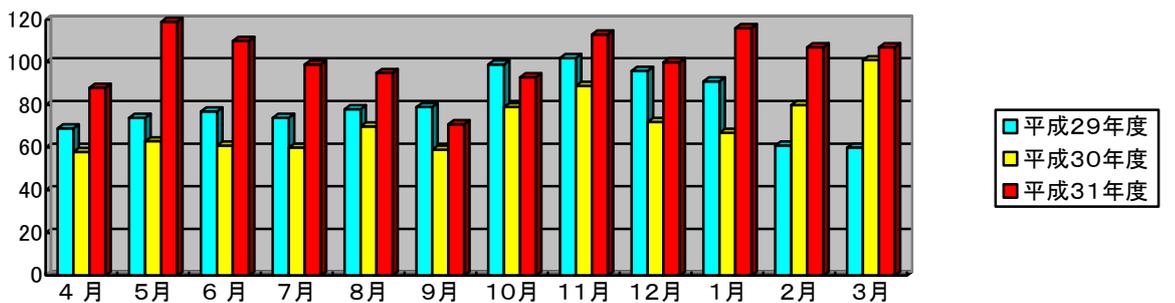
月別利用者人数 2019年度 一般型 (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
稼働日数	22	23	20	23	23	21	23	21	21	21	20	22	259
延べ人数	381	383	336	383	341	378	398	375	393	380	359	386	4493
平均/日	17	17	17	17	15	18	17	18	19	18	17	17	17.3
平均 介護度	1.9	1.8	1.9	1.9	1.8	1.9	1.9	1.9	1.8	1.9	2.1	2.0	1.9



月別利用者人数 2019年度 認知症型 (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
稼働日数	22	23	20	23	23	21	23	21	21	21	20	22	259
延べ人数	125	155	127	162	144	132	123	119	122	121	112	116	1558
平均/日	5.7	6.7	6.4	7.0	6.5	6.3	5.3	5.7	5.8	5.8	5.6	5.2	6.0
平均 介護度	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.5	3.6	3.6	3.8	4.1	3.9	3.5



2019年度 レクリエーション活動報告書

製作部門

おやつ作り部門

4月 鯉のぼり吊るし飾り

鈴かすてら

5月 あじさいの置物

かしわ餅

6月 レターラック

お好み焼き

7月 夏らしい置物

あんみつ

8月 絵手紙

わらび餅

9月 花の壁飾り

変わりクレープ

10月 運動会のため、作り物はお休み

芋ようかん

11月 フルーツの置物

おはぎ

12月 クリスマス会の為作り物はお休み (クリスマスケーキ(クリスマス会と共に)

1月 子年の置物

すいとん入りおしるこ

2月 春の吊るし飾り

たこ焼き

3月 桜とカーネーションの飾り

変わりパンケーキ



2019年度 月の替わり湯

4月 よもぎ湯

5月 米ぬか湯

6月 みかん湯

7月 どくだみ湯

8月 しそ湯

9月 アロエ湯

10月 米ぬか湯

11月 大根葉湯

12月 みかん湯

1月 大根葉湯

2月 みかん湯

3月 みかん湯



ぬかを煎ってから袋へ



松城指定居宅介護支援事業所 2019年度事業報告

【基本方針】

利用者様及び利用者様を取り巻く環境を把握し、住み慣れた地域及び自宅で、可能な限りその能力に応じ自立した日常生活が送られるように支援します。
また、要介護状態の軽減または悪化の予防を目的に適切なサービスが総合的・効率的に提供されるよう利用者様を支援します。
介護支援専門員の技術の向上を図り、事業所評価の向上を目指します。

【重点実施項目】

①寄り添う力を持つ

バイステックの7原則。初心に立ち返り対人援助技術向上、信頼関係を気付くことを大切にしました。

その他、利用者様の新規サービス導入時やお試し利用時は事業所へ訪問し利用状況の確認や担当者と話しお互いに顔のみえる関係作りをしました。

新規訪問事業所 以下件数記載します。

【訪問介護 3 件 訪問看護 4 件 訪問入浴 2 件 デイ 28 件 短期入所 3 件】

②解決する力を持つ

介護支援専門員更新研修全 7 日間参加しました。

提出した 7 事例を使い演習を行いました。その他は介護保険制度の今後の展開や地域包括ケアシステム、社会資源の活用などについて学びました。

研修は中区包括主催の研修に 5 回参加、西区包括主催のケアマネサロン 2 回参加、中区主任ケアマネの研修竹千代会に 1 回参加しました。

2 月頃よりは新型コロナウイルスの影響で参加予定だった研修が中止となりました。

③つながる力を持つ

困難ケースを担当することがあり行政（社会福祉課、障害福祉課）

病院医師や連携室、生活困窮者相談自立支援事業所、就労支援事業所

障害サービス事業所、民生委員などと連携し担当を支援することがありました。

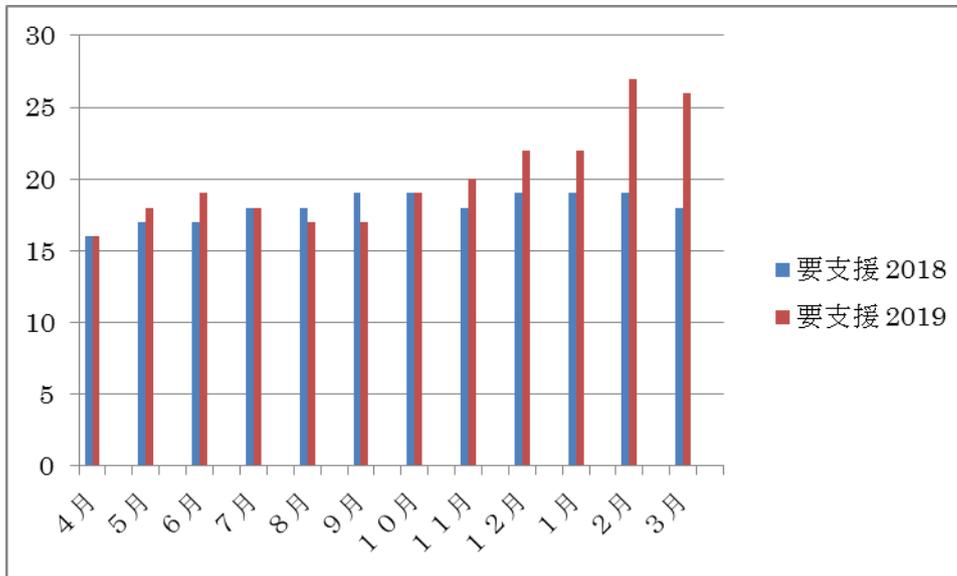
その都度、居宅内でもお互いに情報把握し意見を交換しながら支援できました。

中区の地域包括とは常に情報交換を行い、新規紹介をたくさん頂けるようになりました。

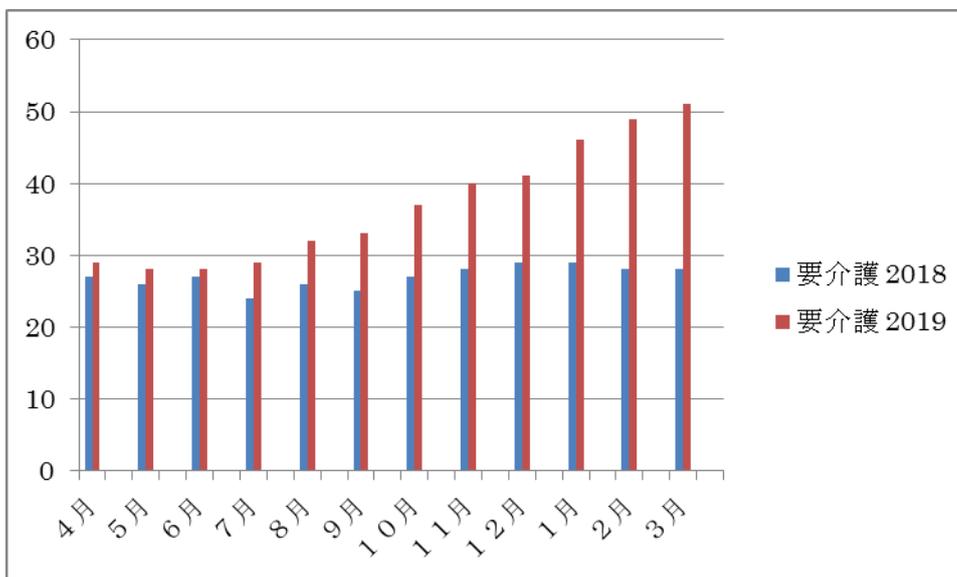
松城居宅介護支援事業所

◎前年度との請求件数の比較は以下の通りです。

要支援件数比較



要介護件数比較



救護施設神ヶ谷園 2019年度事業報告

【基本方針】

生活保護法は、憲法第25条に定めた理念により、国が生活に困窮するすべての国民に対し、その困窮の程度に応じ必要な保護を行うとする法律です。最低生活を保障するとともに自立できるよう援助し生活に困窮している人が保護を受けることを法律上の権利として保障し、最低生活を維持するためにその人が所有または利用できる資産、能力その他あらゆるものを利用してはならないところを保護するものです。

その中で救護施設は、社会資源として必要不可欠なものですが、必ずしも広く社会にその役割が理解されている訳ではありません。

現在救護施設を利用している方や、将来救護施設を利用するかもしれない方のためにも職員一人ひとりが大切な社会資源としての救護施設を支える一員であるとの認識を持ち、常に専門性を向上させるよう努力し続けております。

【介護職員重点項目】

私たちは、自分自身の生き方や生活を自らが決定しその選択に責任を持ちながら生活しています。個人として自己決定・自己選択の機会が保障されています。このことは、救護施設利用者にとっても同様なことです。

救護施設は多様な障害のある方を受け入れており、そのために支援内容も多岐にわたっています。利用者の意向を尊重し、一人ひとりが生き生きして生活を送り、自己実現を図ることを支援するための計画書を作成する必要があります。個別支援計画を充実させることによりリスクマネジメント、苦情解決システムがより精度を増し、その結果施設機能が強化されました。

【生活相談員重点項目】

相談に対して適切な助言を行うとともに、関係機関との連絡調整を図り安心して生活ができるよう努めてまいりました。

また、病院関係の依頼を中心に9名の新規利用者の受け入れをいたしました。退所者も9名となりましたが、地域生活移行者は1名、高齢者施設への移行は1名に留まっています。

循環型施設としての役割を果たしておりますが、65歳以上の高齢利用者がまだ多く、待機状態にありますので関係部署へ働き掛けて、その方に合った施設をご紹介します。また、地元の自治会主催草取り・草刈りなどの地域行事や地域交流を積極的に行い、地元の方々との交流は順調に進んでおります。

【栄養士重点項目】

食事調理や厨房内の衛生管理は、衛生管理大量調理マニュアルに基づき調理し、書類を正確に作成しました。作成した書類は、厨房責任者と管理栄養士で二重に

チェックを行い、利用者の状況に合った食事の提供に心掛けました。カロリーや栄養のバランスを考慮したうえで、季節感を取り入れた食事提供が出来るよう献立づくりに努めました。

また、身体や栄養状態を配慮し、食事量や食事形態について1人ひとりの利用者の状態をしっかりと観察して、嚥下障害のある方の食事形態にはきざみやトロミを付けて食事の提供を行いました。最近では嚥下障害の方が多くなりましたので、トロミを付けて食事をする方が比例して増えています。

【看護師重点項目】

月2回の内科医師の診察や2週に1回の精神科医師による回診のほか、食事前の手洗いと手指の消毒、うがいの励行及び健康チェックによる健康管理に努めました。

今年度は、2月頃から新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっておりますが、予防を重点的に行い今のところ感染者を出しておりません。

今後も油断することなく感染症に注意し、利用者の健康管理には最善を尽くしていきます。

また、午前のラジオ体操と園外散歩では、体力の維持に努め多くの方に参加していただきました。看護師は、定期的に血圧測定や体重測定を実施して健康管理の資料となるデータ収集に努め、保健指導を行いました。

【作業担当重点項目】

8月にマジックパイルの仕事がなくなってしまいましたので、新規の仕事を内職センターを通して9月から自動車の鍵の1部品の組立作業を始めることとなりました。

細かな組立作業のため最初は何度か不良品を出してしまいましたが、6ヶ月が経過した現在、不良品の数は激減しました。

5mm程のバネをシャッターに挟み込む作業は、手先の細かな作業のため限定された利用者しか出来ない仕事でしたので、もう1件別の仕事も探してみました。電線・電装品の組立て・加工の仕事は、産業用ロボットに使う5m程の電線を丸く束ねて縛る仕事です。どちらも新規の仕事ではありますが、新型コロナウイルス感染症の影響で作業量はかなり減少しています。

以前から行っています箱折りの仕事も同様に、新型コロナウイルス感染症の影響によりお菓子の売れ行きが悪化したため、作業収入が60%以上減少しています。

【防災・防犯重点項目】

消防計画に基づいて、毎月の避難訓練・消防設備自主点検を行っています。

9月には総合防災訓練、11月の施設防災訓練と自治会の地域防災訓練に参加、利用者や職員に対し防災への意識を高めることに努めました。また、防災備蓄品の点検を定期的に行い欠品のないよう点検を行いました。

防犯につきましては、防犯カメラを駆使して不審者の監視に努めています。また、

防犯点検を毎月実施し、防犯意識を高めるための点検を定期的に努めました。

【居宅生活訓練事業重点項目】

居宅生活の訓練者4名でスタート、施設近隣に法人が借りている訓練用アパートを使い、出納帳による金銭管理指導、献立のチェックによる栄養指導、役所などへの提出物や連絡の指導等、退所後の生活を想定した実際の地域生活に近い環境での日常生活訓練・社会生活訓練を行うことにより地域生活に移行できるよう支援を行いました。

前年度より訓練を行っていた1名は問題なく訓練が出来たことで終了、他の2名は現在訓練中、残りの1名は1年間の訓練ではまだ不安な部分がありますので訓練を継続することとしました。

【保護施設通所事業重点項目】

居宅訓練事業終了者を対象に、今年度より浜松市への届け出事業として開始しました事業です。具体的には通所事業の2つの柱、訪問事業（月1回以上施設職員が自宅を訪問し生活指導や金銭管理についてのアドバイス等）と通所訓練（月1回以上神ヶ谷園に来ていただいて個別面談や園内作業への参加）の2つを通じて対象者を見守ってきました。

4月の開始時点では訪問指導4名、通所訓練3名でしたが6月に居宅訓練終了者を加えて訪問指導5名、通所訓練5名で事業を行ってきました。途中で長期入院者やお亡くなりになりました方がありましたので年度末には訪問指導4名、通所訓練3名で年度を終了しました。

救護施設神ヶ谷園 施設概要

2020年3月31日現在

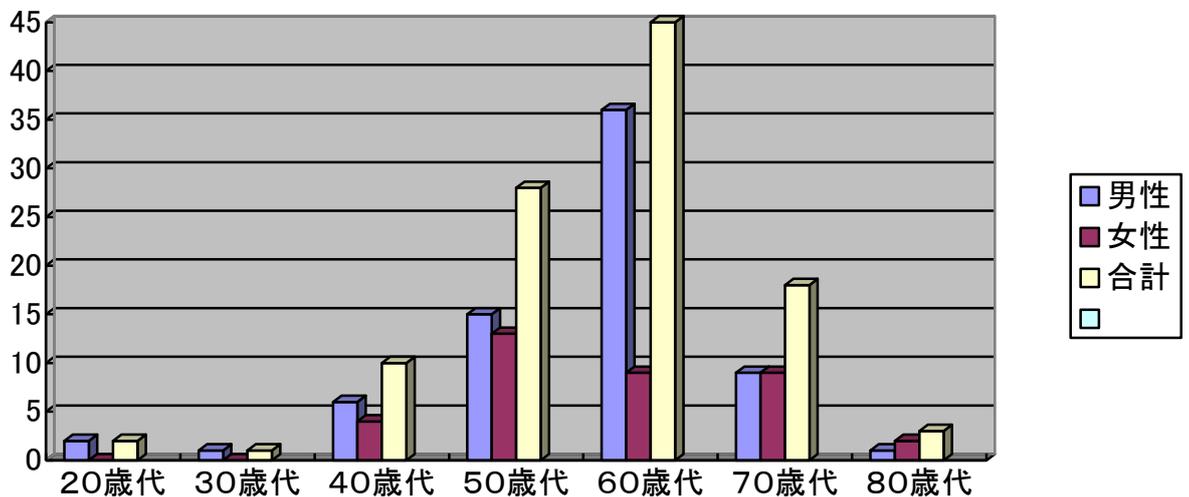
認可日	所在地	経営主体	定員	敷地面積	構造・延床面積
平成29年12月22日	浜松市西区神ヶ谷町 2254-1	社会福祉法人三幸会	110名	5,712.53 m ²	鉄筋コンクリート造2階建延2,829.30 m ²

職員構成

園長	事務員	相談員	介護職	看護師	栄養士	介助員	嘱託医	計
1人	2人	3人	17人	2人	1人	1人	(2人)	27人

年齢構成

年齢別	18歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	計
男性	2	1	6	15	36	9	1	70名
女性	0	0	4	13	9	9	2	37名
計	2	1	10	28	45	18	3	107名

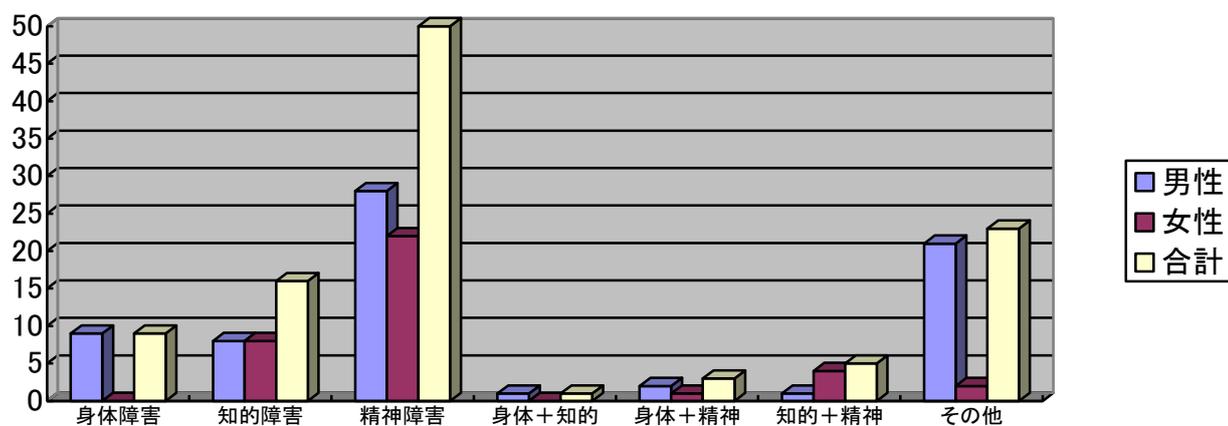


平均年齢

区分	最低年齢	最高年齢	平均年齢
男性	19歳	82歳	61.0歳
女性	45歳	83歳	64.0歳
			61.5歳

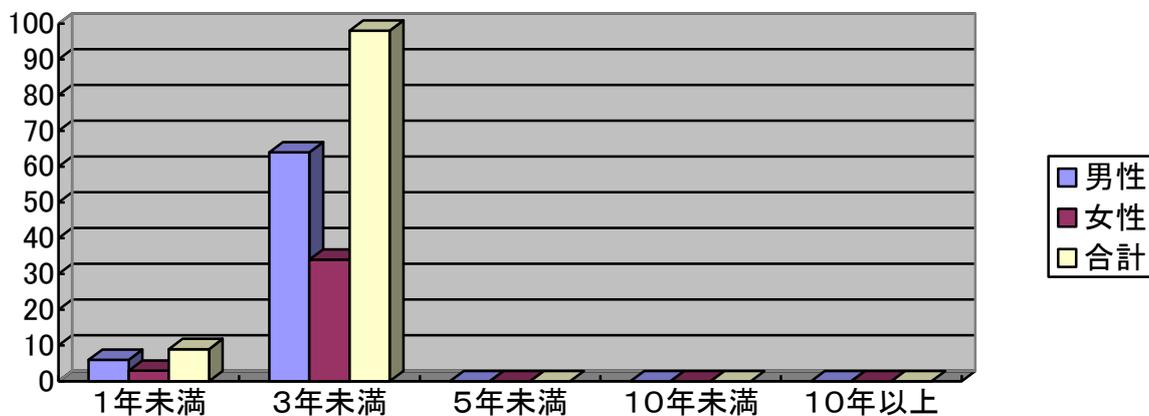
障害別

分類	身体障害	知的障害	精神障害	身体+知的	身体+精神	知的+精神	身体+知的+精神	その他	計
男性	9	8	28	1	2	1	0	21	70名
女性	0	8	22	0	1	4	0	2	37名
計	9	16	50	1	3	5	0	23	107名



在園期間 (平均在園期間 2年0か月)

期間	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	計
男性	6	64	0	0	0	70名
女性	3	34	0	0	0	37名
計	9	98	0	0	0	107名



入退所の状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入所	男性	1	1	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	6
	女性	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	3
退所	男性	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	5
	女性	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	4
月末人員	男性	59	59	59	59	59	61	62	62	62	61	60	60	
	女性	36	36	36	36	36	35	35	35	36	36	37	37	
	合計	105	105	105	105	105	106	107	107	108	107	107	107	

2019年度事業報告（神ヶ谷園内の模様）



1階2人部屋洋室タイプ



2階1人部屋和室タイプ



1階作業場（電線巻取り作業）



2階娯楽室



2階理髪室



2階ランドリー室



厨房



食堂

建設特別会計 2019年度事業報告

1. 構想と工程

①構想

高齢者総合福祉施設【大平台の園】を建設し、以下のように階層毎にサービス種別を分けた事業を令和2年5月1日より行います。

大平台の園 1F：三幸の園デイサービスセンター一般型 30人 移設

三幸の園デイサービスセンター認知症対応型 9人 移設

三幸の園ホームヘルパーステーション 移設

訪問看護ステーション大平台 移設

厨房・事務所・会議室など 新規

2F：ユニット型短期入所施設三幸の園 20床 新規

食堂・多目的室 新規

3F：ライフケアアダージョ大平台 25床 新規

旧作業棟 1F：地域交流室・喫茶コーナー・機能訓練 新規

2F：地域包括支援センター大平台 移設

②工程

当初の予定のヶ月遅れで完成引き渡しとなります。

なお、様々な儀式につきまして計画をしておりましたが、最終的に新型コロナウイルス蔓延防止のために令和2年度に入ってから中止とさせていただきます。

令和2年 4月 13日 中村組より三幸会へ建物引き渡し

令和2年 4月 15日 エームサービスによる火入れ式 ……中止

令和2年 4月 19日 竣工式（落成式） ……中止

令和2年 4月 24・25日 施設内覧会 ……中止

令和2年 5月 1日 開所式 ……中止

2. 建設特別会計

特別会計収支予算書より建設特別会計 静岡銀行 入野支店 普通預金 0495625 を適正運用しました。

まだ一部で支払途中の残がありますが、国土交通省の補助金待ちの状態です。

なお、国土交通省よりの補助金44,000,000円の入金が遅れているため、建設業者の中村組への支払いのために法人取崩額を充当した形をとりました。

ただし、VE変更工事による減額のため、当初よりはマイナスの取崩額でした。

特別会計の残額につきましては法人本部、ライフケアアダージョ大平台へ資金移動し、特別会計の残金を0といたします。

正確な特別会計のメは補助金入金後となり、令和2年度7月末頃になる見込みです。

次回、令和2年度12月の理事会で明確にしたいと考えます。

3. 積立金の取崩し

建設業者・設計業者・設備業者への支払いのために、以前の理事会で議決決裁いただきました法人内の積立金取崩しをし、建設特別会計に繰り入れ処理をしました。

トータルでの取崩額は以下のとおりですが、工事途中のVE変更等により、当初より減額の取崩額です。

合計取崩額 1,019,000,000円

なお、上記の実際取崩しは以下の通り大半が令和2年度4月に入ってからです。

三幸の園拠点区分	4,000,000円	平成30年度
三幸の園拠点区分	295,000,000円	平成31年度
三幸の園拠点区分	346,000,000円	令和2年度
山崎園拠点区分	311,000,000円	令和2年度
神ヶ谷園拠点区分	40,000,000円	令和2年度
松城拠点区分	23,000,000円	令和2年度
合計取崩額	1,019,000,000円	

4. 静岡銀行より借入金

令和2年4月30日、静岡銀行入野支店より融資をしていただきました。

融資金額：金200,000,000円

返済期間：10年間

返済金利：固定金利 0.28% 毎月返済

4月30日同日、建設業者の中村組に工事費用の支払いを執行しました。

5. 補助金額

ライフケアアダージョ大平台の建設のために国土交通省より5000万円の補助金額が出る予定です。

当初の予定では4500万円でしたが、500万円増額される見込みです。

現時点では600万円の前払い入金を確認しておりますが、残額の入金に関しては前述のとおり遅れております。